

# Panasonic

## AVコーデック

### 取扱説明書 工事説明付き

品番 WJ-AV20

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、  
正しくお使いください。そのあと保存し、必要なと  
きにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入  
を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

## もくじ

商品概要	2
安全上のご注意(必ずお守りください)	3
付属品をご確認ください	6
使用上のお願い	6

各部の名前	7
システムの構成	8
操作を始める前に	9
ダイヤルして相手を呼び出す	11
着信時の操作	18
通信中の操作	20
アラーム画像の確認	22

メニュー操作のしかた	26
システムの設定	28
初期設定	29
通信中に設定を変更する	51
リモート設定機能の使いかた	54
メンテナンス機能の使いかた	56

工事説明	63
工事を行う前に	64
各部の名前と働き(背面)	65
接続例	67
ラックマウントのしかた	76

こんなときには	77
別売品について	81
付録	82
仕様	84
索引	87
保証とアフターサービス(よくお読みください)	89

はじめに

取扱説明

設定

工事説明

仕様・他

# 商品概要

無人店舗や遠隔地を監視するための遠隔監視システムを構築できます。

- INSネット64(1回線)またはデジタル専用線サービス(デジタルアクセス64・128, デジタルリーチ64・128, デジタル専用線サービス(HSD)64K・128Kbps)で画像、音声、デジタルデータを送受信できます。

- H.261およびH.263方式(ITU規格)の採用によって、高画質な画像を送受信できます。

注:他社コーデックとの相互接続は保証しておりません。

- 内蔵エコーキャンセラーによって、音声をクリアに送受信できます。

センサーと組み合わせて自動発信が可能。アラーム履歴は100件まで確認可能。

- 本機背面にセンサー入力端子が設けられています。このセンサー入力端子を使えば、外部に設けたセンサーが反応したとき、設定されている電話番号に電話をかけて、画像・音声を送信することができます。

ワンタッチダイヤル5地点、短縮ダイヤル200地点登録可能。巡回ダイヤルによる自動監視も可能。

- ワンタッチダイヤルキーを押すだけで、登録されている相手呼び出すことができます。
- 短縮ダイヤルによく使う番号を登録しておけば、少ない手順で相手呼び出すことができます。短縮番号登録時に巡回機能をONにすれば、自動的に各地点に電話をかけ監視することもできます。

カメラを5台まで接続可能。

- 映像入力端子を5端子備えています。映像入力1端子には当社のコンビネーションカメラを接続でき、回転台の旋回、ズーム、フォーカスを遠隔操作できます。
- ビューポイント(監視する画像ポイント)を最大8ポイントまで設定できます。
- RS-485データポートで、当社監視機器と容易に接続でき、用途に合わせたシステムの構築が可能です。

センサー入力前の画像を動画で記録可能な画像蓄積機能。

- センサーが異常を検知した前後の画像を、送信機側AVコーデック内部のメモリーに蓄積しておくことができます(画像蓄積機能)。後で蓄積された画像を受信機側に転送して確認できます。

多彩なメンテナンス機能(遠隔設定と障害解析)

- コントロールサイトから無人サイトの設定内容を変更できます。
- 障害解析に役立つ各種記録情報をモニターに表示して確認できます。
- 各種設定内容をパスワードで保護することにより、不当な利用者による操作を防止できます。

# 本書の使いかた

INSネット64や構内回線網などを単に回線交換と呼びます。また、本文中、次の記号を用いて説明しています。各記号の意味は次のとおりです。

**送信機** : リモートサイト(送信機)でのみ操作または設定できる項目。

**受信機** : コントロールサイト(受信機)でのみ操作または設定できる項目。

**回線交換** : 回線交換使用時にのみ操作または設定できる項目。

**回線交換スタンバイ** : 回線交換(スタンバイ中)にのみ操作または設定できる項目。



: INSネット64, デジタルアクセス64・128, デジタルリーチ64・128, デジタル専用線サービス(HSD)64K・128Kbpsは日本電信電話株式会社の登録商標です。

# 安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。







表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

<b>工事は販売店に依頼する</b>  工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。 ●必ず販売店に依頼してください。	<b>異物を入れない</b>  水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。 禁止 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	<b>分解しない、改造しない</b>  火災や感電の原因となります。 分解禁止 ●修理や点検は、販売店にご依頼ください。
<b>異常があるときは、すぐ使用をやめる</b>  煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	<b>不安定な場所に置かない</b>  落下などでけがの原因となります。 禁止	<b>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない</b>  感電の原因となります。 ぬれ手禁止

**電源コードは、必ずプラグ  
本体を持って抜く**



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

**電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない**  
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、  
ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

**電源プラグは根元まで  
確実に差し込む**



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

**ケーブルを傷つけない**



重い物を載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

禁止

**配線は正しく行う**



ショートや誤配線により火災の原因となります。

**電源プラグのほこり等は  
定期的にとる**



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいでください。

**コンセントや配線器具の定  
格を超える使いかたや、交流  
100V以外での使用はしない**



たこ足配線等で、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

禁止

## ⚠️ 注意

**落とさない、強い衝撃を与えない**



けがや火災の原因となります。

禁 止

**湿気やほこりの多い場所に設置しない**



火災や感電の原因となります。

禁 止

**指定以外の装置を接続しない**



けがなどの原因になることがあります。

禁 止

# 付属品をご確認ください

品名	長さ(単位:m)	数量
スイッチカバー	-	1
ラックマウント金具	-	2
ラックアングル取付ねじ(M3)	-	6
呼び径5タッピングねじ	-	4
電源コード	2.5	1
8ピンモジュラーケーブル(ISDN回線用)	3	1
6ピンモジュラーケーブル(ホストRS-485/データポート用)	3	1
保証書	-	1
取扱説明書(本書)	-	1

数量はAVコーデック1台に付属する数です。

## 使用上のお願い

上手にお使いいただくために、以下のことをお守りください。

### 表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をご覧ください。

直射日光の当たる場所での使用は避けてください。  
高温下での使用は避けてください。

ていねいにお取り扱いください。  
落下させたり、強い衝撃や振動を与えますと、  
故障や事故の原因になります。

使用温度範囲をお守りください。  
5 以下の寒いところや、40 以上の暑いところ  
に設置したり使用したりしないでください。

厨房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所での使用は避けてください。

### お手入れについて

電源を切って乾いた布でふいてください。  
ホコリがとれにくいときは、薄めた中性台所用洗剤を柔らかい布に染み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。  
ベンジン、シンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。

### 電源スイッチについて

- 通常は電源を入れた状態でご使用ください。電源を切ると発信および着信ができなくなります。本機にはスイッチカバーが付属されています。電源を入れた後、スイッチカバーを電源スイッチに取り付けてください。誤操作による電源切断を防止できます。
- 本機を長期間使用しないときは、電源スイッチを切りにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。なお、本機の電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、コンセントから本機の電源プラグを抜くか、または電源ブレーカーをOFF(または「切」)にしてください。

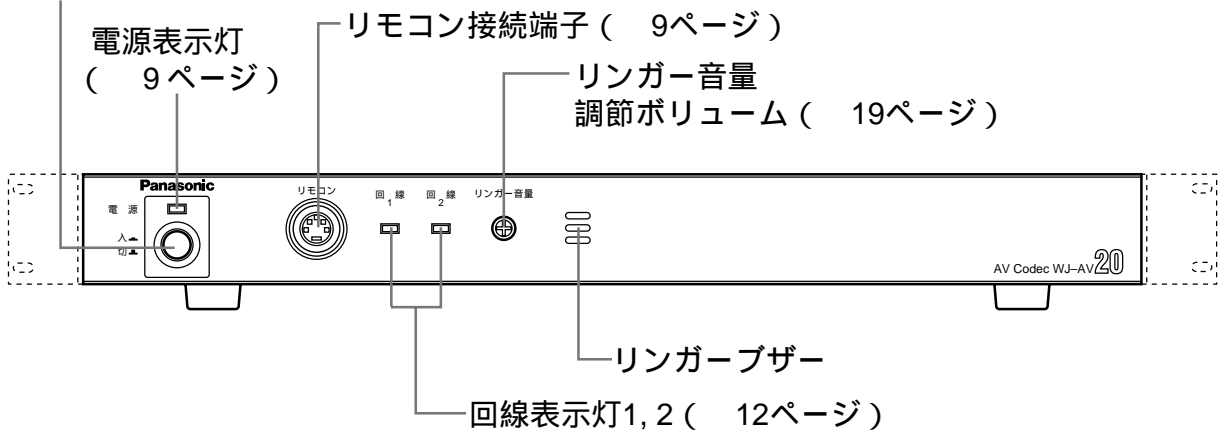
初めて使用するときは48時間以上通電してください。本機の時計は内蔵のバックアップ電池で動作しています。本機を初めて使用するときは、48時間以上連続通電を行い、バックアップ電池を充電してください。充電が不十分だったり、長時間停電すると、時刻が狂うことがあります(電源プラグを長時間コンセントから外した場合も同様です)。時刻が狂ったときは時計を再設定してください。

なお、短縮電話帳や各種設定内容は不揮発性の記憶装置に記憶されていますので停電で消えることはありません。

# 各部の名前

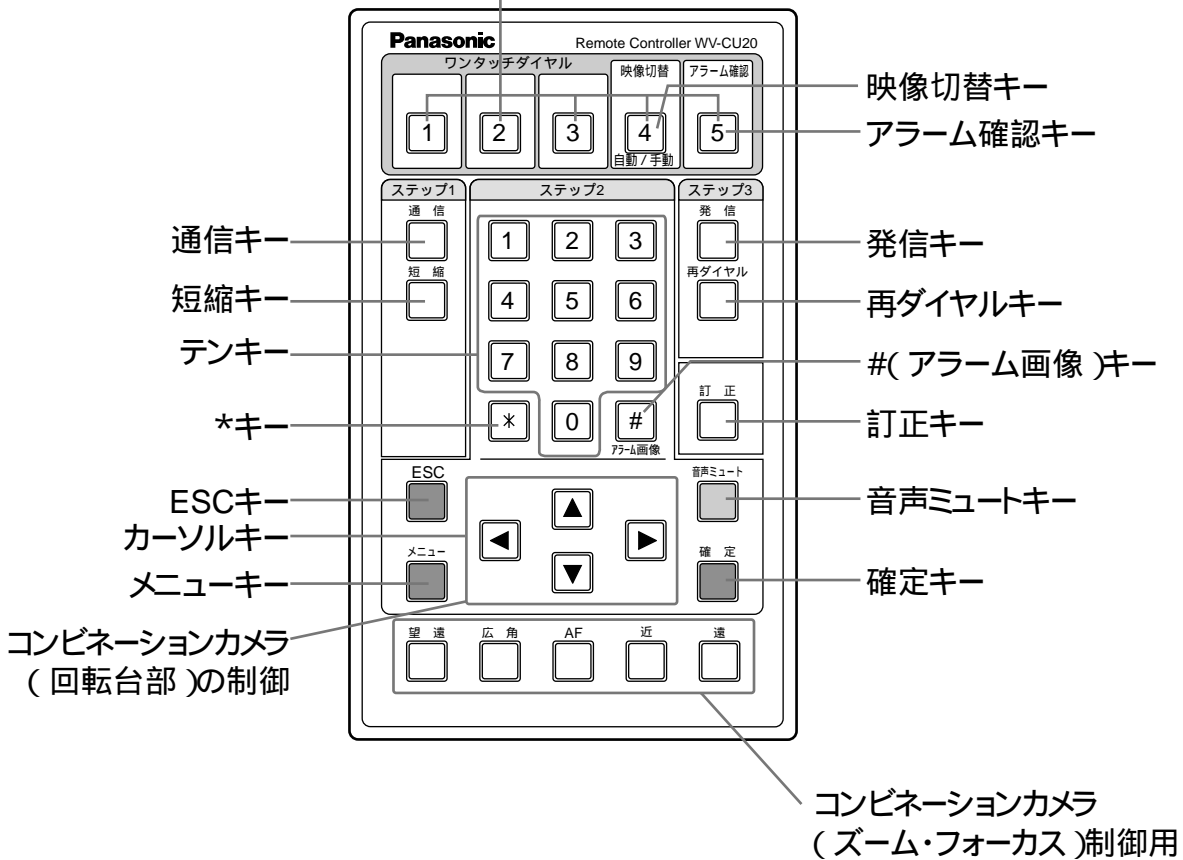
## AVコーデック (WJ-AV20)

電源スイッチ ( 6, 9ページ )



## コントローラー ( WV-CU20 : 別売品 )

ワンタッチダイヤル1, 2, 3, 4, 5キー

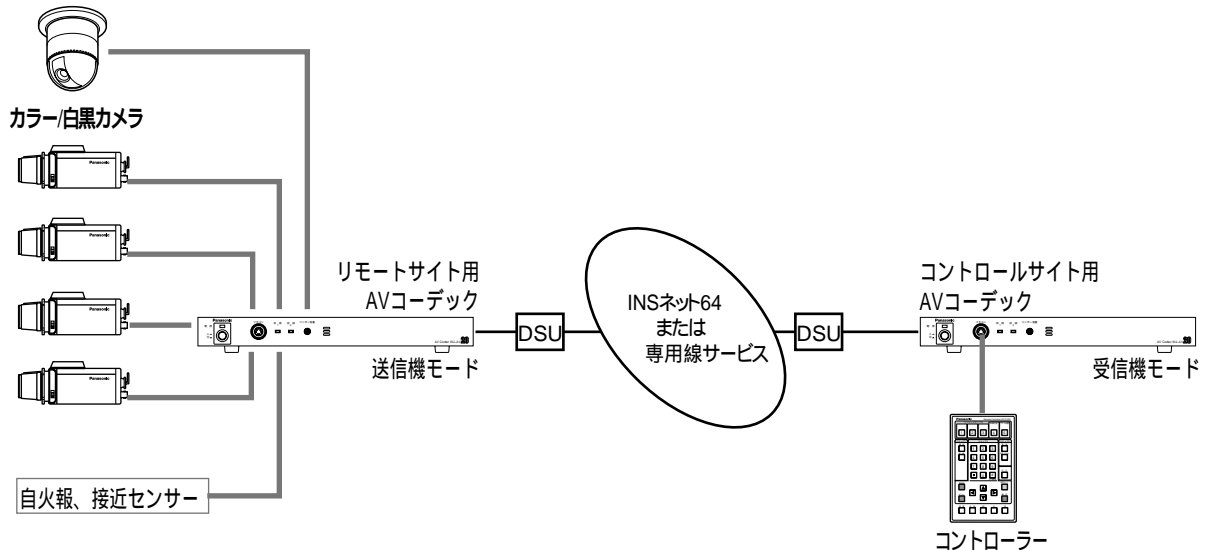


# システムの構成

本機を使用するための標準システム構成を図1に示します。

- リモートサイト(送信機)用に1台、コントロールサイト(受信機)用に1台AVコーデックが必要です。  
リモートサイトまたはコントロールサイトの切り替えは設定メニューで行います。操作を始める前に設定内容を確認してください。
- リモートサイトに監視用カメラを接続し、必要に応じてコントロールサイトからカメラを切り替えて監視できます。
- INSネット64(1回線)または専用線サービスの契約が別途必要となります。
- DSU(Digital Service Unit: 回線接続装置)は別途必要となります。
- 操作するには別売のコントローラー(WV-CU20)が1台必要です。
- その他にセンサーやパソコンなどと組み合わせて環境に応じたシステムを構築できます。

## コンビネーションカメラ



コンビネーションカメラ1台とカラー/白黒カメラいずれか4台を接続した例。

## 当社マトリクススイッチャーを接続してご使用になる場合

当社マトリクススイッチャーをリモートサイトに接続して使用する場合、次のことに注意してください。

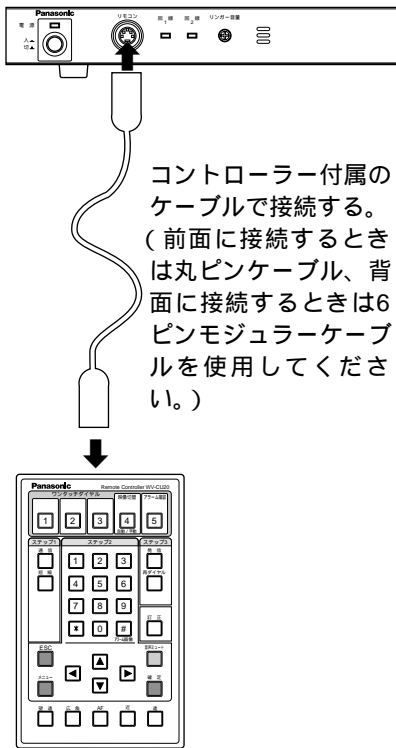
- マトリクススイッチャーとマトリクススイッチャーに接続されている機器の操作は、マトリクススイッチャー専用のシステムコントローラー(WV-CU550A)で行ってください。
- 通信開始後、マトリクススイッチャーの操作を始める前に、WV-CU550Aで「LOG ON」操作を必ず行ってください。
- 通信を終了する前にWV-CU550Aで「LOG OFF」操作を必ず行ってください。
- 通信終了後にマトリクススイッチャーの電源を入れ直すと、次回から通信中に操作できなくなります。操作できなくなったときはシステムコントローラーの電源を入れ直してください。

マトリクススイッチャーやシステムコントローラーの操作のしかたについては、各機器の取扱説明書をお読みください。



# 操作を始める前に

## 電源の入/切

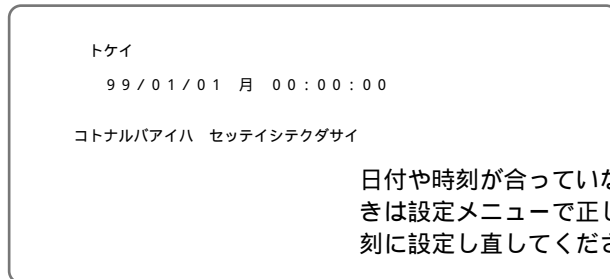


1 AVコーデックにコントローラーを接続する。

AVコーデックにコントローラー(WV-CU20)を前面または背面のリモコン端子に接続します。

2 電源スイッチを「入」にする。

- 電源が入ると電源表示灯が点灯します。
- 電源が入ると最初にブルーの画面が表示されます。約10秒後に現在時刻がモニターに表示され、操作可能(スタンバイ状態)になります。

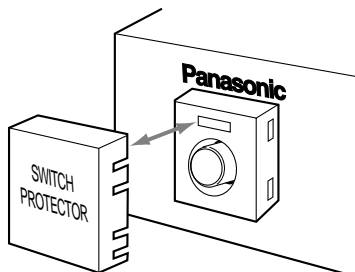


日付や時刻が合っていないときは設定メニューで正しい時刻に設定し直してください。

約10秒後にスタンバイ画面を表示



通常は電源スイッチを入れた状態でご使用ください  
電源スイッチを切ると発信も着信もできなくなります。通常は電源スイッチを「入」にし、付属のスイッチカバーを電源スイッチに取り付けてご使用ください。



- 専用線の場合、電源を入れると上記画面を表示後、自動的に通信接続状態になります。各種設定を行うときは通信キーを押して、スタンバイ状態にしてください。スタンバイ状態が60秒以上継続すると、自動的に通信接続状態になります。スタンバイ中に通信を始めるときは通信キーを押してください(相手側も通信状態になっていないと、通信は開始されません)。

3 長期間使用しないときは電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

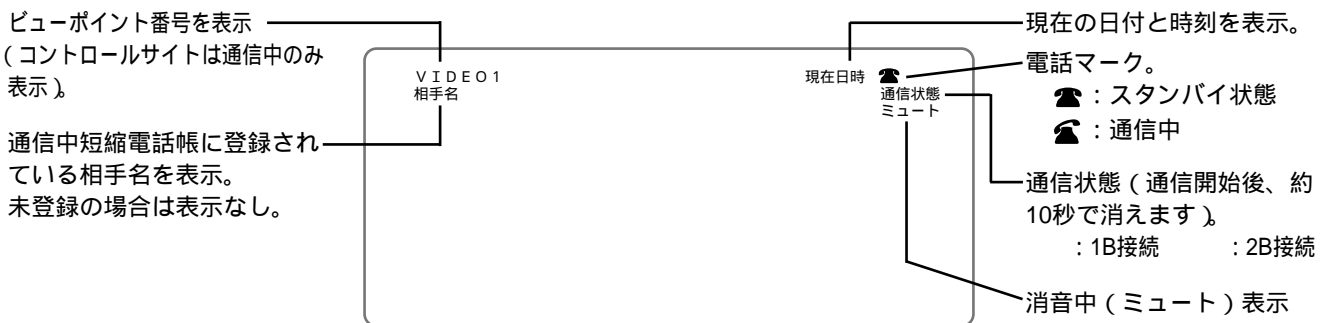
### 電源スイッチについて

電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、または電源ブレーカーをOFF(または「切」)にしてください。

## モニターに表示される情報

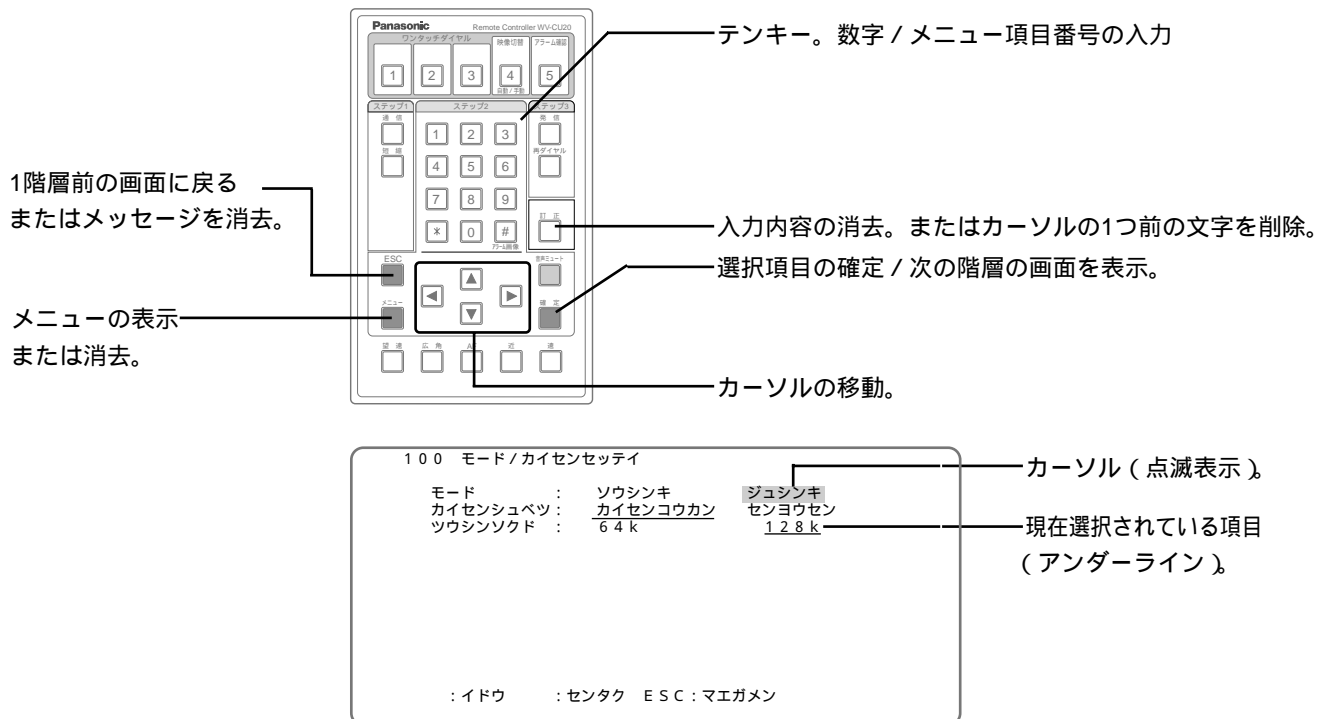
本機はモニターに表示される内容に従って操作します。  
ここでは、モニターの表示内容について説明します。

### 基本情報



### 画面の操作

画面の操作はコントローラーで行います。



# ダイヤルして相手を呼び出す

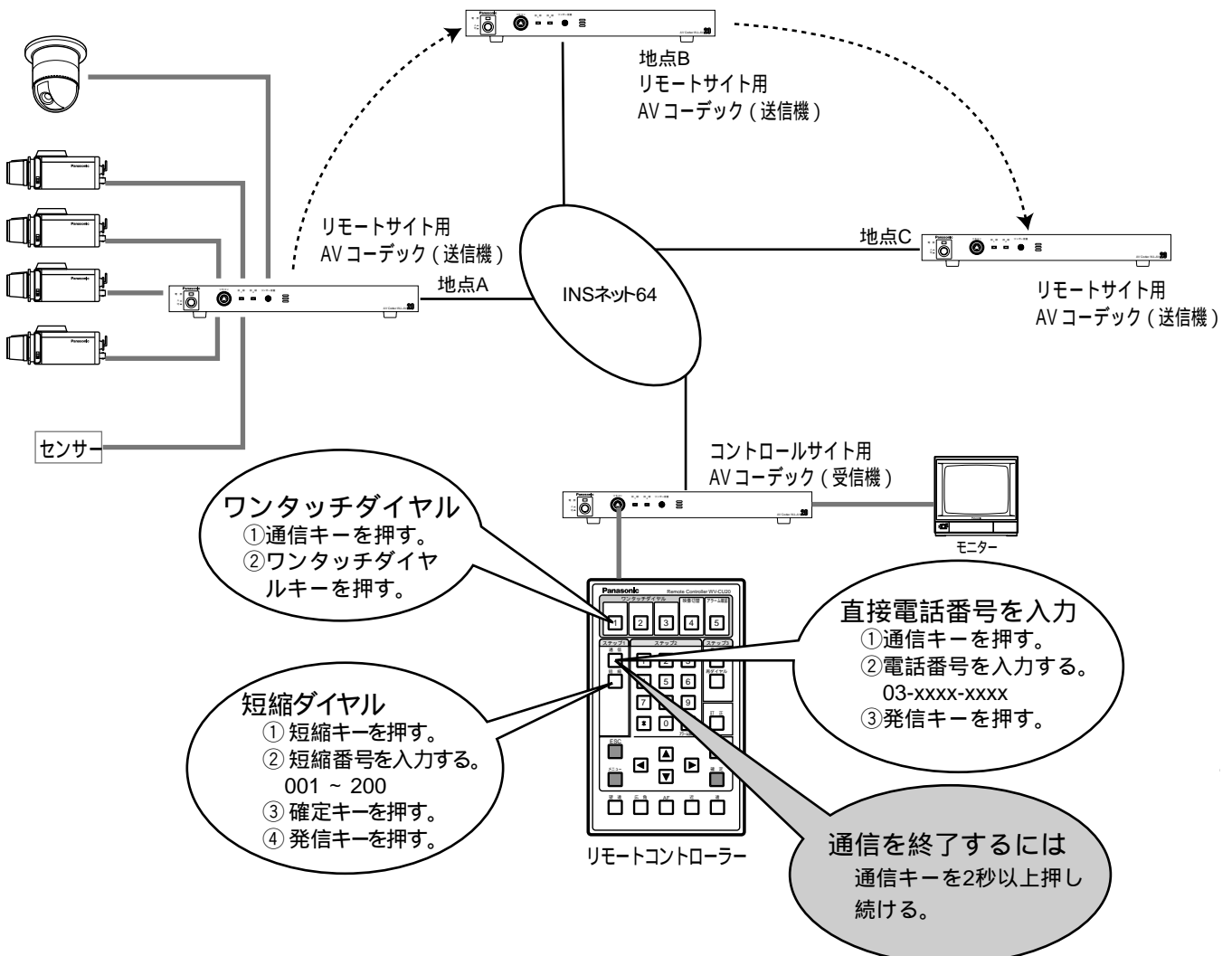
回線交換スタンバイ

## メモ

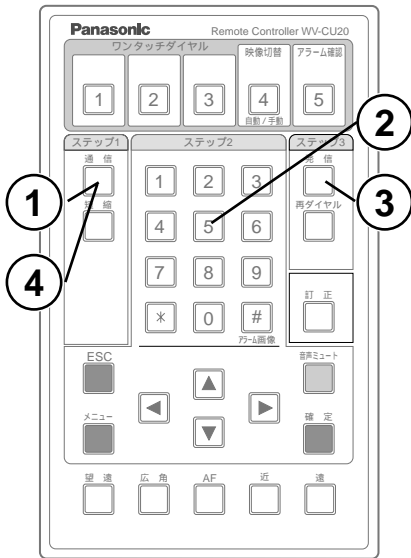
相手との接続は1地点だけです。  
同時に複数の地点を呼び出すことはできません。

ダイヤルして相手を呼び出すには次の方法があります。

- (1) 電話番号を入力して相手を呼び出す。
- (2) ワンタッチダイヤルで相手を呼び出す。  
ワンタッチダイヤルキーで、簡単に登録されている相手を呼び出すことができます。  
ワンタッチダイヤルキー1つに1地点登録できます。頻繁に接続する相手の電話番号をあらかじめ登録しておくことで便利です。
- (3) 短縮ダイヤルで相手を呼び出す。  
あらかじめ呼び出す相手の電話番号を短縮電話帳に登録しておくことで、電話番号を入力せずに相手呼び出すことができます。  
短縮電話帳には200件まで登録できます。
- (4) 巡回ダイヤルで監視地点を自動機に切り替えて相手を呼び出す。  
各地点に自動的に電話をかけて監視する機能です。巡回ダイヤルを行うには短縮電話帳に相手を登録するとき、巡回機能をONにする必要があります。

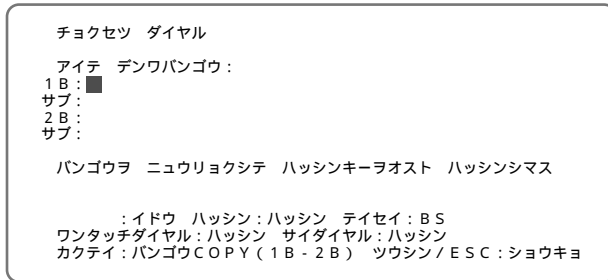


## 電話番号を直接入力して相手呼び出す



### 1 通信キーを押す。

{ チョクセツ ダイヤル } 画面がモニターに表示されます。

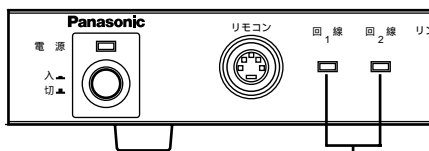


### 2 テンキーで相手先の電話番号を入力する。

- 1B (64Kbit/s) で接続するときは1Bの欄にだけ電話番号を入力します。
- 2B (128Kbit/s) で接続するときは1Bと2B両方の欄に電話番号を入力します(サブアドレスを指定するときはサブアドレスも入力してください)。1Bの欄に入力後、[確定]キーを押すと1Bの入力内容を2Bの欄にコピーできます。
- 入力内容は訂正キーで修正できます。訂正キーを押すと、カーソルの前にある文字を1文字削除できます。

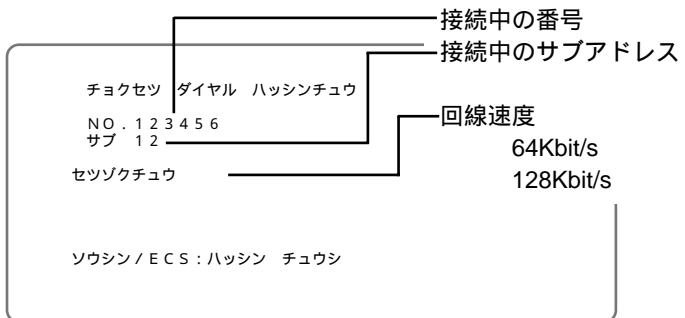
#### 修正するときは

訂正キーを押すと、カーソルの1つ前の文字を削除できます。削除してからテンキーで正しい番号を入力してください。



### 3 発信キーを押す。

{ チョクセツダイヤル ハッシンチュウ } 画面がモニターに表示され、通信が開始されます。



#### 2Bで発信するとき

相手側が2Bとも未使用の場合にだけ2Bで通信できます。相手側が本機をバス接続で回線に接続している場合で、1Bを使用して通信を行っているときに2Bで発信すると、通信は切断されます。少し待ってから再度呼び出し操作を行うか、または1Bで発信し直してください。

## 4 通信を終了するときは通信キーを2秒以上押す。

回線を切断し通信を終了します。このとき、モニターに{ ツウ  
シン シュウリョウシマシタ }画面が表示されます。

ソウシン シュウリョウシマシタ

カイセンガ セツダンサレマシタ

#016 ユーザー

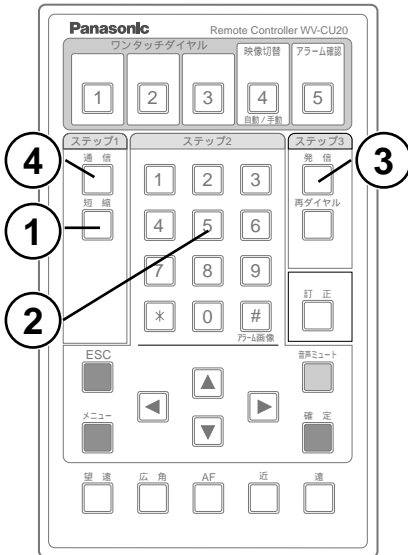
ECS: ショウキョ

理由コード：#016は正常に通信を終了したことを表します。異常が発生したときは理由コードとともに理由が表示されます。

## 短縮ダイヤルで相手呼び出す

短縮ダイヤルキーを使えば、直接電話番号を入力せずに登録されている相手に電話をかけ呼び出すことができます。

短縮番号「000」は巡回ダイヤル専用の番号です。詳しくは「巡回ダイヤルで相手を次々に呼び出す」をお読みください。



### 1 短縮キーを押す。

{ タンシュク ダイヤル } 画面がモニターに表示されます。

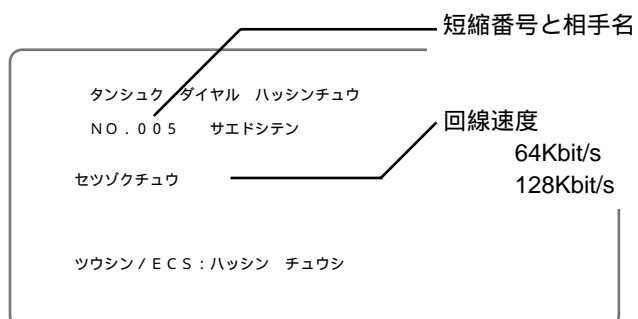
### 2 テンキーで短縮番号を入力する。

- 001 ~ 200までの間で入力してください。
- 短縮番号を入力し確定キーを押すと { デンワチョウ } 欄に登録されている相手先が表示されます。
- カーソルを { デンワチョウ } 欄に移動し、確定キーを押して選択することもできます。項目は または キーで選択できます。
- 入力した短縮番号は訂正キーで修正できます(ただし、確定キーを押した後に修正することはできません)。訂正キーを押すと、カーソルの前にある文字を1文字削除できます。

```
タンシュク ダイヤル  
タンシュク パンゴウ :  
NO . 0 0 5 ヨコハマシテン  
アイテ デンワパンゴウ ( 1 B ) :  
0 4 5 x x x z z z z  
デンワチョウ :  
0 0 1 ミトウロク  
0 0 2 トゴシギンザ  
0 0 3 カマタシテン  
0 0 4 ツツキシテン  
0 0 5 サエドシテン  
  
: イドウ ハッシン : ハッシン テイセイ : B S  
カクテイ : センタク ツウシン / E S C : ショウキョ
```

### 3 発信キーを押す。

{ タンシュク ダイヤル ハッシンチュウ } 画面がモニターに表示され、通信が開始されます。

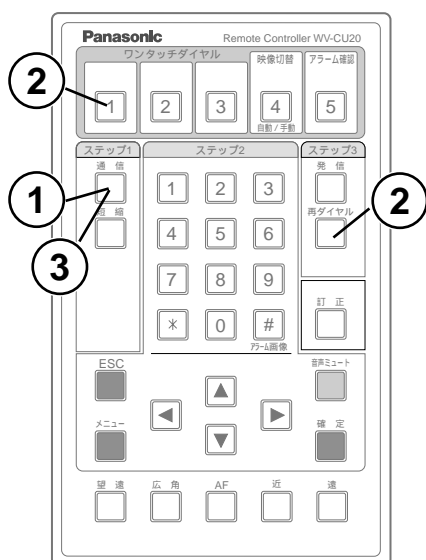


## 4 通信を終了するときは通信キーを2秒以上押す。

モニターに{ ツウシン シュウリョウシマシタ }画面が表示されます。

## ワンタッチダイヤル・再ダイヤルで相手呼び出す

ワンタッチダイヤルキーを使えば、ワンタッチダイヤルキーに登録されている相手を簡単に呼び出すことができます。また、再ダイヤルキーで、最後に呼び出した相手を再度呼び出すことができます。短縮番号「000」が登録されているワンタッチダイヤルキーを押すと巡回ダイヤル機能が働きます。詳しくは次ページをお読みください。



### 1 通信キーを押す。

### 2 再ダイヤルキー、または呼び出したい相手が登録されているワンタッチダイヤルキー（1～5）を押す。

再ダイヤルキーを押すと、前回発信した相手に電話をかけます。ワンタッチダイヤルキーを押すと、{ タンシュクダイヤル ハッシンチュウ }画面がモニターに表示され、通信が開始されます。

#### メモ

短縮番号が登録されていないワンタッチダイヤルキーを押すと、モニターに{ ハッシン デキマセンデシタ }画面が表示されません。

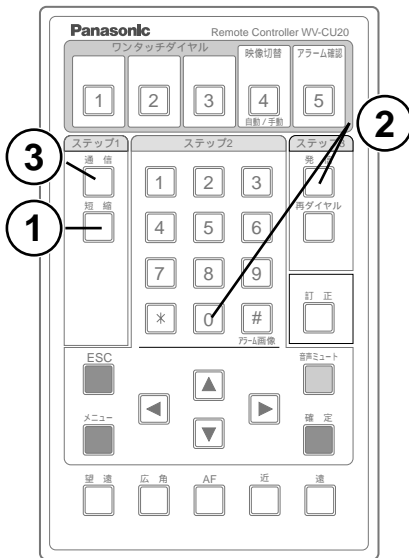
### 3 通信を終了するときは通信キーを2秒以上押す。

モニターに{ ツウシン シュウリョウシマシタ }画面が表示されます。

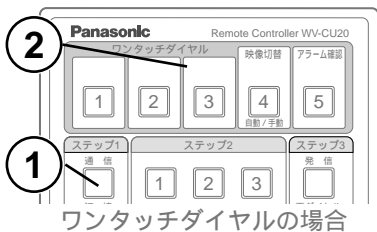
## 巡回ダイヤルで相手を次々に呼び出す

監視地点を順に切り替えながら監視します。

巡回ダイヤル用の短縮番号「000」を入力するか、または「000」を登録したワンタッチダイヤルキーを押すと巡回を開始します。



短縮ダイヤルの場合



ワンタッチダイヤルの場合

### メモ

巡回先を1巡したとき終了するか、止めるまで巡回を繰り返すか設定メニューで設定できます。

## 1 短縮ダイヤルの場合、短縮キーを押す。 ワンタッチダイヤルの場合、通信キーを押す。

- 短縮番号入力時は{ タンシユク ダイヤル }画面がモニターに表示されます。
- ワンタッチダイヤルの場合、ワンタッチダイヤルキーを押すと、{ タンシユク ダイヤル }画面は表示されず、{ ジュンカイ ダイヤル ハッシンチュウ }画面がモニターに表示されます。

タンシユク ダイヤル  
 タンシユク バンゴウ :  
 NO.000 ジュンカイ 「000」を入力後、確定キーを  
 アイテ デンワバンゴウ(1B): 押す  
 045xxxxzzzz  
 デンワチヨウ:  
 001 ミトウロク  
 002 トゴシギンザ  
 003 カマタンテン  
 004 ツツキシテン  
 005 サエドシテン

:イドウ ハッシン:ハッシン テイセイ:BS  
 カクテイ:センタク ツウシン/ESC:ショウキョ

短縮ダイヤルの場合

## 2 短縮ダイヤルの場合、テンキーで短縮番号「000」を入力し、確定キーを押した後、発信キーを押す。 ワンタッチダイヤルの場合、短縮番号「000」を登録したワンタッチダイヤルキーを押す。

{ ジュンカイ ダイヤル ハッシンチュウ }画面がモニターに表示されます。

ジュンカイ ダイヤル ハッシンチュウ 短縮番号と相手名  
 NO.002 トゴシギンザ 001/020 巡回地点数  
 セツゾクチュウ  
 ソウシン/ESC:ツギチテン



- 短縮電話帳に登録されている相手先で巡回ダイヤルをONにしているサイトに対して、短縮番号の若い順番に電話をかけていきます。メニューで設定した時間経過後、次のサイトに自動的に接続し、画像を表示します。
- 巡回ダイヤル開始地点はメニューで設定できます。
- 巡回地点が話し中または応答がない場合、スキップして次のサイトに接続します。

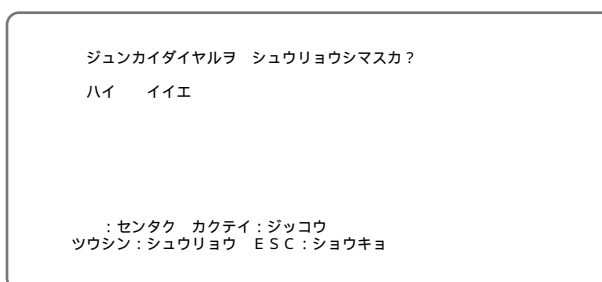
#### 巡回中、接続相手との接続を継続する

巡回中にワンタッチダイヤル4（映像切替）を押すと、巡回を一時中断し、接続中の相手を監視し続けることができます（連続通信状態になります）。連続通信状態になると、モニターに「MANUAL」と表示されます。再度、ワンタッチダイヤル4（映像切替）を押すと、連続通信状態を解除できます。巡回が再開されます。

### 3 巡回ダイヤルを終了するときは通信キーを2秒以上押す。

通信を切断した後、{ ジュンカイダイヤルヲ シュウリョウシマスカ? } 画面がモニターに表示されます。

- { ハイ } にカーソルを移動し、確定キーを押すと巡回ダイヤルを終了します。
- { イイエ } にカーソルを移動し、確定キーを押すと次の地点に発信します。



#### メモ

お買い上げ時、短縮ダイヤル「000」は巡回ダイヤル用に設定されています。短縮電話帳に登録する必要はありません。

# 着信時の操作

着信のしかたには自動着信と手動着信の2つの方法があります。

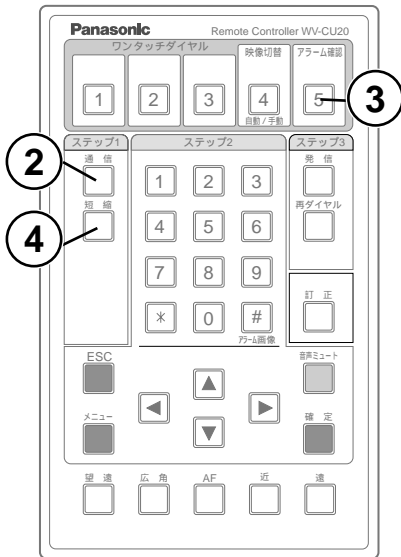
自動着信に設定している場合、相手から呼び出されたとき、本機が自動で着信処理を行います。

ここでは、手動着信に設定しているときの操作方法について説明します。

## メモ

システム設定時に発番号チェックをONに設定すると着信時に相手電話番号を確認し、短縮電話帳に登録されている相手にだけ着信を許可できます。

短縮電話帳に登録されていない、または番号が通知されない電話は自動的に拒否されます。



## 1 相手から呼び出されると次の画面がモニターに表示される（手動着信の場合）。

チャクシン シマスカ?  
NO. 060 オオサカシテン  
ハイ イイエ

短縮電話帳に登録されているときは短縮番号と相手名を表示。  
・未登録のときは電話番号を表示。

: センタク カクテイ: ジッコウ ツウシン: ハイ ECS: イイエ

## 2 着信を許可するときは通信キーを押す。

- 通信キーを押すと通信を開始します。通信が始まると、送られてきた画像がモニターに表示されます。音声を送られてきたときは音声が出力されます。
- 着信を拒否するときはESCキーを押します。

カーソルキーで{ハイ}または{イイエ}を選択後、確定キーを押して着信許可または着信拒否を選択することもできます。

アラームによる着信の場合、{アラーム発信情報}が画面に表示されます。

## メモ

着信するとリング音が鳴ります。リング音の大きさはリング音量調節ボリュームで調節できます。リング音を消したいときはリング音量{チャクシンセッテイ}メニューのリング項目をOFFにしてください。

ヨコハマシテン

99/07/15 17:13:05  
ALARM 2

アラームハッシ 99/07/15 17:12:30 NO. 2

---

### 3 アラーム確認キーを押す。

監視を続ける場合やリモートサイトのビューポイントの切り替えなどの操作を行うときはアラーム確認キーを押してください。アラームによる着信の場合、{アラーム発信情報}画面が消えます。

#### メモ

アラーム確認キーを押さないと、リモートサイトに設定されている時間が経過すると自動的に回線が切断されます。

### 4 通信を終了するときは通信キーを2秒以上押す。

モニターに{ ツウシン シュウリョウシマシタ }画面が表示されます。

# 通信中の操作

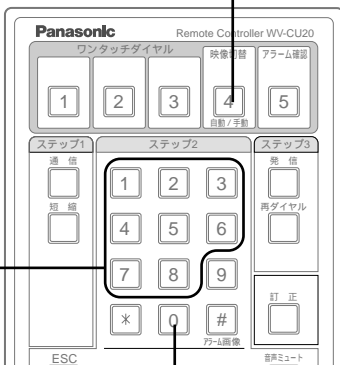
通常、通信中はリモートサイトの設定に従って画像や音声コントロールサイトに送られてきます。コントロールサイトから次の項目を通信中にリモートコントロールできます。

- (1) 送信映像の送信方法（自動／手動）の切り替え。
- (2) リモートサイト（送信機）の映像入力／プリセット／トリガ出力の切り替え。
- (3) コンビネーションカメラの操作。  
コンビネーションカメラが接続されている場合、パン／チルト／ズーム／フォーカス操作およびプリセット番号（1～8）の呼び出し。
- (4) ビューポイント（1～8）の切り替え。
- (5) 画質の選択  
メニューを表示し、リモートサイトから送られてくる画質を切り替えることができます。{ 500 コントロール }メニュー項目の { 520 ガシツ / ウゴキ } の説明をお読みください。
- (6) コントロールサイト（受信機）からリモートサイトへの音声送信の中断／再開要求
- (7) 受信映像、自サイトの映像の切り替え  
コントローラーの0キーを押すと受信映像／自サイトの映像とを交互に切り替えることができます。

## 送信映像の切り替え

押すたびに自動／手動に切り替わる

通信中に映像切替キーを押すたびに、ON（自動切り替え）、OFF（手動切り替え）に切り替わります。通信開始時、自動切り替えはONです。



押したビューポイントの画像に切り替わる

受信映像、自サイトのカメラ映像の切り替え

### 自動切り替え

ビューポイントをシーケンシャルスキャン、アラーム入力の設定に従って自動で監視映像を切り替えて監視できます。自動切り替えにすると、リモートサイトの { 470 シーケンシャルスキャンセッテイ } メニューの設定内容に従って画像を切り替えます。シーケンシャルスキャンによる自動切り替えを使用するにはリモートサイトのAVコーデックに { 470 シーケンシャルスキャンセッテイ } メニューの { シーケンシャルスキャン } にONが設定されている必要があります。次の操作を行うとシーケンシャルスキャン動作を中断します。

- テンキーを押す（手動切替でビューポイントを選択する）
- アラーム入力によるビューポイントの切り替えが行われたとき。

シーケンシャルスキャン動作を中断してから自動復帰時間が経過すると、シーケンシャル動作に戻ります。

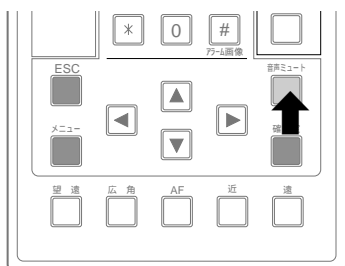
### 手動切り替え

手動切り替え中、シーケンシャルスキャンとアラーム入力によるビューポイントの切り替えは抑止されます。手動で監視映像を切り替えるときは、監視したい場所のビューポイント番号（テンキーの1～8）を押してください。[ \* ] キーを押してビューポイントを順次切り替えることができます。

ビューポイントとは

ビューポイントとは映像入力の切り替え、トリガ出力、およびコンビネーションカメラのプリセット動作を複合化したものです。{ 430 ビューポイントセッテイ }メニューで各ポイント（番号）ごとに映像入力、プリセットポジション、トリガ出力を設定します。

## 送信音声をミュートする



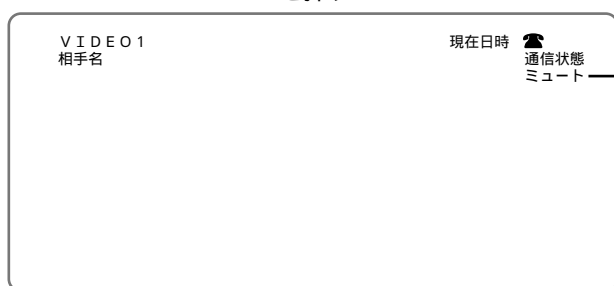
コントロールサイトからリモートサイトに送る音声をミュート（消音）するときには音声ミュートキーを押します。

画面上に{ミュート}が表示され、ミュート中であることをお知らせします。

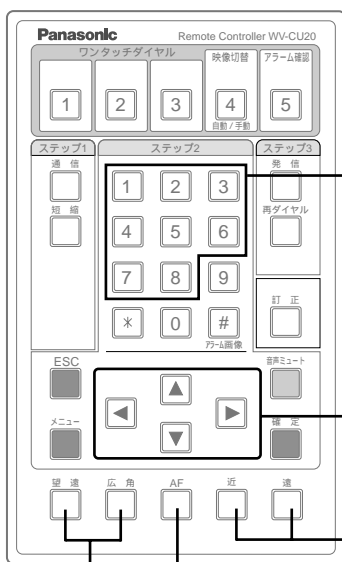
再度押すとミュートが解除されます。



音声ミュートキーを押す



## コンビネーションカメラの操作



リモートサイトの映像入力1端子に接続されているコンビネーションカメラをコントロールサイトのコントローラーで次の操作を行うことができます。

通信を行っていないときは、自サイトのコンビネーションカメラを操作できます。

- ビューポイントによるプリセットの切り替え  
(ビューポイントの設定が必要)
- 回転台制御 (カーソルキー)
- フォーカス (遠/近キー)
- ワンプッシュオートフォーカス (AFキー)
- ズーム (望遠/広角キー)

### メモ

通信が確立する前に上記のキーを押すと、自サイトに接続されているコンビネーションカメラが動作することがあります。リモートサイトのカメラを操作するときは通信が確立してから操作してください。

# アラーム画像の確認

回線交換スタンバイ

画像蓄積機能を使えばセンサーが異常を検知した前後の画像を必要に応じて再生して確認できます。  
なお、この機能はINSネット64回線などの回線交換使用時にだけ有効です。常に通信が確立している専用線モードでご使用の場合、画像蓄積は行われません。(センサー連動によるビューポイントの切り替えのみ可能です。)

AVコーデックはスタンバイ時(通信していないとき)その時点で選択されているカメラの映像と音声を圧縮した上で画像メモリーに蓄積しています。蓄積した画像をアラーム画像と呼びます。画像メモリーがいっぱいになると古いものから上書きされます。通信中は蓄積動作を停止し、通信終了後に蓄積を再開します。リモートサイトのセンサーが異常を検知すると、AVコーデックは設定に応じて次のいずれかの操作を行います。  
アラーム後蓄積がOFFの場合：画像メモリーへの書き込みを停止し、すぐにコントロールサイトへの発信を行います。

アラーム後蓄積がONの場合：約20秒間、記録を続けた後にコントロールサイトへの発信を行う。

アラーム画像はコントロールサイトからの操作で、リモートサイトからコントロールサイトに転送されます。転送されたアラーム画像はコントロールサイトの画像メモリーに保存され、必要なときに再生して確認できます。

## メモ

- 1件あたり約35秒の画像と音声を1件だけ画像メモリーに蓄積できます。なお、記録時間には約±5秒の誤差があります。アラーム後蓄積時間も同様に誤差があります。
- アラーム画像の再生について
  - ・ アラーム画像を再生できない場合があります。そのときは、再度、再生してください。
  - ・ アラーム画像の再生時間は再生するたびに異なることがあります。
- アラーム画像は次の場合、消去されます。
  - ・ リモートサイトに蓄積されたアラーム画像はアラーム発信による通信が終了したとき(ただし、アラームの再発信動作中(規定回数を終了していない期間)は蓄積されたアラーム画像をそのまま保存します)。
  - ・ コントロールサイトに転送されたアラーム画像はあらたなアラーム画像が転送されると消去されます。
  - ・ リモートサイト、コントロールサイト共に、電源を切るとアラーム画像は消去されます。

アラームが発生する前の蓄積画像は、その時点で選択されているカメラの映像を圧縮したものです。アラームと連動してビューポイントを切り替える設定をしている場合、アラーム発生前と後で蓄積画像が異なることがあります。アラーム発生前の蓄積画像を指定したいときはデフォルトビューポイントを設定し、シーケンシャルスキャンをOFFにしてください。

## 確認のしかた

- 1 スタンバイ時、リモートサイトAVコーデック内の画像メモリーに画像と音声は常に蓄積される。
- 2 リモートサイトでセンサーが異常を検知する。  
センサーから信号が入力されます。
- 3 センサー入力の設定に従ってビューポイントが切り替わる（ビューポイントの設定でアラームの項目がONのとき）
- 4 アラーム後蓄積時間が経過するまで画像と音声を蓄積する（アラーム後蓄積ONのとき）
- 5 蓄積終了後、自動発信で回線を接続し、リアルタイム映像を送信する。

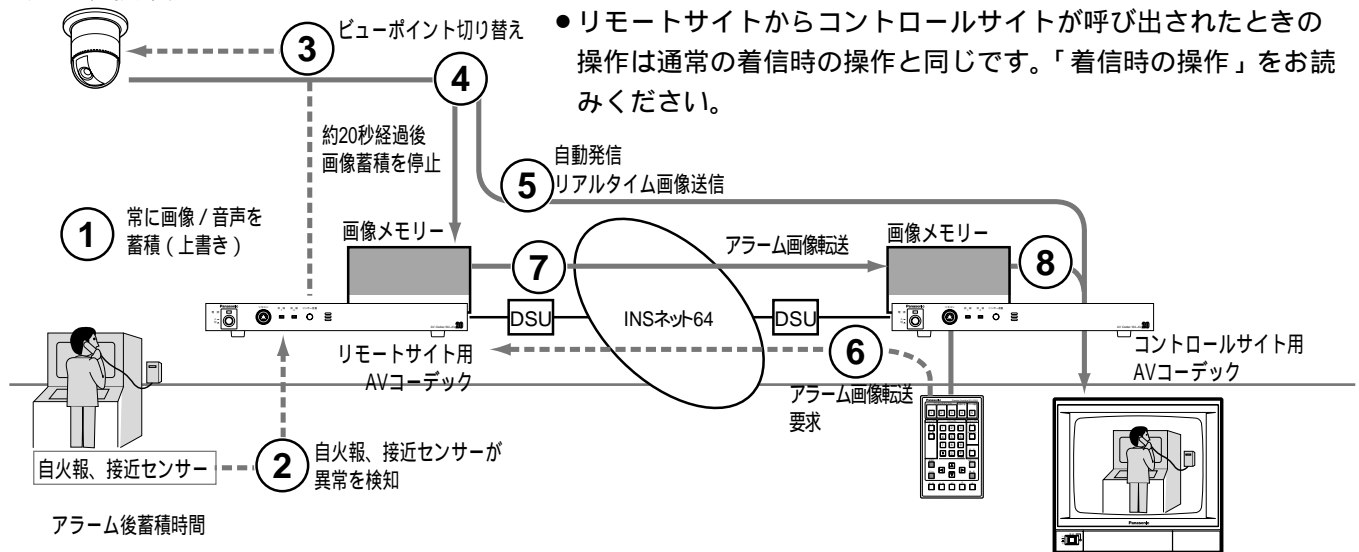
リモートサイト



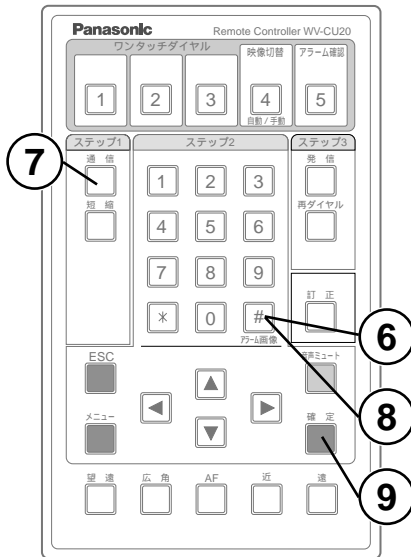
コントロールサイト（接続完了後）

[動作例]

コンビネーションカメラ



- 通信開始時、コントロールサイトにはカメラからの映像がそのまま表示されます（蓄積画像ではありません）
- リモートサイトからコントロールサイトが呼び出されたときの操作は通常の着信時の操作と同じです。「着信時の操作」をお読みください。



## 6 コントロールサイトでアラーム画像キー( #キー)を押す。

モニターに{アラームガゾウヲ テンソウシマスカ? ハイ イイエ}が表示されます。カーソルキーで、{ハイ}を選択するとアラーム画像の転送が開始されます。

リモートサイトのAVコーデックはリアルタイム映像 / 音声の送信を一時中止し、アラーム画像の転送を開始します。

- コントロールサイトのモニターに{アラームガゾウテンソウチュウ}と表示され、転送直前の画像が静止画像として表示されます。また、音声、データ通信は一時中止されます。
- 転送が終了すると、リアルタイムの映像が表示されます。
- アラーム画像の転送操作を行うと自動切断されません。
- アラーム画像の転送に必要な時間は約150秒です(約35秒のアラーム画像を128Kbps(2B)で転送する場合)。

## 7 通信キーを2秒以上押して通信を終了する。

通信中、アラーム画像の再生はできません。再生を行う前に通信を終了してください。

## 8 アラーム画像キー( #キー)を押す。

通信切断後、コントロールサイトでアラーム画像キー( #キー)を押してください。コントロールサイトのモニターに{アラームガゾウヲ サイセイシマスカ? ハイ イイエ}が表示されます。

## 9 {ハイ}を選択し、確定キーを押す。

転送されたアラーム画像と音声の再生を開始します。

{イイエ}を選択し、確定キーを押すとアラーム画像の再生を中止します。

再生が終了するとスタンバイ状態に戻ります。



# 設 定

システムの各機能は設定メニューで設定します。

設定メニューはメニューキーを押すとモニターに表示できます。

コントロールサイトからリモートサイトのAVコーデックを設定することもできます。なお、設定メニューで設定できる項目はご使用になる環境によって異なります。

- 動作モード(リモートサイト(送信機)/コントロールサイト(受信機))
- 使用する回線種別(INSネット/専用線)
- 通信状態(通信中/スタンバイ)

画面例ではすべての項目が表示されていますがご使用になるモードによっては表示されない項目( - - - )もあります。本文をご確認ください。

システムの設定は次の手順で行ってください。

## 1. モード/回線種別の設定

はじめに回線の種別と、送信機/受信機の動作モードを選択します。

## 2. 初期設定

自局の環境を設定します。

通信中にコントロールサイトからリモートサイトの設定内容を変更できます。また、リモートサイトの内容をコントロールサイトにダウンロードし、ダウンロードした内容を変更後、アップロードして、リモートサイトの設定や変更ができます。

- 通信中に設定を変更する  
通信中にメニューを表示して、コントロールサイトからリモートサイトの設定を一部変更できます。
- リモート設定機能によるリモートサイトの設定  
リモートサイトの設定内容をコントロールサイトにダウンロードし、設定内容を変更後、リモートサイトにアップロードすることができます。
- メンテナンス機能の使いかた  
設定内容を初期化したり、各種情報を表示したりできます。

### 注意

設定内容はメニューを消去したときに、内部メモリーに記録されます。

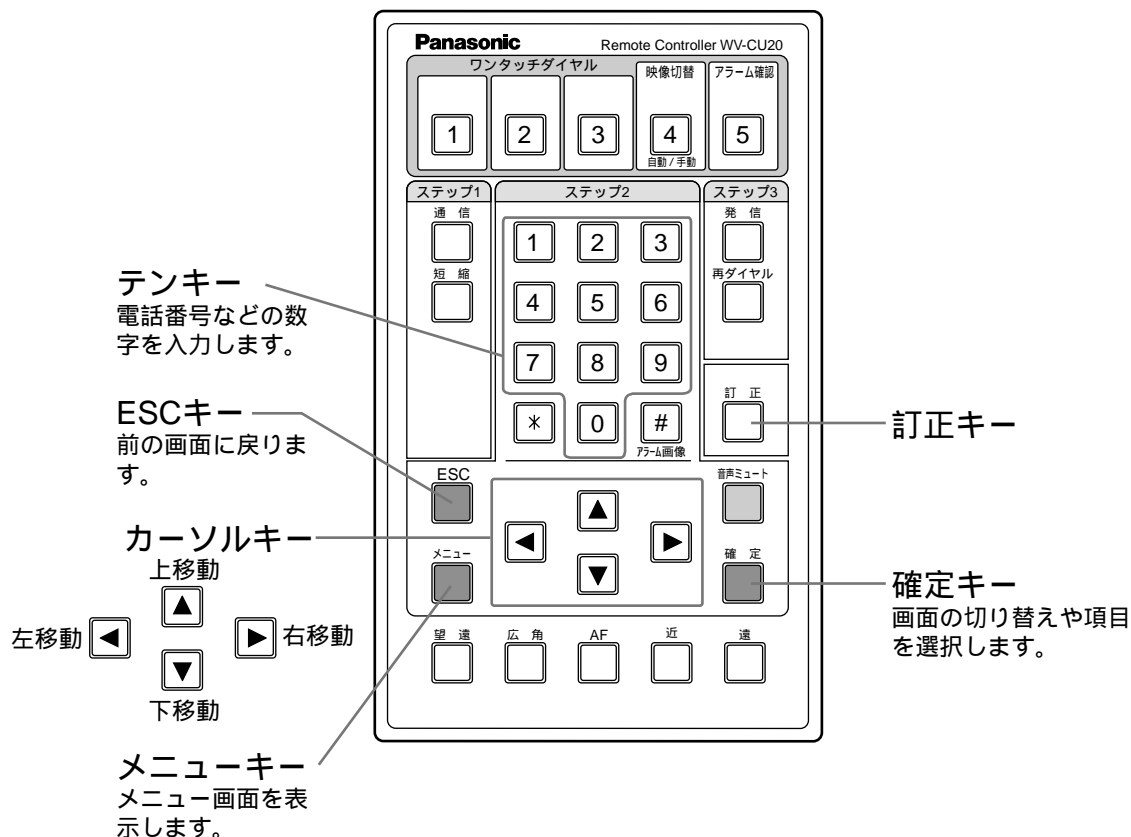
設定中は次のことに注意してください。

- メニュー表示中に電源を切ると、設定した内容はすべて失われます。
- 設定中に着信すると、着信したときに設定中のメニューの項目は記録されません。ただし、着信する前に複数のメニューの設定項目を設定していた場合、設定中の画面以外の設定内容は自動的に内部メモリーに記録されます。
- 通信中にメニューを開いて設定しているときに回線を切断したときは、設定中に着信した場合と同様に、設定中の画面の項目は記録されません(着信する前に複数のメニューの設定項目を設定していた場合、設定中の画面以外の設定内容は自動的に内部メモリーに記録されます)。

# メニュー操作のしかた

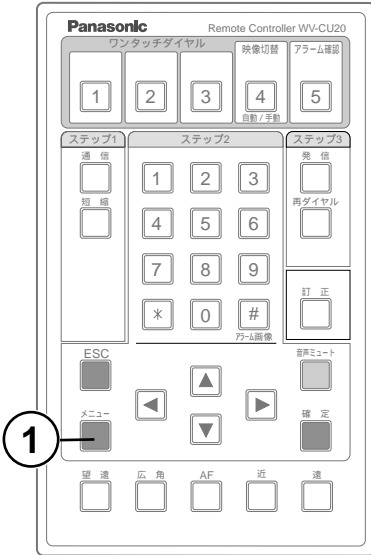
## コントローラーの使いかた

主に次に示すキーを使ってメニューを操作します。



- メニュー項目はリモートサイト/コントロールサイト、通信中/スタンバイ中、使用する回線種別(回線交換/専用線)によって設定できる項目が異なります。  
コントロールサイトからリモートサイトの設定を行っているときは画面右上に「リモートセッテイ」と表示されます。
- パスワードを設定している場合、メニューを表示するためにパスワードを入力する必要があります。

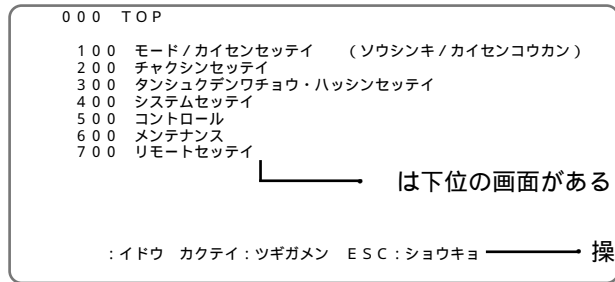
## メニューの基本操作



### 1 メニューキーを押す。

TOPメニューが表示されます。

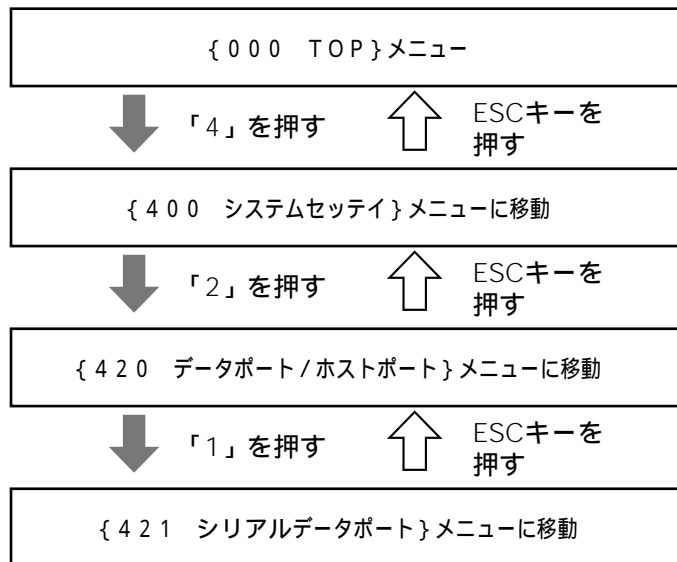
パスワード入力画面が表示されたときはパスワードを入力してください。



### メモ

メニューを表示しているときに電源を切らないでください。設定内容はメニューを消去したときに、内部メモリー（フラッシュメモリー）に記録されます。メニュー表示中に電源を切ると、設定内容は保存されません。また、内部メモリーに記録された情報が壊れる場合があります。

- TOPメニューには設定項目一覧が表示されます。
- 設定したい項目にカーソルを移動後、確定キーを押すと設定画面または設定メニューの詳細が表示されます。
- ESCキーを押すと1つ前（1階層上）の画面に戻ります。TOPメニュー表示時にESCキーを押すとメニューが消去されます。
- カーソルキーと確定キーで項目を選択する以外にテンキーで項目を選択できます。テンキーで選択するときはメニュー番号の上位のけたから入力していくと下位の画面を表示できます。



### 2 設定を終わるときはメニューキーを押す。

メニューが消去され、設定内容が内部メモリーに記録されます。

# システムの設定

## モード / 回線種別の設定

【100】

初めに、AVコーデックの動作モード、回線種別、通信速度を設定します。

```
0 0 0  TOP
1 0 0  モード / カイセンセッテイ (ソウシンキ / カイセンコウカン)
2 0 0  チェクシンセッテイ
3 0 0  タンシュクデンワチョウ・ハッシンセッテイ
4 0 0  システムセッテイ
5 0 0  コントロール
6 0 0  メンテナンス
7 0 0  リモートセッテイ
```

: イドウ カクテイ: ツギガメン ESC: ショウキョ

```
1 0 0  モード / カイセンセッテイ
モード      : ソウシンキ      ジュシンキ
カイセンシュベツ : カイセンコウカン センヨウセン
ツウシンソクド  : 64 k        128 k
```

: イドウ : センタク ESC: マエガメン

モード / カイセンシュベツヲ ヘンコウシテヨロシイデスカ?

ハイ イイエ

: センタク カクテイ: ジッコウ ECS: マエガメン

デンゲンヲ イチドOFFニシテ タチアゲテクダサイ

**1** カーソルを { 100 } の項目に移動し、確定キーを押す。  
{ 100 モード / カイセンセッテイ } が表示されます。

**2** モード、回線種別、通信速度を設定する。

モード: 動作モードを設定します。リモートサイト端末として使用するときは { ソウシンキ } を、コントロールサイト端末として使用するときは { ジュシンキ } を選択します。

カイセンシュベツ: INSネット64など回線交換を使用するときは { カイセンコウカン } を、専用線をご使用のときは { センヨウセン } を選択します。

ツウシンソクド: { センヨウセン } を選択したときにだけ設定できます。  
使用する回線速度を契約に基づいて1B (64k) または2B (128k) から選択します。

**3** ESCキーを押して、TOPメニューに戻る。

すべての項目を選択したら、ESCキーを押してください。TOPメニューに戻ります。

設定内容を変更した場合、確認メッセージが表示されます。

変更するときは { ハイ } を選択し、確定キーを押します。変更を中止するときは { イイエ } を選択し、確定キーを押します。

**4** 設定を変更したら、電源を切り、再度立ち上げ直す。  
変更したモードに切り替わります。

### メモ

- メニュー項目はモードや回線種別によって異なります。モードや回線種別を変更したら、必ず電源スイッチを切りにし、再度立ち上げなおしてください。
- モード / 回線種別を変更する場合は、変更を行う前にシステムを初期化してください。初期化のしかたは62ページをお読みください。

# 初期設定

## 着信設定

【200】 回線交換スタンバイ

着信時の動作方法について設定します。

```
0 0 0 TOP
1 0 0 モード/カイセンセットイ (ソウシンキ/カイセンコウカン)
2 0 0 チャクシンセットイ
3 0 0 タンシュクデンワチョウ・ハッシンセットイ
4 0 0 システムセットイ
5 0 0 コントロール
6 0 0 メンテナンス
7 0 0 リモートセットイ
```

:イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:ショウキョ



```
2 0 0 チャクシンセットイ
2 1 0 チャクシンセットイ
2 2 0 ジキョクバンゴウ
2 3 0 ハツバンゴウ・チャクバンゴウチェック
2 4 0 グループIDチェック
```

:イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:マエガメン

**1** カーソルを {200} の項目に移動し、確定キーを押す。  
{200 チャクシンセットイ}メニューが表示されます。

**2** 設定項目を選択し、確定キーを押す。  
設定画面が表示されます。  
210: 着信方法を設定します。  
220: 自局番号を設定します。  
230: 発番号や着番号を「チェックする」または「しない」を設定します。  
240: グループIDを「チェックする」または「しない」を設定します。

## 着信方法設定

```
2 1 0 チャクシンセットイ
チャクシンホウホウ: ジドウ シュドウ
リング : ON OFF
```

:イドウ :センタク ESC:マエガメン

次の項目を設定します。

- チャクシンホウホウ  
ジドウ : 呼び出されたとき自動的に着信します。  
シュドウ: 呼び出されたとき通信キーを押すと着信します。
- リング  
ON: 呼び出されたとき、リング音を鳴らします。  
OFF: 呼び出されたとき、リング音を鳴らしません。

### メモ

- リング音の大きさはリング音量調節ボリュームで調節できますが、完全に音を消すことはできません。リング音を鳴らしたくないときはリング項目を {OFF} にしてください。
- 自動着信でも2回リング音が鳴ります。

## 自局番号設定

220 ジョクバンゴウ

1B:  
サブ:  
2B:  
サブ:

：イドウ セッテイ：BS ESC：マエガメン  
カクテイ：バンゴウCOPY(1B 2B)

自局の番号を設定します。

ISDN回線上に複数の機器をバス接続している場合、本機への着信か、または他の機器への着信かを区別するために必要です。

- 1B

自局の電話番号をテンキーで入力します。

入力後、確定キーを押すと、同じ番号を2Bの欄にコピーできます。サブアドレスだけを指定するときは「\*」を入力してください。

- サブ

サブアドレスを入力します。着信を区別するためには、他の機器にもサブアドレスを設定する必要があります。

入力後、確定キーを押すと、同じ番号を2Bのサブアドレスの欄にコピーできます。

- 2B

2Bで通信を行う場合に1Bと同じ電話番号を入力します。サブアドレスだけを指定するときは「\*」を入力してください。

- サブ

2Bで通信を行う場合に1Bと同じサブアドレスを入力します。

### メモ

ダイヤルイン番号を使用しない場合は[\*]を入力してください。アドレスは入力しないでください。

## 発番号・着番号チェック

### 230 ハツバンゴウ・チャクバンゴウチェック

ハツバンゴウチェック : ON OFF  
 チャクバンゴウチェック : ON OFF

:イドウ :センタク ESC:マエガメン

不特定の相手からの通信を拒否したいとき、ONに設定します。

#### ●ハツバンゴウチェック

ON : 呼び出されたとき相手の電話番号(発番号)を短縮電話帳内の番号と比較し、一致するものがあれば着信します。

番号の通知がない場合は通信を拒否します。

OFF : 発番号をチェックしません。

#### ●チャクバンゴウチェック

ON : 呼び出されたとき、自局の番号と、回線から通知された着番号とを比較し、一致していれば着信します。

OFF : 着番号をチェックしません。

### 発番号のチェックについて

- 電話番号、サブアドレスの両方をチェックします。
- 電話番号は相手から通知される電話番号と短縮電話帳を比較し、けた数の少ない方が比較範囲となります。
- サブアドレスは相手から通知されるサブアドレスと短縮電話帳の全けたを比較します。けた数が一致しないときは着信を拒否します。
- 電話番号が通知されない場合は着信を拒否します。

## グループIDチェック

### 240 グループIDチェック

グループIDチェック : ON OFF  
 グループID : . . . .

:イドウ :センタク ESC:マエガメン  
 0-9:ニューリョク セツテイ:BS

発番号で発信者をチェックする方法の他に、グループIDを設定して不特定の相手からの通信を拒否できます。

#### ●グループIDチェック

ON : 着信後にグループIDをチェックし、一致していれば通信を開始します。

OFF : グループIDをチェックしません。

#### ●グループID

グループIDを設定します。

グループIDは必ず4けたの数字で指定してください。4けた未満の数字を入力すると上位けたに「0」が自動的に付加されます(例:「12」と入力した場合「0012」となります)。

### メモ

- グループIDを設定する場合は、互いに通信する相手すべてに同じグループIDを設定する必要があります。
- グループIDは回線接続後にチェックされますので、IDが一致していなくても発信側に課金されます。
- グループIDをチェックしている間、映像が表示されたり音声が出力されることがあります。
- グループIDを入力しない場合、自動的に「0000」が登録されます。

## 短縮電話帳・発信設定

【300】 回線交換

短縮電話帳に関する設定を行います。設定項目は次のとおりです。

- 短縮電話帳に電話番号を登録する。
- ワンタッチダイヤルキーに短縮番号を登録する。
- 巡回ダイヤルを設定する。 受信機

```

0 0 0 TOP
1 0 0 モード/カイセンセッテイ (ソウシンキ/カイセンコウカン)
2 0 0 チャクシンセッテイ
3 0 0 タンシュクデンワチョウ・ハッシンセッテイ
4 0 0 システムセッテイ
- - -
6 0 0 メンテナンス
7 0 0 リモートセッテイ

:イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:ショウキョ
    
```



```

3 0 0 タンシュクデンワチョウ・ハッシンセッテイ
3 1 0 タンシュクデンワチョウ
3 2 0 ワンタッチ ダイヤルセッテイ
3 3 0 シュンカイ ダイヤルセッテイ

:イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:マエガメン
    
```

**1** カーソルを { 300 } の項目に移動し、確定キーを押す。  
 { 300 タンシュクデンワチョウ・ハッシンセッテイ }メニューが表示されます。

**2** 設定項目を選択し、確定キーを押す。  
 設定画面が表示されます。  
 310: 短縮電話帳に電話番号を登録します。  
 320: ワンタッチ・ダイヤルを設定します。  
 330: 巡回ダイヤル時の接続先を設定します。

受信機



## 短縮電話帳の設定

```

310 タンシュクデンワチョウ
NO. アイテメイ ジュンカイ
001 ..... ON
002 ..... OFF
003 .....
004 ..... ON
005 ..... OFF
006 .....
007 .....
008 .....
009 .....
010 .....
NO. .... :イドウ カクテイ:トウロクガメン ESC:マエガメン
    
```

「ジュンカイ」は、ジュシンキモードの場合に表示されます。

### • 電話番号登録画面

```

NO.001
TEL. NO.:
1B: 12345678901234567890123456789012
サブ: 123.....
2B: 12345678901234567890123456789012
サブ: 123.....
(アイテメイ)
ジュンカイダイヤル: ON OFF
:イドウ テイセイ:BS ESC:マエガメン
カクテイ:パンゴウCOPY
    
```

「ジュンカイダイヤル」は、ジュシンキモードの場合に表示されます。

### • 相手名登録画面

```

アイテメイ: ヨコハマ.....
アイウエオ マムメモ ダチツテド ABCDEFGHIJ
カクケクコ ヤユヨ バビブベボ KLMNOPQRST
サシスセソ ラリルレロ バビブベボ UVWXYZ
タチツテト ワロン アイウエオ abcdefghij
ナニヌネノ ガギグゲゴ ヤユヨ ッ klmnopqrst
ハヒフヘホ ザジズゼゾ uvwxyz
0123456789
(アイテメイ コピー)
カクテイ:センタク ESC:マエガメン:テイセイ:BS
    
```

矢印の位置にカーソルを合わせ、確定キーを押すと、空白を入力できます。

### メモ

- 電話番号は1B 2Bの順に入力してください。  
1Bの欄に電話番号を入力しないと、2Bの欄に電話番号を入力することはできません（カーソルを移動できません）。
- 電話番号を消去するときは2Bから消去してください。1Bから消去すると、2Bの欄の電話番号を消去できなくなります。この場合は、再度1Bの欄に電話番号を入力してから、2Bから消去してください。
- 登録済みの相手名をコピーすることができます。次の手順で操作してください。
  - ① 相手名登録画面の{ アイテメイ コピー }欄にカーソルを移動後、確定キーを押す。  
{ タンシュクデンワチョウ }画面が表示されます。
  - ② { タンシュクデンワチョウ }画面の中からコピーする相手名にカーソルを移動後、確定キーを押す。  
選択した相手名がコピーされ、相手名登録画面の{ アイテメイ }欄に表示されます。

**1** 登録する番号をテンキーで入力し、確定キーを押す。

番号を入力すると、カーソルがその番号に移動します。番号を選択後、電話番号登録画面が表示されます。

カーソルキーで登録したい番号を選択してから確定キーを押して電話番号登録画面を表示することもできます。

**2** 電話番号、サブアドレスをテンキーで入力する。

2Bで通信を行うときは2Bの欄にも電話番号（サブアドレスが必要なときはサブアドレスも）をテンキーで入力します。

1Bの電話番号（またはサブアドレス）入力後確定キーを押すと同じ番号を2Bの欄にコピーできます。

**3** 相手の名前を入力する。

① { アイテメイ } にカーソルを移動後、確定キーを押す。

相手名登録画面が表示されます。

② 文字にカーソルを合わせ、確定キーを押す。  
相手名登録画面の { アイテメイ } 欄に選択した文字が表示されます。

③ 文字を入力したらESCキーを押して前の画面に戻ります。

**4** 巡回ダイヤル先にする / しないを選択する。

この設定は{ 100 モード / カイセンセッテイ }メニューで{ ジュシンキ }を選択したときに設定できます。カーソルを{ ジュンカイダイヤル }のON / OFFに移動し、登録している地点を巡回ダイヤル時の巡回先にする / しないを選択します。

ON : 巡回先として登録します。

OFF : 巡回先から外します。

他の相手名を登録するときはESCキーを押して { 310 タンシュクデンワチョウ }画面まで戻り、1~4の手順を繰り返してください。

## ワンタッチダイヤルの設定

ワンタッチダイヤルを登録する前に短縮電話帳に相手を登録してください。

```

320 ワンタッチダイヤルセッテイ
NO. タンシュク アイテメイ
1 001
2 002
3 003
4 004
5 005

:イドウ カクテイ:センタクガメン ESC:マエガメン
テイセイ:ショウキョ
    
```



```

センタクリスト
NO. アイテメイ ジュンカイ
001 ミトウロク ON
002 トゴシギンザ OFF
003 カマタシテン
004 ツツキシテン ON
005 サエドシテン OFF
006 ヨコハマシテン
007 カナガワシテン
008 ホンテン
009
010

No..... :イドウ カクテイ:センタク ESC:マエガメン
    
```



```

320 ワンタッチダイヤルセッテイ
NO. タンシュク アイテメイ
1 002 トゴシギンザ
2 005 サエドシテン
3 001 ミトウロク
4
5 000 <ジュンカイダイヤル>

:イドウ カクテイ:センタクガメン ESC:マエガメン
テイセイ:ショウキョ
    
```

- 1 登録するワンタッチダイヤルNo. をカーソルキーで選択し、確定キーを押す。  
センタクリスト画面が表示されます。
- 2 登録する短縮番号をテンキーで入力する。  
選択リストに、選択した短縮番号のページが表示されます。  
  
短縮番号を直接入力せずに、カーソルキー（上下）で確認しながら選択することもできます。  
登録する短縮番号にカーソルを移動してください。
- 3 確定キーを押す。  
  
{320 ワンタッチダイヤルセッテイ}画面に選択した短縮番号、相手名が表示されます。  
  
他のワンタッチダイヤルキーを登録するときは1~3を繰り返してください。  
  
登録した短縮番号を削除するときはカーソルを削除したい番号に合わせてから訂正キーを押してください。

### 巡回ダイヤルの登録と消去

- 巡回ダイヤル用の短縮番号「000」を登録するときは、次の手順で操作してください。ただし、巡回ダイヤルは受信機にだけ登録できます。
  - ①「ワンタッチダイヤル セッテイ」画面で、巡回ダイヤルを設定する番号にカーソルを移動する。
  - ②訂正キーを押して、仮に登録した短縮番号を消去する。
  - ③テンキーで「0」を入力する。
- 巡回ダイヤル用の番号「000」がワンタッチダイヤルキーに登録されている受信機を送信機に変更すると、ワンタッチダイヤルキーの設定内容がそのまま引き継がれます。ワンタッチダイヤルキーに登録されている巡回ダイヤル用の番号「000」は送信機では動作しませんので、上記設定メニューで訂正キーを押して削除してください。

## 巡回ダイヤルの設定

受信機

巡回ダイヤルを開始する地点の短縮番号、1地点における通信時間、巡回を繰り返すか否かを設定します。巡回ダイヤルは短縮電話帳の { ジュンカイダイヤル } がONの地点が有効になります。

### 330 ジュンカイダイヤル

```

カイシ タンシュクNO. : 001
1チテン ツウシンジカン :
  10S 20S 30S 1M 5M シュドウ
ジュンカイ クリカエシ : ON OFF

タンシュクデンワチョウノ ジュンカイダイヤル ONセッテイシタ
チテンガ ユウコウニ ナリマス。

```

: イドウ : センタク ESC : マエガメン

- **カイシ タンシュクNO.** : 巡回ダイヤルを開始する地点の短縮番号をテンキーで入力します。
- **1チテン ツウシンジカン** : 1地点当たりの監視時間をカーソルキーで選択します。巡回地点の切り替えを手動で切り替えたいときは { シュドウ } を選択してください。
- **ジュンカイ クリカエシ**  
 ON : 通信キーで巡回ダイヤルを終了するまで巡回を繰り返します。  
 OFF : 巡回先を1巡したら巡回を終了します。

## システム設定

【400】

システムの動作に関する設定を行います。設定項目は次のとおりです。

- 日付・時刻の設定
- シリアルデータポート / ホストポートの設定
- ビューポイントの設定
- 音声品質の設定
- 画像品質の設定
- アラーム発生時の動作の設定
- シーケンシャルスキャンの設定
- アラーム発生時の画像の蓄積方法の設定
- パスワードの設定

```
0 0 0 TOP
1 0 0 モード / カイセンセッテイ (ソウシンキ / カイセンコウカン)
2 0 0 チャクシンセッテイ
3 0 0 タンシュクデンワチョウ・ハッシンセッテイ
4 0 0 システムセッテイ
5 0 0 コントロール
6 0 0 メンテナンス
7 0 0 リモートセッテイ
```

: イドウ カクテイ: ツギガメン ESC: ショウキョ



```
4 0 0 システムセッテイ
4 1 0 トケイセッテイ
4 2 0 シリアルデータポート / ホストポート
4 3 0 ビューポイントセッテイ
4 4 0 オンセイ
4 5 0 エイゾウ
4 6 0 アラーム
4 7 0 シーケンシャルスキャンセッテイ
4 8 0 ガゾウチクセキ
4 9 0 ロック / メニューパスワード
```

: イドウ カクテイ: ツギガメン ESC: マエガメン

**1** カーソルを { 400 } の項目に移動し、確定キーを押す。  
{ 400 システムセッテイ } メニューが表示されます。

**2** 設定項目を選択し、確定キーを押す。

設定画面が表示されます。

- 410: 日付・時刻を設定します。
- 420: シリアルデータポート / ホストポートを使用するとき設定します。
- 430: ビューポイントを設定します。 送信機
- 440: 音声品質を設定します。
- 450: 画質・画面表示を設定します。
- 460: アラーム発生時の動作を設定します。 送信機
- 470: シーケンシャルスキャンのON / OFF、切替時間を設定します。 送信機
- 480: 画像蓄積方法を設定します。 送信機
- 490: パスワードを設定します。

## 日付・時刻の設定

ここで設定した日付や時刻は本機の電源を「入」にしたときモニターに表示されます。また、アラーム履歴や着信履歴に表示される日付や時刻の管理にも使用されます。

```
410 トケイセツテイ
98/07/15 水 14:34 セット
 / / : 
```

:イドウ テイセイ:ショウキョ ESC:マエガメン

### 1 テンキーで日付を年/月/日の順に1文字ずつ入力する。

- 入力した日付を基に曜日が表示されます。  
年は西暦の下2けたを入力します。西暦2000年は“00”と入力します。
- 1, 2, 3など1けたの月/日を入力するときは初めに0を入力します(01, 02, 03など)。

### 2 テンキーで時・分を入力する。

月/日と同様に、1, 2, 3など1けたの時/分を入力するときは初めに0を入力します(01, 02, 03など)。

### 3 カーソルを{セット}に移動し、確定キーを押す。

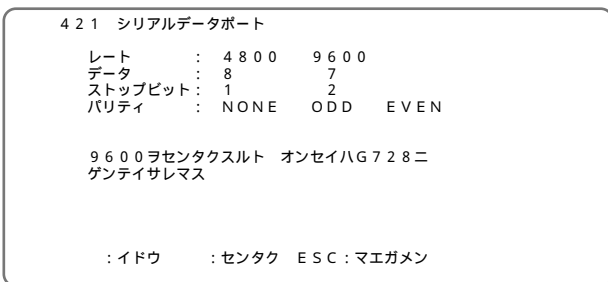
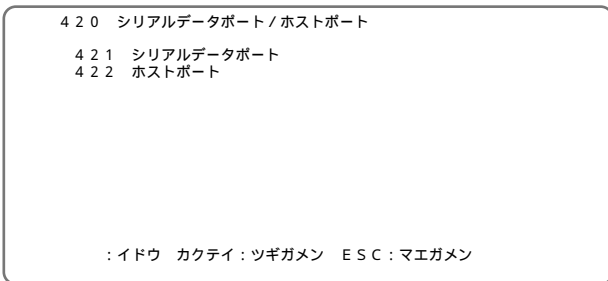
確定キーを押すと入力した時刻の00秒に設定されます。

## シリアルデータポート / ホストポートの設定

シリアルデータポート [ データポート ] とホストポート [ RS-485 / ホストポートまたはRS-232C / ホストポート ] の入出力に関する設定をします。

- [ データポート ] を使用して接続する機器 (例えばマトリクススイッチャー / コントローラー) を接続して使用する場合、{ 421 シリアルデータポート } を設定します。
- [ RS-485 / ホストポートまたはRS-232C / ホストポート ] を使用して接続する機器 (例えばパーソナルコンピューター (以下PC)) を接続して使用する場合、{ 422 ホストポート } の設定を行ってください。
- シリアルデータポートを使用しない場合、データの転送速度 (レート) を4800に設定することをお勧めします (画像の動きが良くなります)。
- ホストポートを使用しない場合、設定する必要はありません。

### シリアルデータポートの設定



#### メモ

接続する機器に設定内容を合わせる必要があります。  
接続する機器の取扱説明書を合わせてお読みください。

**1** カーソルを { 421 } の項目に移動し、確定キーを押す。  
{ 421 シリアルデータポート } メニューが表示されます。

**2** 次の項目を設定する。

- レート  
データの転送速度 (単位 : bps) を選択します。  
カーソルキーで希望する通信速度 (4800bps または9600bps) を選択します。  
9600bpsを選択すると音声の品質はG.728に限定されます。
- データ  
データ長 (単位 : ビット) を選択します。  
カーソルキーで希望するデータ長 (8bitまたは7bit) を選択します。
- ストップビット  
ストップビット (単位 : ビット) を選択します。  
カーソルキーで希望するストップビット (1bitまたは2bit) を選択します。
- パリティビット  
パリティビットを選択します。  
カーソルキーで希望するパリティビット (NON (なし), ODD (奇数), EVEN (偶数)) を選択します。

## ホストポートの設定

```
4 2 0 シリアルデータポート / ホストポート
```

```
4 2 1 シリアルデータポート
4 2 2 ホストポート
```

```
: イドウ   カクテイ : ツギガメン   ESC : マエガメン
```



```
4 2 2 ホストポート
```

```
レート       :   4800   9600   19200
```

```
データ       :   8      (コテイ)
```

```
ストップビット :   1      (コテイ)
```

```
パリティ     :   NONE  (コテイ)
```

```
RS485ユニットNO. :   01
```

```
: イドウ   : センタク   ESC : マエガメン
```

1 カーソルを { 422 } の項目に移動し、確定キーを押す。  
{ 422 ホストポート } メニューが表示されます。

2 次の項目を設定する。

- レート  
データの転送速度 (単位 : bps) を選択します。  
カーソルキーで希望する通信速度 (4800bps, 9600bps, または19200bps) を選択します。
- RS485ユニットNO.  
テンキーで番号 (01 ~ 99) を設定します。  
通常、設定する必要はありません。

### メモ

- シリアルデータポートとは異なり、データ長、ストップビット、パリティビットは変更できません。
- 接続する機器に設定内容を合わせる必要があります。  
接続する機器の取扱説明書を合わせてお読みください。
- RS-485ホストポートとRS-232Cホストポートを同時に使用することはできません。ただし、ディップスイッチの設定で切り替えて使用できます。詳しくは「設定用ディップスイッチの仕様」をお読みください。

# ビューポイントの設定

送信機

次の場合にビューポイントを設定します。

- シーケンシャル機能を使うとき。
- コンビネーションカメラのプリセット番号をテンキーで呼び出すとき。
- アラーム連動でカメラを切り替えるとき。
- トリガ出力を使用して外部スイッチャーでカメラを切り替えるとき。
- スタンバイ中は自局に接続されているカメラ、コンビネーションカメラ、スイッチャーを制御できます。通信中はコントロールサイト(受信機)からリモートサイト(送信機)側の制御になります。送信機側は自局の制御になります。

### メモ

RS-485シリアルデータポートで制御しているスイッチャーに接続されているカメラの切り替えはできません。

```

430 ビューポイントセットイ
No.カメラ プリセット トリガ アラーム
1. 1 1 . ON OFF
2. 2 . . ON OFF
3. 3 . . ON OFF
4. 4 . . ON OFF
5. 5 . . ON OFF
6. 1 6 . ON OFF
7. 1 7 . ON OFF
8. 1 8 . ON OFF

デフォルトビューポイントNO. : 1
ガ ツイテイルNO.ガ ユウコウニナリマス(カクテイ: /-)
:イドウ 1-5(カメラ) 1-8(トリガ)
カクテイ(アラームON/OFF):センタク ECS:マエガメン
    
```

## 1 ビューポイントの有効/無効を設定する。

カーソルを画面左にある { } (または { - }) に移動後、確定キーを押して有効/無効を選択します。

: 有効にします。

- : 無効にします。

ビューポイント有効 ( ) / 無効 ( - )

ビューポイント番号

No.	カメラ	プリセット	トリガ	アラーム
1.	1	1	.	ON OFF
2.	2	.	.	ON OFF
3.	3	.	.	ON OFF
4.	4	.	.	ON OFF
5.	5	.	.	ON OFF
6.	1	6	.	ON OFF
7.	1	7	.	ON OFF
8.	1	8	.	ON OFF

プリセット番号

カメラ番号 (1~5)

## 2 テンキーでカメラ番号を入力する。

ビューポイント番号に対応させたいカメラ番号 1~5を入力します。カメラ番号は本機背面の映像入力1~5端子に対応しています。

プリセット番号はビューポイント番号と同じ番号が自動的に設定されます。変更することはできません。

### メモ

- 通信中にコントロールサイトのコントローラーの1~8キーを押すと、リモートサイトに設定されているビューポイントに切り替わります。また、コントローラーの[\*]キーを押すと、有効に設定されているビューポイントを順に切り替えることができます。
- スタンバイ中は自局(リモートサイト)のコントロールとなります。
- プリセット番号は、カメラ番号に、1を設定した場合にだけ設定できます(コンビネーションカメラが映像入力1端子に接続されている必要があります)。



アラーム連動ON / OFF

トリガ (1~8)

No.	カメラ	プリセット	トリガ	アラーム
1.	1	1	.	ON OFF
2.	2	.	.	ON OFF
3.	3	.	.	ON OFF
4.	4	.	.	ON OFF
5.	5	.	.	ON OFF
6.	1	6	.	ON OFF
7.	1	7	.	ON OFF
8.	1	8	.	ON OFF

### 3 トリガの有効 / 無効を設定する。

リモート切り替え端子のある機器(例えばシーケンシャルスイッチャー)にカメラを接続しているとき、この項目を設定します。

カーソルをトリガの欄に移動し、テンキーで1~8の番号を入力します。

### 4 アラーム連動のON / OFFを設定する。

センサーが動作したときにビューポイントを自動的に切り替える / 切り替えないを設定します。カーソルキーでONまたはOFFを選択後、確定キーを押します。

センサー入力 / トリガー出力端子のセンサー入力端子番号とビューポイントの番号は一致しています。

ON : アラーム連動を有効にします。

OFF : アラーム連動を無効にします。

### 5 1~5を繰り返しビューポイント1~8を設定する。

### 6 デフォルトビューポイント番号を設定する。

電源を入れたときまたは通信を切断したとき、最初に表示するビューポイントを設定します。また、シーケンシャル機能を開始したとき、ここに設定した番号からシーケンスを開始します。

#### メモ

- デフォルトビューポイントに設定したビューポイントの映像が、センサー動作前の映像として画像メモリーに蓄積されます(シーケンシャルスキャンの設定がOFFのとき)
- コンピネーションカメラでシーケンシャルスキャンを行う場合、次の手順でビューポイントに0を入力してください。
  - ① ビューポイント番号にカーソルを移動する。
  - ② 訂正キーを押してビューポイント番号を削除する。
  - ③ テンキーで0を入力する。

## 音声品質の設定

送信する音声の品質を設定します。受信音声はこの設定に関係ありません（音声送信側の設定によって音質が決まります）。

### ●リモートサイト（送信機）

```

440 オンセイ
エコーキャンセラ： ON      OFF
ソウシンオンセイ： G728   G722   OFF

データツウシンポートガ 9600ノトキニハ G728ニ
セツテイサレマス

：イドウ      ：センタク ESC：マエガメン
    
```

### ●コントロールサイト（受信機）

```

440 オンセイ
エコーキャンセラ： ON      OFF
ソウシンオンセイ： ON      OFF

：イドウ      ：センタク ESC：マエガメン
    
```

#### 音声モードと受信音声の関係

送信機側設定	受信機側設定	送信機	受信機音声	受信機	送信機音声
G722	ON	G722	G722	G722	G722
G722	OFF	G722	G722	OFF	OFF
G728	ON	G728	G728	G728	G728
G728	OFF	G728	G728	OFF	OFF
OFF	ON	OFF	OFF	G728	G728
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

注：シリアルデータポートの設定が9600bpsに設定している場合は自動的にG728に切り替わります。

## 1 エコーキャンセラのON / OFFをカーソルキーで選択する。

ON : エコーキャンセラを有効にします。

OFF : エコーキャンセラを無効にします。

#### メモ

リモートサイトにマイクなどの集音装置を接続しているときにコントロールサイトからの音声を拡声するとエコーが発生することがあります。エコーが気になるときはリモートサイトのエコーキャンセラをONにしてください。

## 2 送信音声の品質（符号化モード）をカーソルキーで選択する。

### ●リモートサイト（送信機）

G728：画質を優先して送信するときに選択します。また、1Bでの通信で画像と音声を送信したいときにも有効です。

G722：音声の品質を優先して送信するときに選択します。

OFF：音声の送信を中止します。

### ●コントロールサイト（受信機）

ON：音声を送信します。

OFF：音声の送信を中止します。

#### メモ

●受信機モードのとき、G722は選択できません。

●G722を選択するときは必ず2Bで通信を行ってください。1Bで通信を行うと画像を送ることができなくなります。

●音声データ量を小さく（G728を選択）することによって、一度に送信できる画像データ量を増やすことができ、画質がよくなります。

●シリアルデータポートのレートに9600bpsを選択すると自動的にG728で動作します。

●通信中に音声品質の選択はできません。

## 画質・画面表示の設定

450 エイゾウ  
 451 ガシツ/ウゴキ  
 452 ガメンヒョウジ  
 453 ケーブルホショウ

:イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:マエガメン

- 451 ガシツ/ウゴキ 送信機  
送信する画像の画質を選択します。
- 452 ガメンヒョウジ  
モニターの画面に表示する項目を選択します。
- 453 ケーブルホショウ 送信機  
ケーブルによる伝送ロス補正の設定を行います。

## 画質 / 動きの設定

450 エイゾウ  
 451 ガシツ/ウゴキ  
 452 ガメンヒョウジ  
 453 ケーブルホショウ

:イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:マエガメン



451 ガシツ/ウゴキ  
 ウゴキユウセン ヒョウジュン ガシツユウセン

:センタク ESC:マエガメン

- 1 カーソルを { 451 } の項目に移動し、確定キーを押す。  
{ 451 ガシツ/ウゴキ } メニューが表示されます。
- 2 カーソルキーで選択する。
  - ウゴキユウセン  
画像の動きを優先します。画質は若干悪くなります。
  - ヒョウジュン  
通常はこの設定で使用してください。
  - ガシツユウセン  
画質を優先します。画像の動きは若干遅くなります。

## 画面表示内容の設定

```

450 エイソウ
451 ガシツ/ウゴキ
452 ガメンヒョウジ
453 ケーブルホショウ

:イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:マエガメン
    
```



```

452 ガメンヒョウジ
カメラバンゴウヒョウジ: ON OFF
アイテムヒョウジ      : ON OFF
ジコクヒョウジ        : ON OFF

:イドウ :センタク ESC:マエガメン
    
```

**1** カーソルを { 452 } の項目に移動し、確定キーを押す。  
 { 452 ガメンヒョウジ }メニューが表示されます。

**2** 表示内容のON / OFFをカーソルキーで選択する。

- カメラバンゴウヒョウジ  
 ON : ビューポイント番号を表示します。  
 OFF: ビューポイント番号を表示しません。
- アイテムヒョウジ  
 ON : 通信中の相手の名前 (短縮電話帳に登録されている名前) を表示します。  
 OFF: 相手名を表示しません。
- ジコクヒョウジ  
 ON : 時刻を表示します。  
 OFF: 時刻を表示しません。

## ケーブル補償の設定

```

450 エイソウ
451 ガシツ/ウゴキ
452 ガメンヒョウジ
453 ケーブルホショウ

:イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:マエガメン
    
```



```

453 ケーブルホショウ
カメラ1: S M L
カメラ2: S M L
カメラ3: S M L
カメラ4: S M L
カメラ5: S M L

:イドウ :センタク ESC:マエガメン
    
```

**1** カーソルを { 453 } の項目に移動し、確定キーを押す。  
 { 453 ケーブルホショウ }メニューが表示されます。

**2** ケーブル補償の値をカーソルキーで選択する。

ケーブル長とS, M, Lの関係は次のとおりです (ただし、ケーブルは5C-2Vを使用した場合)。

- S : 500 m未満
- M : 500 ~ 900 m未満
- L : 900 ~ 1200 m

## アラーム発生時の動作の設定

送信機

リモートサイトにセンサー入力があったときの動作を設定します。  
発信先は短縮番号で指定します。本設定の前に短縮番号の設定を行ってください。

460 アラーム

461 アラームハッシンセッテイ  
462 アラームハッシンテーブル1  
463 アラームハッシンテーブル2  
464 アラームハッシンテーブル3

: イドウ カクテイ: ツギガメン ESC: マエガメン

### ●461 アラームハッシンセッテイ

次の項目を設定します。

- ・センサーの動作方式
- ・センサーがOFFになってから通信を終了するまでの時間
- ・3つのテーブルの曜日/時間帯設定

### ●462~4 アラームハッシンテーブル1~3

センサー入力/トリガ出力端子にセンサーから入力があったときの発信先を登録します。テーブルごとに、入力があったアラーム端子に対して発信先を登録できます。

## アラーム動作環境の設定

460 アラーム

461 アラームハッシンセッテイ  
462 アラームハッシンテーブル1  
463 アラームハッシンテーブル2  
464 アラームハッシンテーブル3

: イドウ カクテイ: ツギガメン ESC: マエガメン

**1** カーソルを { 461 } の項目に移動し、確定キーを押す。  
{ 461 アラームハッシンセッテイ } メニューが表示されます。

**2** カーソルをアラームタイプの欄に移動し、本機のアラーム入力の検出方法を設定する。

- レベル  
使用するセンサーの出力が一定時間ONになり続けるタイプのとき選択します。ONになっている間はアラーム発信と通信を継続します。
- エッジ  
使用するセンサーがセンス出力が短いパルスになっているセンサーのときに選択します。

461 アラームハッシンセッテイ

アラームタイプ : レベル エッジ  
アラーム ジドウセツダン タイマー: 60S  
アラーム ハッシンジコク テーブルセッテイ:  
テーブル ヨウビ ユウコウジカン  
1 月-金 08:30-17:00  
2 土-日 00:00-00:00  
3 月-日 00:00-00:00

カクテイ: ヨウビインクリメント テイセイ: ショウキョ  
: イドウ ESC: マエガメン

### 3 カーソルをアラームジドウセツダンタイマーの欄に移動し、自動切断するまでの時間をテンキーで入力する。

10秒単位で指定できます。

アラームタイプがレベルの場合：

00 ~ 60 (0 ~ 600秒)

アラームタイプがエッジの場合：

01 ~ 60 (10 ~ 600秒)

#### メモ

レベルアラーム / エッジアラームの動作については「工事説明 アラーム動作について」をお読みください。

発信先テーブル番号

アラームタイプ	:	レベル	エッジ
アラームジドウセツダンタイマー	:	60 S	
アラームハツシンジコクテーブルセットイ	:		
テーブル	ヨウビ	ユウコウジカン	
1	月-金	08:30-17:00	
2	土-日	00:00-00:00	
3	月-日	00:00-00:00	

開始曜日 終了曜日 開始時刻 終了時刻

### 4 アラーム発信テーブル1~3の有効時間を設定する。

テーブル1から順番に設定してください。有効時間を設定後、{462~464 アラーム発信テーブル1~3}メニューで発信先を設定してください。

#### メモ

- 曜日・時間に関係なく、常にアラーム発信先テーブルに設定した発信先に発信したいときは、{月-日 00:00-00:00}と指定してください。
- テーブルを無効にするには無効にしたいアラーム発信テーブルに設定されている発信先(短縮番号)をすべて消去してください。

#### ① 曜日の範囲を選択する。

カーソルを開始曜日の欄に移動し確定キーを押します。確定キーを押すたびに「月、火、水・・・日」の順に曜日が変わります(ヨウビインクリメント)。

開始曜日を選択後、終了曜日にカーソルを移動し、終了する曜日を確定キーを押して選択します。

#### ② 開始時刻、終了時刻を設定する。

開始時刻、終了時刻の順に設定してください。テンキーで入力します。24時間制で入力してください。

24時間有効にするときは開始時間、終了時間ともに{00:00}を入力してください。

## アラーム発信テーブル1～3の設定

```

460 アラーム
461 アラームハッシンセットイ
462 アラームハッシンテーブル1
463 アラームハッシンテーブル2
464 アラームハッシンテーブル3

:イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:マエガメン
    
```



```

462 アラームハッシンテーブル1
月-金 08:30-17:00 ----- テーブル有効時間
アラーム #1 #2 #3
1 001 002 003
2 005 006 007
3 ... ..
4 ... ..
5 050 051 055
6 ... ..
7 ... ..
8 ... ..

:イドウ :センタクガメン ESC:マエガメン
    
```

センサー入力番号

発信先 (第1候補)

アラーム	#1	#2	#3
1	001	002	003
2	005	006	007
3	...	...	...
4	...	...	...
5	050	051	055
6	...	...	...
7	...	...	...
8	...	...	...

第2候補

第3候補

```

センタクリスト
NO: アイテム          ジュンカイ
001 ミトウロク         ON
002 トゴシギンザ     OFF
003 カマクシテン     ON
004 ツツキシテン     ON
005 サエドシテン     OFF
006 ヨコハマシテン
007 カナガワシテン
008 ホンテン
009
010

No. .... :イドウ カクテイ:センタク ESC:マエガメン
    
```

**1** カーソルを { 462 } ~ { 464 } の項目に移動し、確定キーを押す。  
アラーム発信テーブル設定メニューが表示されます。  
テーブルごとに設定します。

**2** 使用するセンサー端子番号ごとに発信先 (第1候補～第3候補)を入力する。

- 第1候補～第3候補には短縮番号を設定します。
- 短縮番号は選択リスト画面から選択できます。選択リスト画面は、短縮番号を登録したい場所にカーソルを合わせ、確定キーを押すと表示できます。選択リストが表示されたら、登録する短縮番号にカーソルを合わせ、確定キーを押してください。
- メニューの「センサー入力番号(1～8)」と、センサー入力/トリガー出力端子の「センサーIN1～8(6～25番ピン)」は一致しています。
- アラーム番号ごとに発信先を3か所(候補含む)まで指定できます。
- 入力した短縮番号を消去するときは訂正キーを押します。
- 第1候補から第3候補に、同じ番号を設定することはできません。

### メモ

- 巡回用短縮番号(000)は指定できません。
- 発信先が話し中などの原因で接続できなかった場合、第2候補 第3候補の順番で発信します。
- 第3候補に発信して接続できなかった場合、約1分後に再度第1候補から発信を繰り返します(繰り返しは2回までです)。3回発信しても接続できなかった場合はアラーム発信を解除します。ただし、その時点で、レベルタイプのセンサーがONの場合は発信を繰り返します。

## シーケンシャルスキャンに関する設定

送信機

送信機側でビューポイント（1～8）を自動的に切り替えて監視するときに設定します。シーケンシャルスキャンはスタンバイまたは通信中どちらの状態でも動作します。

### 470 シーケンシャルスキャンセッテイ

シーケンシャルスキャン： ON OFF  
 キリカエジカン： : : S  
 ジドウフッキジカン： : : 0 S

テシジカンハ、2～30 Sマデ ニュウリョクカノウデス  
 ジドウフッキジカンハ、10～300 Sマデ ニュウリョクカノウデス

: イドウ ESC: マエガメン

- 1 シーケンシャルスキャンのON / OFFをカーソルキーで選択する。  
 ON：シーケンシャルスキャンを有効にします。  
 OFF：シーケンシャルスキャンを無効にします。
- 2 ビューポイント1か所当たりの監視時間（切替時間）をテンキーで入力する。  
 停止時間は2～30秒（1秒単位）までの範囲で指定できます。
- 3 自動復帰時間をテンキーで入力する。  
 スキャンの途中でビューポイントを手動で操作したとき、シーケンシャルスキャンに戻るまでの時間（自動復帰時間）を設定します。自動復帰時間は1から30（10秒から300秒）までの範囲で指定できます。

## 画像蓄積方法に関する設定

センサーが動作する前後の画像と音声を、リモートサイトのAVコーデックに蓄積する方法を設定します。

### 480 ガソウチクセキ

アラームゴ チクセキ : ON OFF

: イドウ : センタク ESC: マエガメン

- 1 センサー動作後の映像を蓄積する / しないを選択する。  
 ON：センサー動作後も画像と音声を蓄積します。  
 センサー動作後の画像蓄積時間はセンサー動作前約20秒、センサー動作後の画像を約20秒蓄積します。  
 OFF：センサー動作後の画像と音声は蓄積しません。センサー動作前の画像を約40秒蓄積します。

アラーム後蓄積をONにすると  
 センサー入力後、画像蓄積が終了するまで発信動作は行われません。

### 画像蓄積時間について

画像蓄積時間は被写体の動きや複雑さによって約30秒から約40秒の間で変化します。同様にセンサー動作前または動作後の蓄積時間が20秒以下になることがあります。



## ロック/パスワードに関する設定

パスワードでメニューの表示やテンキーの操作を無効（ロック）したいときに設定します。

490 ロック/メニューパスワード  
491 ロック  
492 メニューパスワード

: イドウ カクテイ: ツギガメン ESC: マエガメン

### メモ

{491 ロック}メニューで{メニューロック}の項目をONにするときは、必ず{492 メニューパスワード}メニューでパスワードを設定してください。

- 491 ロック  
不当な利用者による設定変更や操作を防止したいときに設定します。
- メニューロック  
メニューキーを押したときにパスワードの確認を行います。不当な利用者による設定内容の変更を防止します。
- テンキー操作のロック  
テンキーによるビューポイントの切り替え無効にします。ただし、メニューの設定時はテンキーを使用できます。
- ファンクションキーのロック 受信機  
次のキー操作を無効にします。
  - ・映像切替キー
  - ・アラーム確認キー
  - ・#キー
- 492 メニューパスワード  
パスワードを登録または変更します。

## ロック項目の設定

490 ロック/メニューパスワード  
491 ロック  
492 メニューパスワード

: イドウ カクテイ: ツギガメン ESC: マエガメン



491 ロック  
メニューロック : ON OFF  
10キーロック : ON OFF  
ファンクションキーロック: ON OFF

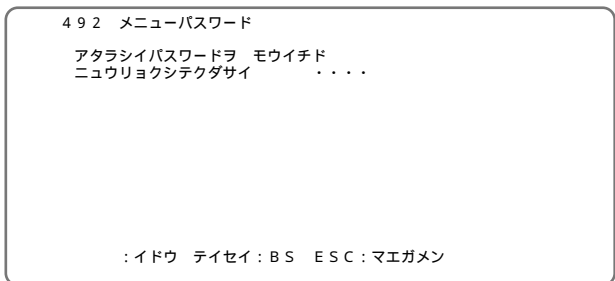
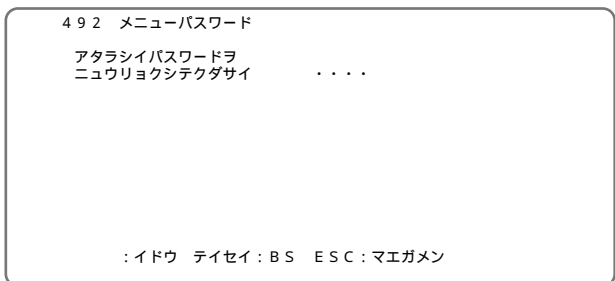
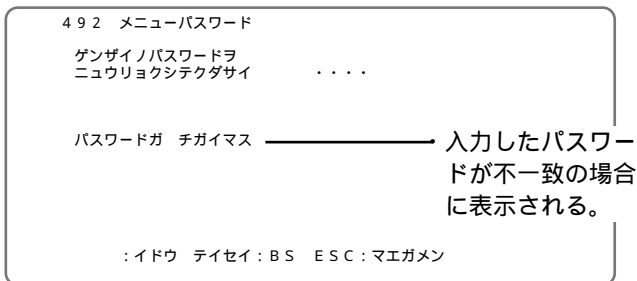
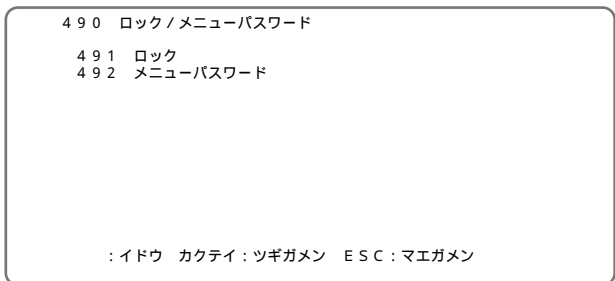
: イドウ : センタク ESC: マエガメン

- 1 カーソルを {491} の項目に移動し、確定キーを押す。  
{491 ロック}メニューが表示されます。
- 2 カーソルキーでロックする項目を選択し、確定キーを押す。
  - メニューロック  
ON : ロックします。  
OFF : ロックを解除します。
  - 10キーロック  
ON : ロックします。  
OFF : ロックを解除します。
  - ファンクションキーロック 受信機  
ON : ロックします。  
OFF : ロックを解除します。

注 {メニューロック}の項目をロックした場合は、パスワードを必ず設定してください。

## メニューパスワードの設定

パスワードの登録 / 変更を行います。パスワードは4けた数字で指定してください。



- 1 カーソルを { 492 } の項目に移動し、確定キーを押す。  
{ 492 メニューパスワード } メニューが表示されます。
- 2 テンキーで現在のパスワードを入力し、確定キーを押す。
  - 設定されているパスワードを入力します。間違ったパスワードを入力したときは正しいパスワードを再入力してください。
  - パスワードを設定していないとき（お買い上げ時やシステム初期化後）この画面は表示されずに次の画面が表示されます。
- 3 新しいパスワードをテンキーで入力し、確定キーを押す。  
パスワード入力メッセージが表示されます。
  - 4けたのパスワードを入力してください。
  - 入力したパスワードはメモなどに記入し保管してください。パスワードを忘れるとメニューを操作できなくなります。
- 4 確認のため新しいパスワードを再入力し、確定キーを押す。  
正しいパスワードを入力すると { 490 } メニューに戻ります。

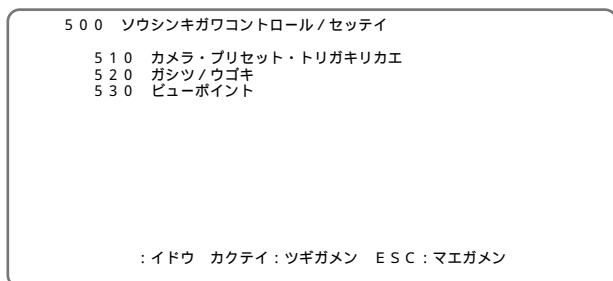
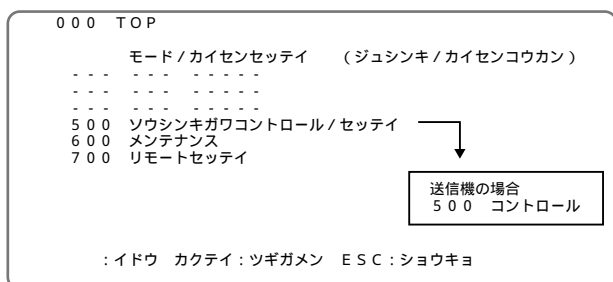
メモ  
パスワードを忘れてしまった場合は販売店にご相談ください。

# 通信中に設定を変更する

## コントロール

【500】 受信機

コントロールサイトからリモートサイトに接続されているカメラや画質、ビューポイントを操作できます。



### 1 カーソルを { 500 } の項目に移動し、確定キーを押す。

コントロールサイト用AVコーデックの場合：

{ 500 ソウシンキガワコントロール/セッテイ } メニューが表示されます。

リモートサイトに接続されたカメラをメニューから操作または設定できます

リモートサイト用AVコーデックの場合：{ 500 コントロール } メニューが表示されます。

### 2 設定項目を選択し、確定キーを押す。

設定画面が表示されます。コントロールサイトの場合、次の項目を設定できます。

510：カメラ・プリセット/トリガを切り替えます。また、コンビネーションカメラを映像入力1端子に接続している場合、カメラのメニューを表示してカメラ側機能を設定できます。

520：コントロールサイトからの画像の画質を切り替えます。

530：ビューポイントを設定します。設定内容や設定方法は { 430 ビューポイントセッテイ } メニューと同じです。{ 430 ビューポイントセッテイ } メニューの説明をお読みください。

リモートサイトの場合、次の項目を操作できます。

500：自局のカメラ/プリセット/トリガを切り替えます。また、コンビネーションカメラを映像入力1端子に接続している場合、カメラのメニューを表示してカメラ側機能を設定できます (送信機のみ)。

## カメラ・プリセット・トリガの切り替え

リモートサイトのカメラやプリセット、トリガ出力の切り替え、カメラメニューの表示や設定ができます。

### 510 カメラ・プリセット・トリガキリカエ

```

カメラキリカエ      :   1  2  3  4  5
プリセットキリカエ  :   1  2  3  4  5  6  7  8
トリガシュツリョクキリカエ:  1  2  3  4  5  6  7  8
カメラメニュー
    
```

: イドウ カクテイ: ジッコウ ESC: マエガメン

### メモ

- {カメラメニュー}を選択してコンビネーションカメラの設定メニューで、カメラリセットを行うとカメラ側のメニューとAVコーデックのメニューが消去されてしまいます。このような場合は、メニューキーを押して{500}または{510}に戻ってください。

- {カメラメニュー}を設定する場合は、コントローラ(WV-CU20)でシステムコントローラ(WV-CU550シリーズ)の一部の機能を代用できます。キーの対応は下表をご覧ください。

#### キー対応表

WV-CU20	WV-CU550シリーズ
カーソルキー	ジョイスティックつまみ
確定キー	CAM (SET) キー
訂正キー	MON (ESC) キー
*キー	F2キー
#キー	F3キー

- 映像入力1にコンビネーションカメラが接続されていない場合、{カメラメニュー}は選択しないでください。選択すると、現在日時などの表示が消えます。また、相手側にカメラの設定メニューが表示されます。この場合、メニューキーを押してメニューを消去してから、再度設定操作をやり直してください。

### ●カメラキリカエ

映像入力を切り替えます。

カーソルキーで切り替える映像入力端子の番号を選択します。確定キーを押すと画像が切り替わります。

### ●プリセットキリカエ

コンビネーションカメラのプリセット位置を切り替えます。

{カメラキリカエ}で1を選択したときにだけ表示されます。

カーソルキーで切り替えるプリセット番号を選択します。確定キーを押すと画像が切り替わります。

### ●トリガシュツリョクキリカエ

シーケンシャルスイッチャーなど、リモート切り替え機能のある機器を操作する場合に設定します。カーソルキーでトリガ出力番号を選択します。確定キーを押すと対応した番号のトリガ出力端子からパルスが出力されます。シーケンシャルスイッチャーが接続されている場合、画像が切り替わります。

### ●カメラメニュー

映像入力1端子に、コンビネーションカメラが接続されているときにだけ操作できます。

カーソルを{カメラメニュー}の項目に移動後、確定キーを押すとコンビネーションカメラの設定メニューが表示されます。

設定方法はお使いになるコンビネーションカメラの取扱説明書をお読みください。

コンビネーションカメラの設定メニューを終了する場合は、メニューキーを押してください。

### メモ

映像入力1端子に、コンビネーションカメラが接続されていないシステムで上記操作を行うと、次のような現象が発生します。誤って操作した場合は、メニューキーを押してください。

- 画面に表示されていた日時などの表示が消えます。
- 相手側のモニターに、カメラの設定メニューが表示されます。

## 画質の設定

リモートサイトから送信される画像の画質を切り替えることができます。切り替えた内容はリモートサイトに登録されます。

520 ガシツ/ウゴキ

ガシツ：  
ウゴキユウセン ヒョウジュン ガシツユウセン  
：センタク カクテイ：ジッコウ E C S：マエガメン

カーソルを次の項目に移動し確定キーを押します。選択した画質に切り替わります。

- ウゴキユウセン  
画像の動きを優先します。画質は若干悪くなります。
- ヒョウジュン  
通常はこの設定で使用してください。
- ガシツユウセン  
画質を優先します。画像の動きは若干遅くなります。

# メンテナンス機能の使いかた

## メンテナンス

【600】

アラームや通信の履歴、システムのバージョンなどを確認します。  
短縮電話帳やシステム設定内容を初期化することもできます。通信中は相手の状態やバージョンを確認できません。

```
000 TOP
100 モード/カイセンセッテイ (ジュシンキ/カイセンコウカン)
200 チャクシンセッテイ
300 タンシュクデンワチョウ・ハッシンセッテイ
400 システムセッテイ
---
600 メンテナンス
700 リモートセッテイ
```

:イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:ショウキョ



```
600 メンテナンス
610 アラームログ
620 ツウシンキトケイセッテイ
630 ツウシンショウガイジョウホウ
640 ツウシンキロク
650 シリアルデータポート
660 ローカルループバック
670 バージョン
680 モードヒョウジ
690 ショキカ
```

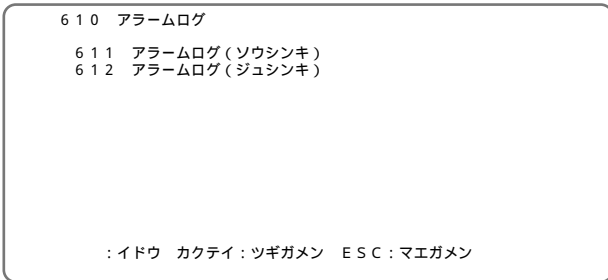
:イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:マエガメン

- 1 カーソルを {600} の項目に移動し、確定キーを押す。  
{600 メンテナンスメニュー} が表示されます。
- 2 確認したい項目をカーソルキーで選択し、確定キーを押す。

- 610: リモートサイトでセンサーが動作した履歴と、アラームによる発信がコントロールサイトに着信した履歴を確認できます。
- 620: リモートサイトの時計をコントロールサイトの時計の時刻に合わせます。  
通信中、コントロールサイトから操作しているときにだけ有効です。
- 630: 通信時に何らかの障害が発生し回線が切断または接続不可になったときの理由を確認できます。
- 640: {ツウシンキロク}メニューが表示されません。通信中着信記録、通信履歴を確認できます。
- 650: シリアルポートの設定内容を確認できます。通信中の場合、接続相手の設定内容が {リモート} 欄に表示されます。
- 660: 自サイト/相手側の環境を画像/音声の折り返しテストを行います。  
スタンバイ中に選択すると、{660 ローカルループバックテスト}メニューを表示し、自サイトの環境テストを行います。  
接続相手の環境をテストするときは通信中にこの項目を選択します。通信中に選択すると {660 ループバックリクエスト}メニューを表示し、送信した画像/音声を相手側で折り返しテストを行います。
- 670: システムのバージョンを確認できます。
- 680: 音質や画質などの設定内容を確認できます  
通信中のみ操作できます。
- 690: {690 ショキカ}メニューを表示します。システムまたは短縮電話帳を初期化できます (通信中は表示できません)。

## アラームログ

アラーム履歴を100件まで確認できます。100件を超えた場合、古い履歴から順に消去されます。  
コントロールサイトから、リモートサイトに記録されているアラーム履歴を読み出して確認することもできます。



**メモ**  
アラームログは次の操作を行うと消去されます。

- 電源を「切」にしたとき。
- アラームログを表示中に訂正キーを押したとき。

### 1 カーソルで表示項目を選択する。

- 611 アラームログ(ソウシンキ)  
リモートサイトでセンサーが動作した日時とアラーム番号を表示します。通信中にコントロールサイトでこの項目を選択すると、リモートサイトに記録されているアラームログを読み出して表示できます。
- 612 アラームログ(ジュシンキ)  
コントロールサイト(受信機)でのみ選択できます。アラーム発信元、日時などを確認できます。

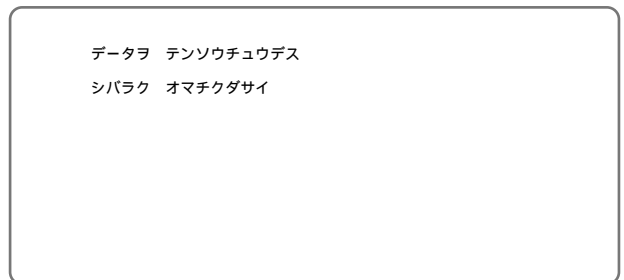
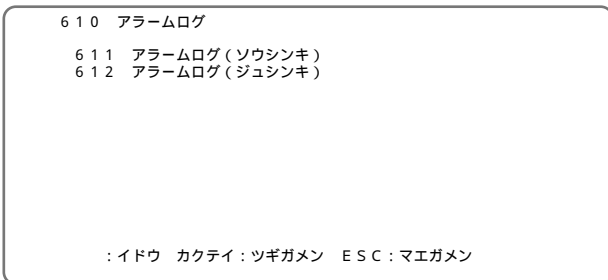
### 2 確定キーを押す。

確定キーを押すとアラームログが表示されます。

## アラームログ

送信機

通信中に{611}を選択し確定キーを押す。



転送終了後ログを表示

NO.	ヒニチ	ジカン	ALM
23	99/07/15	23:30:35	1
22	99/07/11	12:34:01	2
21	99/07/11	09:34:01	4
20	99/07/10	18:34:01	5
19	99/07/09	18:34:01	7
18	99/07/09	22:34:02	4
17	99/06/04	14:34:01	4
16	99/06/28	14:30:01	3
15	99/06/27	10:34:01	1
14	99/05/01	23:59:01	1

:ツギ10ケン :マエ ESC:マエガメン

1 / 3 ページ数 / 総ページ数  
ALM センサーIN番号

アラーム発生日付      アラーム発生時間  
通信切断後に確認することもできます。

**メモ**

- 読み出しが終了すると、最新の10件を表示します。表示されている以前のアラームログを見るときはカーソル( )キーを押します。
- 転送を始めた時点で最新の物を100件表示できます。転送開始後、リモートサイトに入力されたアラームは表示されません(ログはリモートサイトに記録されます)。
- リモートサイトで、このメニューを選択すると自局に記録されているアラームログを確認できます。

## アラームログ

受信機

通信中に { 612 } を選択し確定キーを押す。

612 アラームログ (ジュシキ)				1 / 3
NO.	ヒニチ	ジカン	アイテ	ALM
23	99/07/15	23:30:35	045xxxxxxx	1
22	99/07/11	12:34:01	サエドシテン	2
21	99/07/11	09:34:01	トゴシシテン	4
20	99/07/10	18:34:01		5
19	99/07/09	18:34:01	ツナシマシテン	7
18	99/07/09	22:34:02	ツナシマシテン	4
17	99/06/04	14:34:01	チガサキシテン	4
16	99/06/28	14:30:01	サエドシテン	*
15	99/06/27	10:34:01	ヨコハマシテン	1
14	99/05/01	23:59:01	クマモトシテン	1

:ツギ    マエ    テイセイ:クリア    ESC:マエガメン

アラームが入力されたセンサーIN端子番号

\* : 通信中着信のログ  
(コントロールサイトの時計で着信した日時を表示)

発信元相手名 (短縮電話帳に登録されていない相手からの着信の場合は発番号を表示。)

アラーム発生日付    アラーム発生時間  
(リモートサイトにアラームが入力された時間)

### メモ

- アラームログの時刻はリモートサイトの時刻を元にした記録です。  
通信中着信ログはコントロールサイトの時刻を元にした記録です。
- PBXなどの交換機を使用している場合、通信中に着信すると、同じ設定内容が2回記録されることがあります。

## リモートサイトの時計設定

受信機

620 ソウシキトケイセツテイ	
ソウシキトケイセツテイ:	ジッコウ
カクテイヲ    オスト    ソウシキガワノ    ジコクラ	
ジュシキガワノトケイニ    アウセマス	
カクテイ:ジッコウ    ESC:マエガメン	

この画面は、通信中のときにだけ操作できます。  
カーソルを {ジッコウ} に移動し確定キーを押します。  
リモートサイトの時計をコントロールサイトの時刻に合わせます。

### メモ

回線経由でコントロールサイトの時刻を通知するため、  
リモートサイトに設定されている時刻は約 ± 2 秒の誤差が生じます (誤差は通信経路によって異なります)。

## 通信障害情報の確認

通信に障害が発生し、通信が切断または接続不可になったときの通信情報を表示します。  
頻繁に通信中に回線が切断されるようなときはこの画面を表示し原因を確認してください。原因を確認後、必要ならばシステムの設定内容を見直しを行い、再設定してください。

630 ツウシンショウガイジョウホウ	
カイセンジョウタイ・リユウジョウホウ:	
1B: #021    ツウシンラクヨヒサレマシタ	理由表示
2B: #	
ツウシンジョウホウ	
1Bセツゾクシツバイ	通信情報表示
ESC:マエガメン	



## 通信記録の表示

```

640 ツウシンキロク
641 ツウシンチュウチャクシンキロク
642 ツウシンリレキ

:イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:マエガメン
    
```

1 カーソルで表示項目を選択する。

- 641 ツウシンチュウチャクシンキロク  
通信中に着信したとき、最新の発信元を1件確認できます。
- 642 ツウシンリレキ  
通信履歴を表示します。

2 確定キーを押す。

確定キーを押すと通信記録が表示されます。

## 通信中着信記録

```

641 ツウシンチュウチャクシンキロク
ハッシンモト 001 AVシステム
0459308972
サブ:001
ニチジ:06/06 06:05

ESC:マエガメン
    
```

- 発信元相手名（短縮電話帳に登録されている場合のみ表示）
- 発信元電話番号
- 発信元サブアドレス
- 着信日時

### メモ

回線の契約時に「通信中着信通知サービス あり」で契約する必要があります。「なし」で契約すると記録されません。また、通信中着信の記録は、最新の情報が1件だけ記録されます。この記録は電源を切ると消去されます。

## 通信履歴

通信履歴を100件まで確認できます。100件を超えた場合、古い履歴から順に消去されます。

```

642 ツウシンリレキ 1/20
100 06/23 16:13 ハッシン
045XXXXXXXXXXXXXXXXX
99 06/22 03:55 チャクシン B2
045XXXXXXXXXXXXXXXXX
98 06/22 03:55 ハッシン
03XXXXXXXXXXXXXXXXXX
97 06/22 15:25 ハッシン
0467XXXXXXXXXXXXXXXXX
96 06/21 03:51 チャクシン B2
0182XXXXXXXXXXXXXXXXX

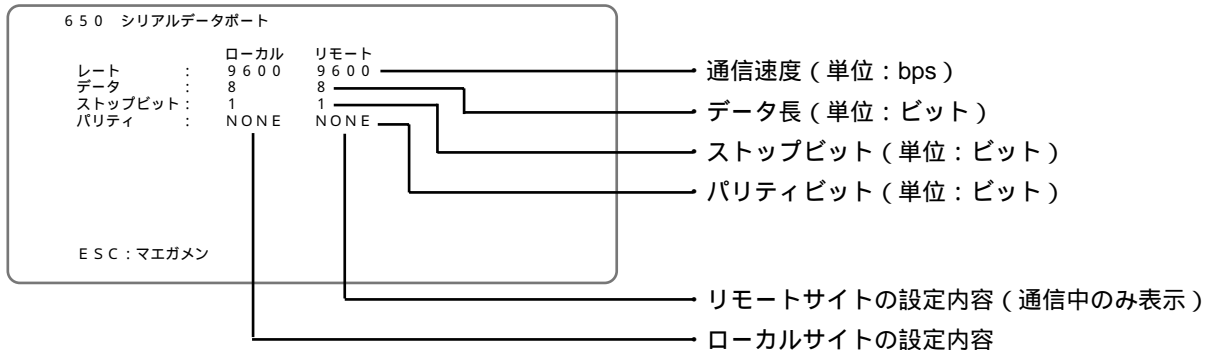
:マエノリレキ :ツギノリレキ ESC:マエガメン
    
```

- 通信日時
- 種別  
ハッシン、チャクシン、セツダン、ヒセツダン（相手側からの切断）、ツウチャクシン（通信中着信）
- 通信先の電話番号
- チャンネル（B1/B2）、着信時のみ表示。

### メモ

PBXなどの交換機を使用している場合、通信中に着信すると、同じ設定内容が2回記録されることがあります。この記録は電源を切ると消去されます。

## シリアルデータポートの設定の確認



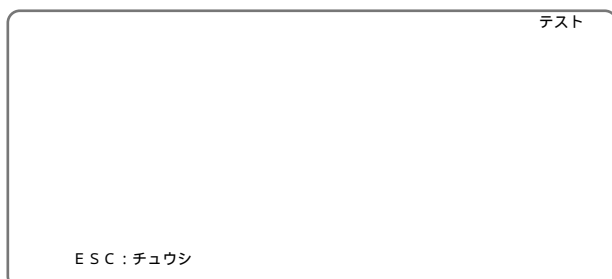
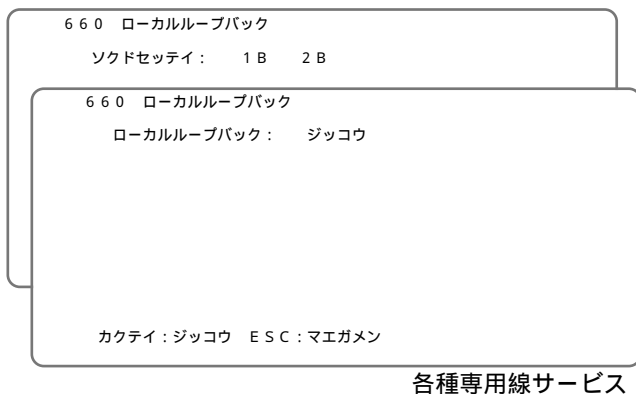
### メモ

ローカルサイトとリモートサイトの設定が一致していないと、シリアルデータポートは使用できません。  
 表示内容が異なるときは双方の設定を見直し、設定し直してください。

## ローカルループバック / ループバックリクエスト

### 自サイトでの折り返しテスト (ローカルループバック)

#### 回線交換網



- 1 INSネット64の場合、テスト時の回線速度をカーソルキーで選択する。  
 専用線サービスの場合、{ジッコウ}を選択する。
- 2 確定キーを押し、テストを開始する。  
 画面がテスト画面に切り替わります。
- 3 テストを終了するときはESCキーを押す。

### メモ

- ローカルループバックではシリアル / パラレルデータの折り返しは行いません。
- 映像が入力されていないと、テスト中、画面はブルーバックになります。
- ループバック実行中はテンキーによるビューポイントの切り替えはできません。また、音声にノイズが入ることがあります。
- コーデック内部の回線インターフェース回路で折り返します。

## 接続相手との折り返しテスト（ループバックリクエスト）

通信中に接続相手にこちらから送信した音声・画像・データを折り返してもらい（リモートループバック）相手側までの環境をテストします。

```

660 ループバックリクエスト
ループバックリクエスト: ジッコウ

カクテイ:ジッコウ ESC:マエガメン
    
```



```

                                テスト

ESC:チュウシ
    
```

- 1 テストを始める前にテストする相手に発信を行い、接続する。
- 2 {ジッコウ}を選択する。
- 3 確定キーを押し、テストを開始する。
- 4 テストを終了するときはESCキーを押し。

### メモ

G722で通信中にループバックリクエストを行うと、G728に切り替わることがあります。このときは、接続し直してからテストをやり直してください。

## バージョンの確認

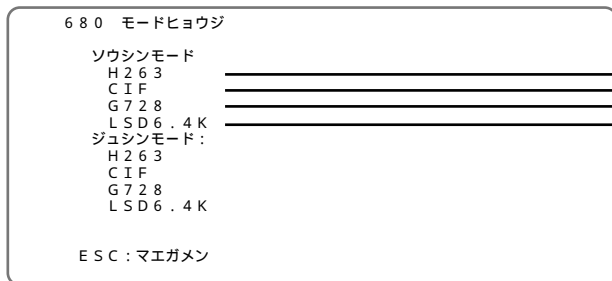
```

670 バージョン
          ローカル      リモート
SYSTEM:  .             .
HOST:    .             .
DSP:     .             .
SUB:     .             .
H/W:     .             .

ESC:マエガメン
    
```

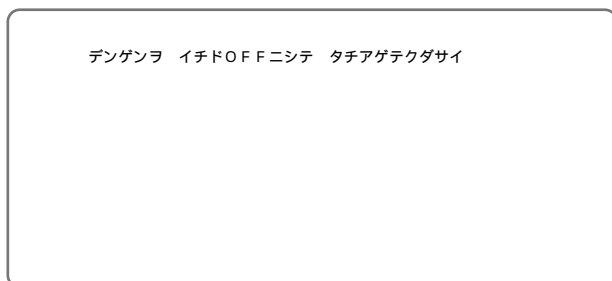
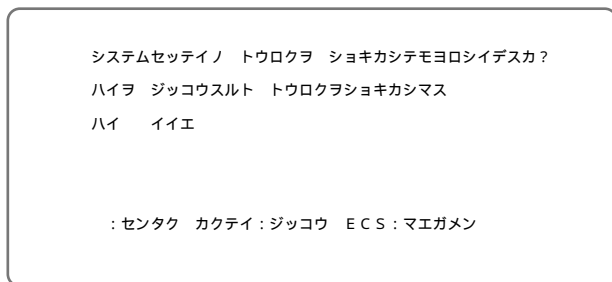
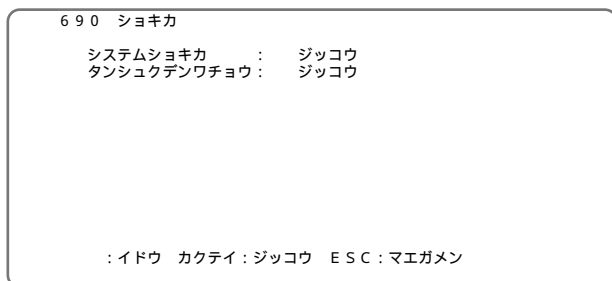
- リモートサイトのバージョンを表示
- コントロールサイトのバージョンを表示

## モードの確認



- 画像圧縮方式(H263:高画質モード H261:標準モード)
- 動画解像度(CIF:高解像度 QCIF:低解像度)
- 音質(G.722:高音質モード G.728:標準モード)
- データ通信モード

## 初期化



### 1 初期化したい項目にカーソルを移動する。

システムショキカ: 設定内容(短縮電話帳は除く)を全て初期化します。  
タンシユクデンワチョウ: 短縮電話帳の登録内容を全て消去します。

### 2 確定キーを押し、初期化する。

確認メッセージが表示されます。初期化する場合は{ハイ}を、初期化を中止するときは{イイエ}にカーソルを移動し確定キーを押します。初期化が完了すると{デンゲンヲ イチドOFFニシテ タチアゲナオシテクダサイ}メッセージが表示されます。

### 3 メッセージが表示されたら、電源を切る。

電源を入れ直すと、初期化された状態で本機が起動します。必要な項目を設定し直してください。

#### メモ

- 通信中は初期化できません。
- システムの設定と短縮電話帳の両方を初期化する場合は各項目ごとに1~3の操作を行ってください。
- 初期化中には絶対に電源を切らないでください。電源は{デンゲンヲ イチドOFFニシテ タチアゲナオシテクダサイ}メッセージが表示されてから切ってください。

# リモート設定機能の使いかた

## リモートセッテイ

【700】 受信機

コントロールサイトからリモートサイトの設定内容を読み出し（ダウンロード）し、それを修正して登録（アップロード）できます。

```
000 TOP
      モード/カイセンセッテイ   (ジュシンキ/カイセンコウカン)
      .....
      .....
500 ソウシンキガワコントロール/セッテイ
600 メンテナンス
700 リモートセッテイ

      :イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:ショウキョ
```



```
アイテタンマツカラ データヲ テンソウシマスカ?
ハイ イイエ

      :イドウ カクテイ:ジツコウ ECS:ショウキョ
```



```
データヲ テンソウチュウデス
シバラク オマチクダサイ
```



```
700 リモートセッテイ
100 モード (ソウシンキ/カイセンコウカン)
200 チャクシンセッテイ
300 タンシュクデンワチョウ・ハッシン
400 システムセッテイ

      UPDATED ON 99/08/01
      :イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:マエガメン
```

**1** コントロールサイトから変更したいリモートサイトに電話をかけて接続する。通信状態になってから次の操作を行ってください。

注：リモートサイトからコントロールサイトに電話をかけて、コントロールサイトを設定することはできません

**2** カーソルを {700} の項目に移動し、確定キーを押す。リモートサイトの設定値をダウンロードするか確認メッセージが表示されます。

**3** {ハイ}をカーソルキーで選択後、確定キーを押す。

ハイ：リモートサイトの設定値をコントロールサイトにダウンロードします。データ転送中のメッセージが表示されます。ダウンロードが正常に終了すると、{700 リモートセッテイ}が表示されます。

### メモ

- データ転送中、映像/音声/データ通信を行うことはできません。
- データ転送中のメッセージ表示中に、ESCキーを押すと転送が中止するか否か確認のメッセージが表示されます。{ハイ}をカーソルキーで選択後、確定キーを押すと転送を中止できます。
- データ転送中に異常が発生すると転送に失敗したむね、メッセージが表示されます。ESCキーを押すと{000 TOP}に戻ります。再度やり直してください。
- リモートサイトの設定値をダウンロードすると、映像が動かなくなる(静止画になる)ことがあります。この場合は、通信を切ってから操作をやり直してください。

```
700 リモートセッテイ
100 モード (ソウシンキ/カイセンコウカン)
200 チャクシンセッテイ
300 タンシュクデンワチョウ・ハッシン
400 システムセッテイ
```

```
UPDATED ON 99/08/01 :
: イドウ カクテイ:ツギガメン ESC:マエガメン
```



```
アイテタンマツハ データヲ テンソウシマスカ?
ハイ イイエ
```

```
: イドウ カクテイ:ジッコウ ECS:ショウキョ
```

#### メモ

- データ転送中、映像 / 音声 / データ通信を行うことはできません。
- データ転送中のメッセージ表示中に、ESCキーを押すと転送を中止するか否か確認のメッセージが表示されます。{ハイ}をカーソルキーで選択後、確定キーを押すと転送を中止できます。
- データ転送中に異常が発生すると転送に失敗したむねのメッセージが表示されます。ESCキーを押すと{000 TOP}に戻ります。再度やり直してください。
- アラームログ、通信記録はコントロールサイト、リモートサイトともに電源を入れてからの情報を記録し、電源を切ると消去します。したがって、過去の記録（前回、電源を入れてから電源を切るまでの記録）は確認できません。
- リモートサイトの設定をアップロードしたときはダウンロードまたは動作確認を行って、正しく設定されたことを確認してください。
- リモートサイトの設定中に、メニューキーを押すと、設定内容は無効になります。リモートサイトの設定内容を反映したい場合は、手順5～6の操作を必ず行ってください。

## 4 設定項目をカーソルキーで選択後、確定キーを押す。

設定画面が表示されます。

- 100：リモートサイトの動作モードを設定します。設定のしかたは{100 モード/カイセンセッテイ}の説明をお読みください。なお、リモート設定で回線種別、回線速度は設定できません。
- 200：リモートサイトの着信方法を設定します。設定のしかたは{200 チャクシンセッテイ}の説明をお読みください。
- 300：リモートサイトの短縮電話帳を編集します。設定のしかたは{300 タンシュクデンワチョウ・ハッシンセッテイ}の説明をお読みください。
- 400：リモートサイトのシステム動作に関する設定をします。設定のしかたは{400 システムセッテイ}の説明をお読みください。

## 5 設定完了後、{700 リモートセッテイ}に戻りESCキーを押す。

設定値をリモートサイトにアップロードするか確認メッセージが表示されます。

## 6 {ハイ}をカーソルキーで選択後、確定キーを押す。

設定値をリモートサイトにアップロードします。転送中、データ転送中のメッセージが表示されます。

アップロードが正常に終了すると、自動的に回線の切断とリモートサイトの再起動が行われます。

# 工事説明

ここでは、次のシステム構成を元に接続のしかたについて説明します。

- 標準システム構成  
5台までのカメラを使用して監視システムを構築する場合のシステム例です。
- 8台までのカメラを接続した監視システム例  
リモート切替機能のある画面分割ユニットまたはシーケンシャルスイッチャーとの接続のしかたについて説明しています。
- フレームスイッチャー内蔵モニターを使用したシステム例  
リモート切替機能のあるフレームスイッチャー内蔵モニターとの接続のしかたについて説明しています。
- 同軸通信ユニットを使用した監視システム例  
同軸通信ユニットとの接続のしかたについて説明しています。同軸通信ユニットを増設することによって、16台までのカメラを使用することができます（同軸通信ユニットは1地点につき、4台まで設置できます）。
- 128台までのカメラを接続した監視システム例  
マトリクススイッチャーをシステムに接続することにより、最大128台までのカメラを使用した監視システムを構築できます。ここでは、当社マトリクススイッチャーとの接続のしかたについて説明します。

## 工事を行う方へ

ISDNの回線工事を行うためには電話工事担任者資格 デジタル1種または2種の資格が必要です。

工事を始める前に電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続完了後、初めて使用するときは48時間以上通電が必要な旨、お客様へお伝えください。

本機の時計は内蔵の電池でバックアップ動作しています。本機を初めて使用するときは、48時間以上連続通電を行い、バックアップ電池を充電してください。次のような場合、時刻が狂う場合があります。

- 充電不足。
- 長時間、停電した場合。
- 長時間、電源スイッチを「切」にした、または電源プラグをコンセントから抜いた場合。

時刻が狂ったときは時計を再設定してください。

なお、短縮電話帳や各種設定内容は不揮発性の記憶装置に記憶されていますので停電で消えることはありません。

# 工事を行う前に

---

## 電源について

電源コードは必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニット (WU-L61, WU-L62, WU-L67など) を介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置 (電源プラグ) に容易に手が届くこと。
- (3) 接点距離が3.0mm以上有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

## 設置場所について

- 直射日光のあたるところや温風の吹き出し口の近くは避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置しないでください。
- トランス、調光器、映像機器、CRTモニターなどからできるだけ離してください。誘導ノイズを受ける恐れがあります。
- 電波受信機 (ラジオやテレビなど) の近くで使用すると、電波受信機側で雑音や誤動作の原因となることがあります。本機と電波受信機はできるだけ離してご使用ください。

## ラックにマウントするときは

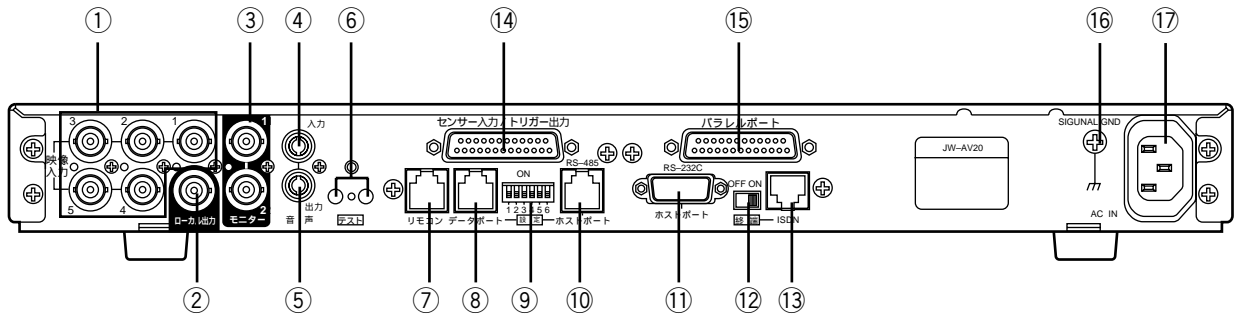
- 本機をラックマウントする場合は、必ずEIA規格相当のラック (奥行き450mm以上) をご使用ください。
- ラック内の温度が45℃以上にならないようにしてください。内部の部品に悪影響を与え、故障の原因となります。
- 本機は、できるだけラック下側にマウントしてください。
- 詳しくは、「設置のしかた」ラックに収納する場合」をお読みください。

## 背面シグナルグランド端子 ( SIGNAL GND ) を接地してご使用ください

- 接地しないと誘導ノイズを受ける恐れがあります。



# 各部の名前と働き(背面)



①映像入力1～5端子 [映像入力1～5] (BNC端子)  
 NTSCの映像入力です。カメラなどを接続します。コントローラから入力の切り替えができます。映像入力1端子に当社コンビネーションカメラを接続している場合、パン/チルト/ズーム/フォーカスの制御やプリセットの切り替えをコントローラ (WV-CU20) から操作できます。なお、コンビネーションカメラは映像入力1端子にだけ接続できます。

②ローカル出力端子 [ローカル出力] (BNC端子)  
 映像入力1～5のうち、選択されている入力の映像が、スルーで出力されます。モニターを接続しておく、スタンバイ中、簡易シーケンシャルスイッチャーとして使用できます。

③モニター1, 2端子 [モニター1, 2] (BNC端子)

- モニター1  
メニュー付き映像信号出力です。
- モニター2  
メニューなし映像信号出力です。

## メモ

- モニター1, 2には画像メモリーに蓄積した映像を読み出した画像が出力されます。このため、スルー出力より解像度やフレーム数が落ちます。
- リモートサイト(送信機)のモニター1, 2端子にモニターを接続すると、動きの遅い映像が表示されます。これは、画像蓄積動作を行っているためであり、故障ではありません。

④音声入力端子 [音声入力] (RCA端子)  
 LINE入力です。マイクアンプなどからの信号を入力します。入力した音声は相手サイトの音声出力端子から出力されます (音声ありの通信の場合)。通信中にコントローラ (WV-CU20) の音声ミュートキーを押すと、音声の送信を一時中断できます。もう一度押すと、再び送信を開始します。

⑤音声出力端子 [音声出力] (RCA端子)  
 LINE出力です。通信中に相手からの音声を出力します。音声のあり、なしは相手側の設定によります。自サイトの音声入力端子に入力した音声を、自サイトの音声出力端子から出力することはできません。

⑥テストスイッチ、テストLED [テスト]  
 メンテナンス (テスト) 用スイッチとLEDです。通常は操作しないでください。

⑦リモコン端子 [リモコン]  
 コントローラ (WV-CU20) 接続端子です。コントローラに付属の6ピン6芯モジュラーケーブルを使って接続してください。

⑧データポート [データポート] (RS-485)  
 RS-485に準拠したデータポートです。当社マトリクススイッチャーやコントローラを接続してシステムを構築するためのポートです。

⑨設定用ディップスイッチ [設定]  
 データポートおよびホストポートのRS-485の終端のON/OFF、ホストポートのRS-232C/RS-485の使いかたの選択、データポートのストレート/クロス配線の切り替えを行います。

⑩RS-485ホストポート [ RS-485 ]

複数のWJ-AV20を1台の制御装置（PCなど）で制御する場合などに使用します。

⑪RS-232Cホストポート [ RS-232C ]

本機をPCなどで制御するときに使用します。  
PCとはクロスケーブルで接続してください。

⑫ISDN終端スイッチ [ 終端 ]

このスイッチをONにすると、内部で100 終端されます。  
ISDNの配線を終端するときにONにします。詳しくは工事担当者（有資格者）にご確認ください。

⑬ISDNジャック [ ISDN ]

ISDN S/Tインターフェースの8ピンモジュラージャックです。付属の8ピンモジュラーケーブルを使用してISDN回線と接続します。

⑭センサー入力/トリガー出力端子

[ センサー入力/トリガー出力 ]

( D-Sub 25ピンコネクター )

送信機（リモートサイト）として使用するときに使います。

外部にセンサーなどを接続して自動発信やカメラの切り替えを行うことができます。

リモート端子を持つスイッチャーとトリガー出力を接続するとスイッチャーのカメラ切り替えを本機から制御することができます。

⑮パラレルポート [ パラレルポート ]

( D-Sub 25ピンコネクター )

入力8bit，出力8bitのデータを相手と送受信することができます（ストローブ出力付き）。

このコネクターには上記の他に次の信号を入力/出力できるピンがあります。

- 強制切断入力
- 時計校正入力
- 通信中出力

⑯GND端子 [ SIGNAL GND ]

大地アースに接続してください。

⑰ACインレット [ AC IN ]

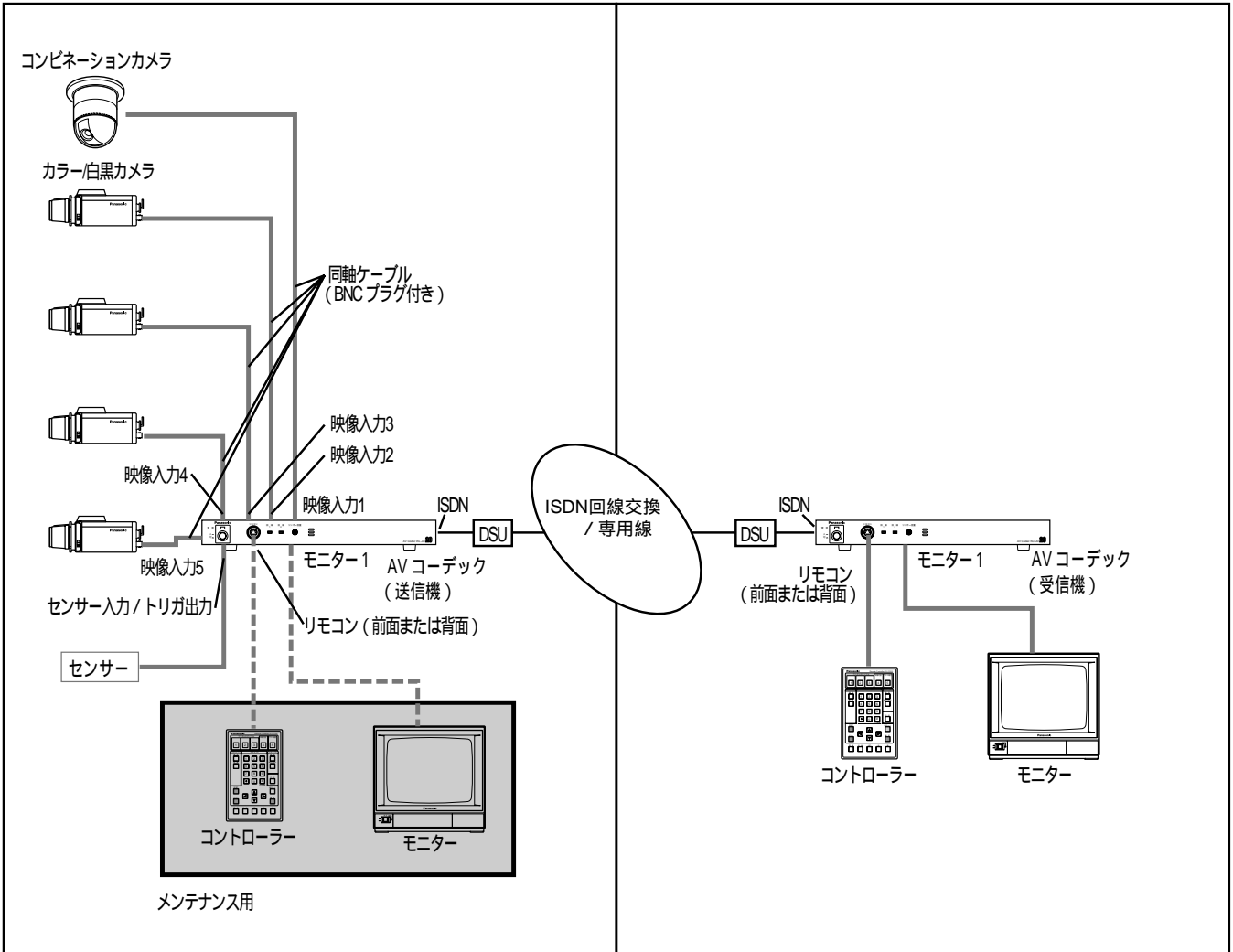
付属の電源コードを使用してAC100Vのコンセントに接続してください。

# 接続例

## 標準システム構成

リモートサイト

コントロールサイト



### コントローラーの接続のしかた

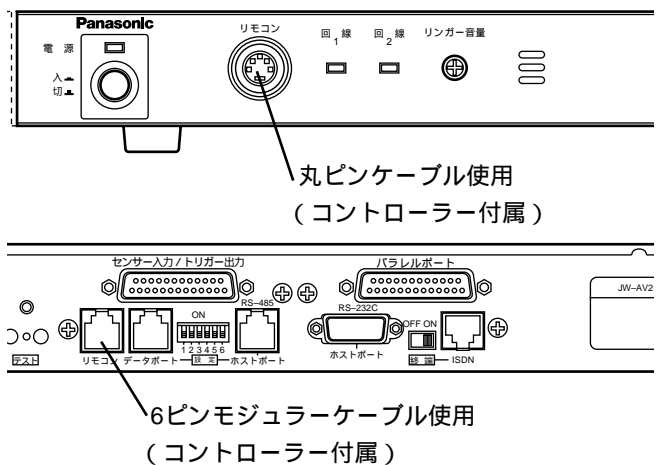
**メモ**

コントローラーはAVコーデックに1台だけ接続してください。2台以上接続すると誤動作の原因となります。

コントローラーは次のケーブルで、前面または背面のリモコン端子に接続します。

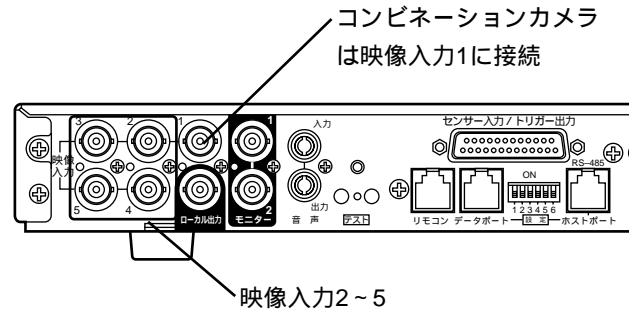
前面に接続する場合：丸ピンケーブル  
(コントローラーに付属)

背面に接続する場合：6ピンモジュラーケーブル  
(コントローラーに付属)



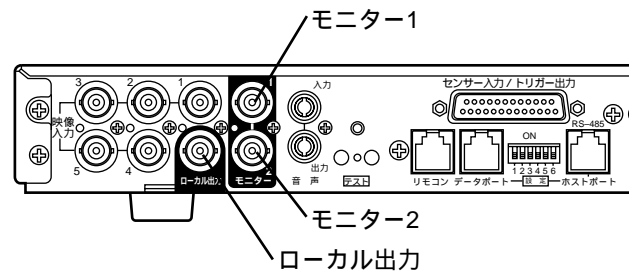
## カメラの接続のしかた

カメラは同軸ケーブル（BNCプラグ付き、現地調達）で送信機側の映像入力1～5端子に接続します。当社コンビネーションカメラを使用する場合、必ず映像入力1端子に接続してください。



## モニターへの接続

モニターは同軸ケーブル（BNCプラグ付き、現地調達）でモニター1, 2端子またはローカル出力端子に接続します。使用する端子によって表示できる画像は異なります（下表参照）。

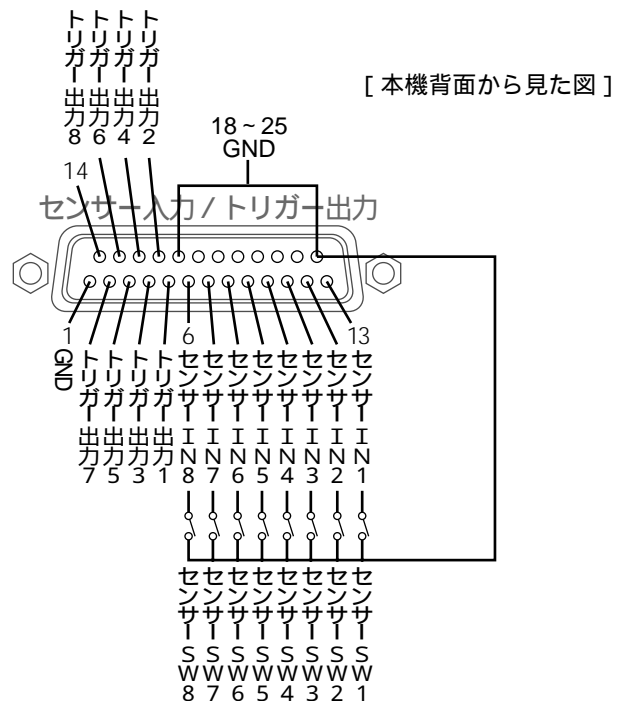


端子名	メニュー表示	表示画像	
		スタンバイ中	通信中
モニター1	可能	自局のカメラ映像（画像メモリーに取り込んだ映像）	受信映像を表示
モニター2	不可能	常に選択されている自局のカメラ映像を表示	
ローカル出力	不可能		

## センサーへの接続

センサーはD-Sub25ピンコネクタ（オス）で送信機側のセンサー入力/トリガー出力端子（6～25番ピン）に接続します（右図参照）。8個のセンサーを接続できます。センサーおよびD-Sub25ピンコネクタケーブルは別途ご用意願います。

なお、右図は本機背面端子の図です。ケーブル側コネクタの図ではありません。



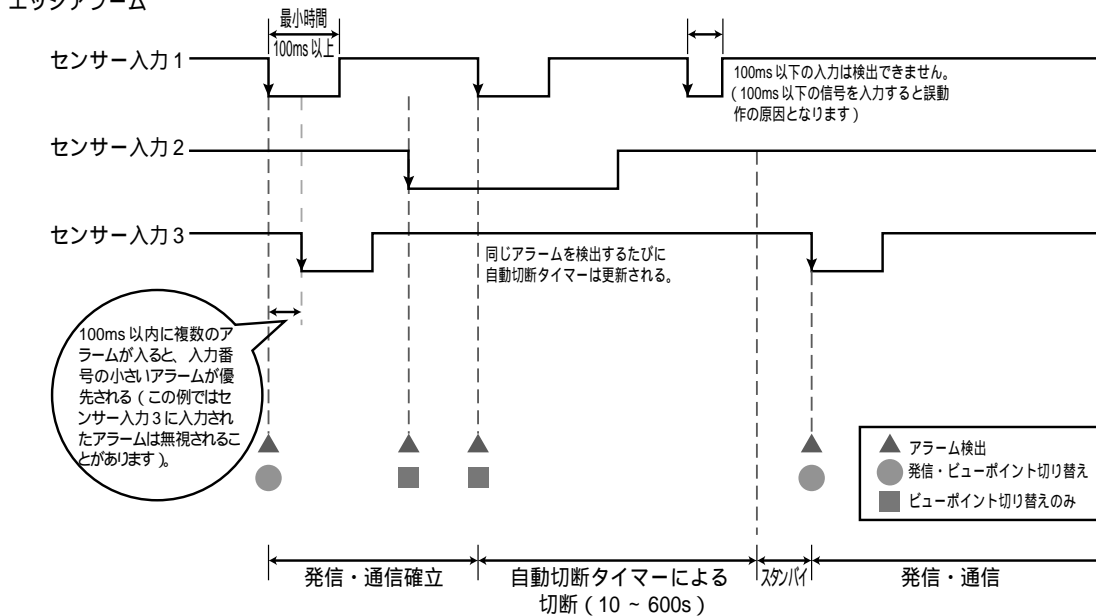
センサー動作について

- リモートサイト(送信機)にセンサー入力があれば、あらかじめ設定した相手に自動発信します。発信先は3つの時間帯テーブルの設定により曜日および時間帯で変える事ができます。
- 画像蓄積機能の設定により、画像蓄積が終了するまで発信を開始しないこともあります。
- 自動発信後、設定した時間が経過すると、自動的に回線を切断する機能があります。  
ただし、着信側でアラーム確認ボタンまたは#キーが押されると、切断せずに通信を継続します。
- センサー入力は8系統あり、それぞれに自動発信先を設定できます。センサーによる自動発信の発信先は先に入ったセンサー入力に対応した発信先へ自動発信します。あとから入ったアラームは、先の通信が終了するまで受け付けられません。

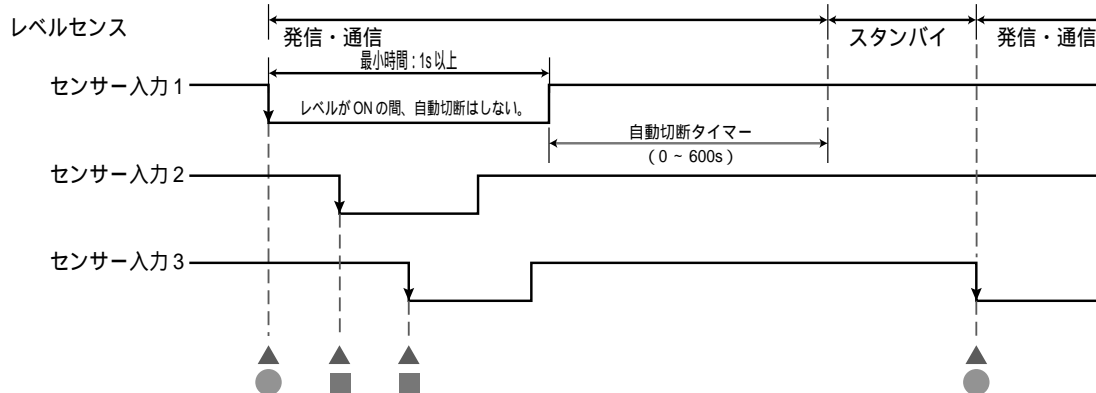
ただし、ビューポイント連動機能については、随時動作します。

- アラームによる自動発信時、発信先が話し中などの原因で接続できなかった場合、第2候補 第3候補の順番で発信します。
- 第3候補に発信して接続できなかった場合、約1分後に再度第1候補 第2候補 第3候補の順に発信を繰り返します(繰り返しは2回までです)。それでも接続できなかった場合、アラーム発信を解除します。ただし、その時点で、レベルタイプセンサーがONの場合は発信を繰り返します。
- 通信終了後スタンバイ状態になるまでの間、アラーム発信は行われません。ただし、アラーム発生記録はアラームログに記録されます。

エッジアラーム



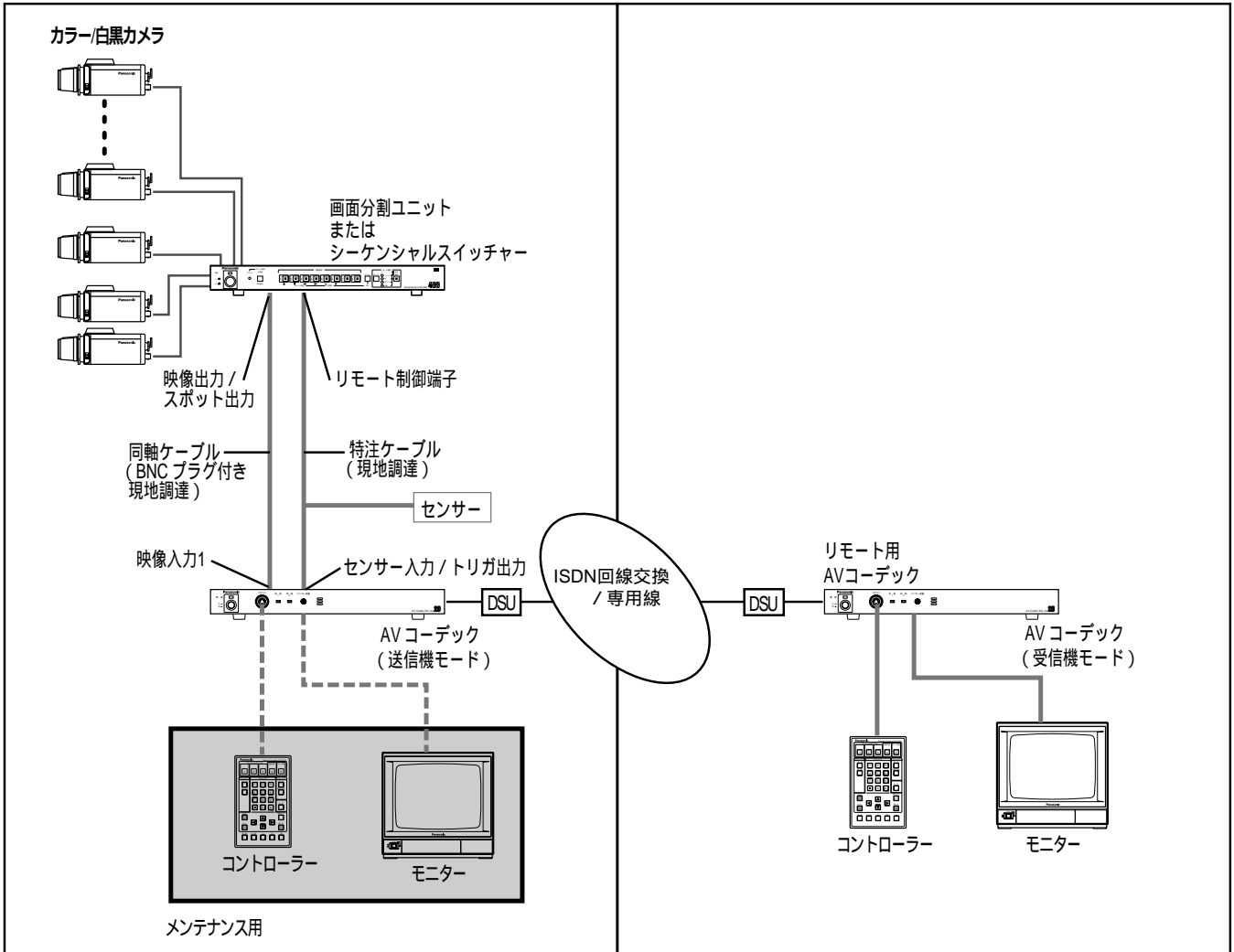
レベルセンス



## 画面分割ユニットまたはシーケンシャルスイッチャーとの接続例

リモートサイト

コントロールサイト

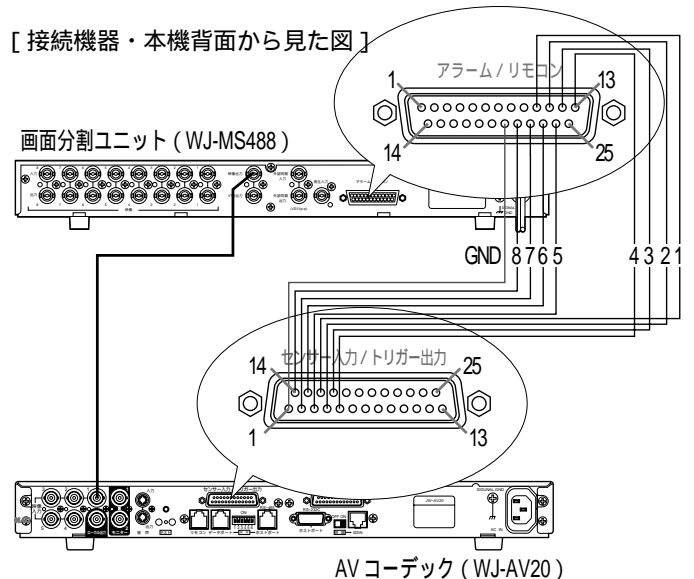


### 接続のしかた

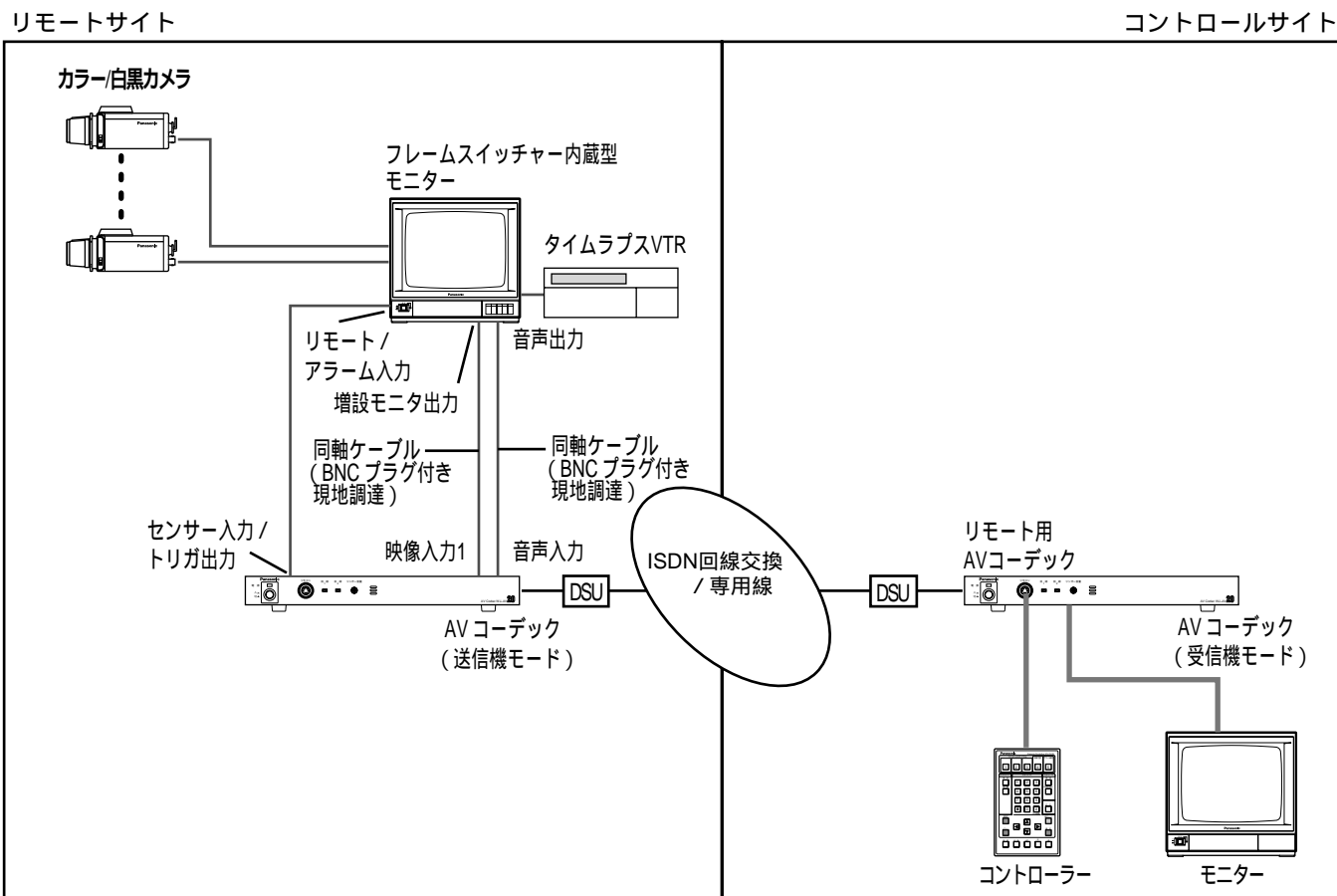
画面分割ユニットやシーケンシャルスイッチャーなどを接続すれば、8台までのカメラを切り替えて監視するシステムを構築できます。

画面分割ユニットやシーケンシャルスイッチャーはセンサー入力/トリガ出力端子を使って接続します。D-Sub25ピンコネクター付きケーブルを別途ご用意願います。

なお、右図は画面分割ユニット (WJ-MS488) との接続例です。また、右図は接続機器と本機背面端子の図であり、ケーブル側コネクターの図ではありません。詳しくは接続する機器の取扱説明書をお読みください。



## フレームスイッチャー内蔵モニターとの接続例



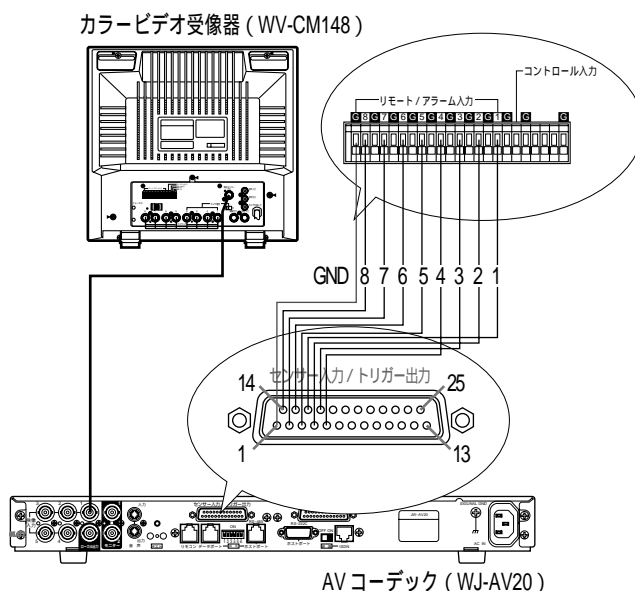
### 接続のしかた

フレームスイッチャー内蔵モニターはセンサー入力/トリガ出力端子を使って接続します。  
D-Sub25ピンコネクター付きケーブルを別途ご用意願います。

なお、右図はカラービデオ受像器 (WV-CM148) との接続例です。また、右図は接続機器と本機背面端子の図であり、ケーブル側コネクターの図ではありません。詳しくは接続する機器の取扱説明書をお読みください。

### 本機の設定 (送信機)

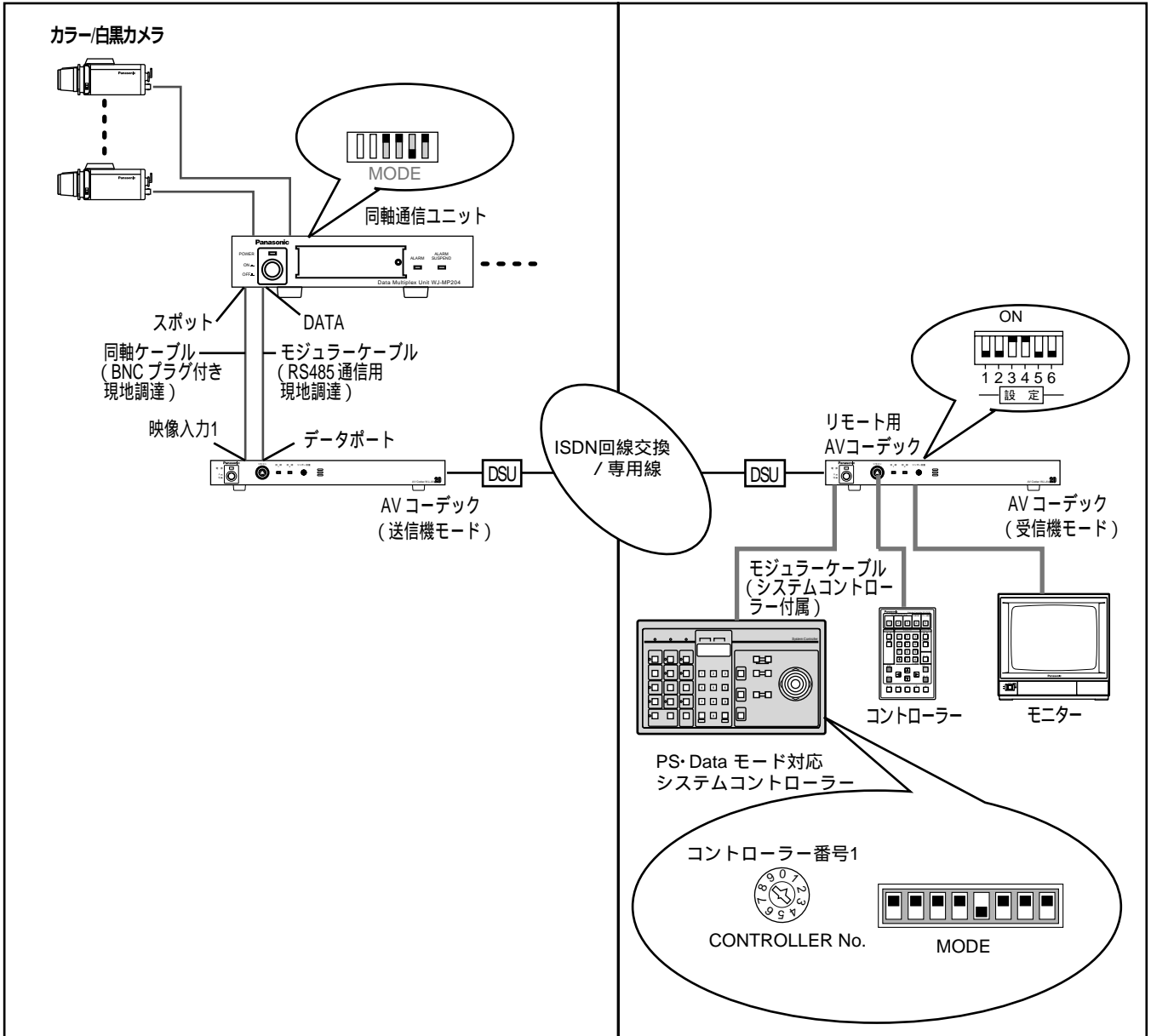
フレームスイッチャーを内蔵しているモニターを使用する場合、{ 430 ビューポイントセッテイ } でビューポイントをセッテイしてください。



## 同軸通信ユニットとの接続例

リモートサイト

コントロールサイト



### 当社同軸通信ユニットを接続してご使用になる場合

当社同軸通信ユニットをリモートサイトに接続して使用する場合、次のことに注意してください。

- リモートサイトに、システムコントローラー (PS・Dataモード対応) は接続しないでください (コントロールサイトから操作できなくなります)。
- 同軸通信ユニット、システムコントローラー、AVコーデック (送信機、受信機) の通信に関する設定は、次のように設定してください。本機の場合、{ 421 シリアルデータポート } で設定します。

通信速度 (レート) : 9600

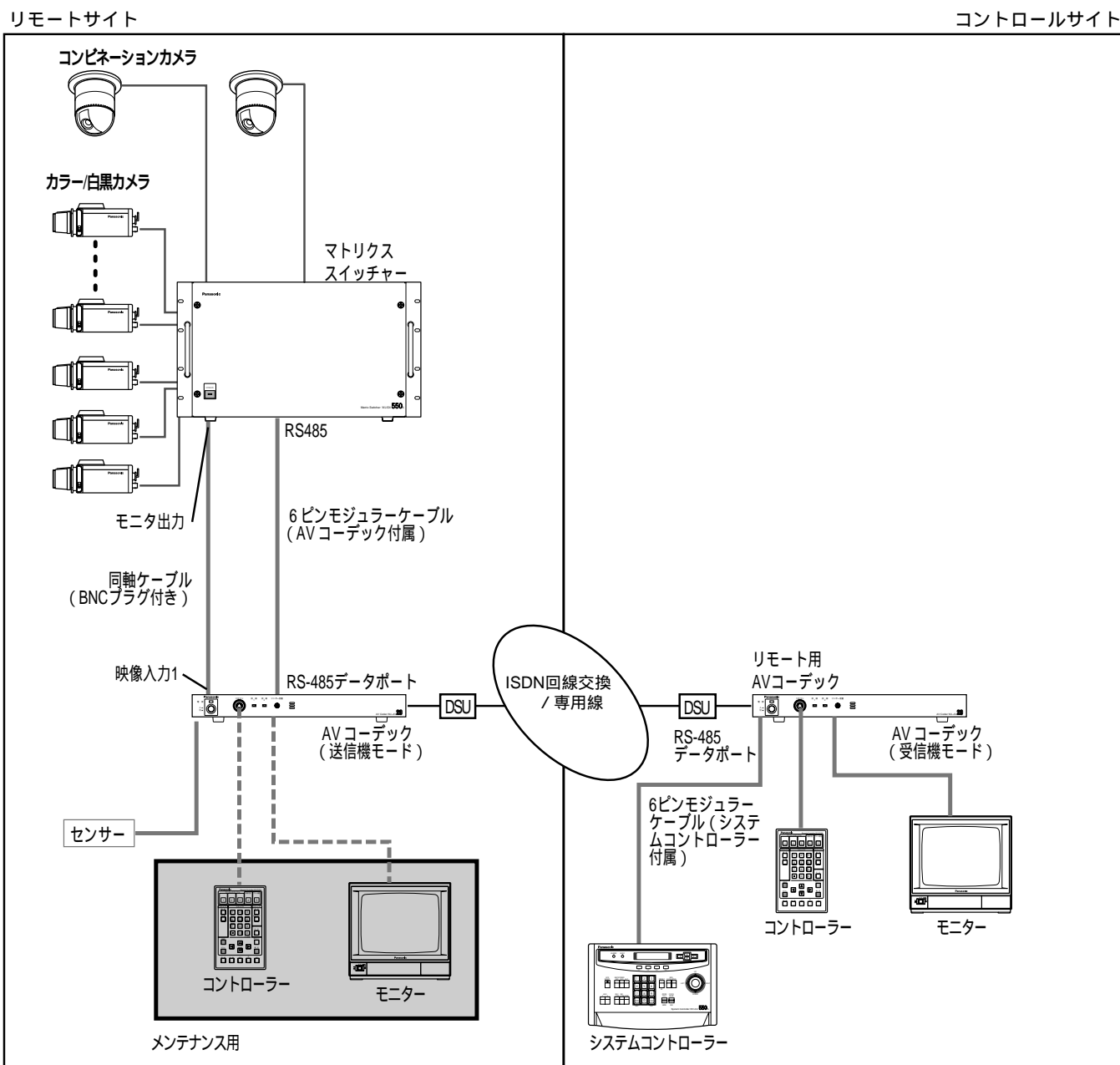
データ長 : 8bit

ストップビット : 1bit

パリティ : None



## マトリクススイッチャーとの接続例



### 当社マトリクススイッチャーを接続してご使用になる場合

当社マトリクススイッチャーをリモートサイトに接続して使用する場合、次のことに注意してください。

- マトリクススイッチャーとマトリクススイッチャーに接続されている機器は、マトリクススイッチャー専用のシステムコントローラー (WV-CU550シリーズ) で操作してください。
- 通信開始後、マトリクススイッチャー専用のシステムコントローラーで、「LOG ON」操作を必ず行ってください。
- 通信を終了する前に、マトリクススイッチャー専用のシステムコントローラーで「LOG OFF」操作を必ず行ってください。
- 通信終了後にマトリクススイッチャーの電源を入れ直すと、次回から通信中に操作できなくなります。操作できなくなったときはシステムコントローラーの電源を入れ直してください。

マトリクススイッチャーやシステムコントローラーの操作のしかたについては、各機器の取扱説明書をお読みください。

## システムコントローラー（マトリクススイッチャーシステム専用）の接続のしかた

システムコントローラーは受信機側のデータポートにモジュラーケーブル（システムコントローラー付属）で接続します。

### ●AVコーデック（受信機側）の設定

受信機側の設定用ディップスイッチ3番をOFF（ストレート）にします。また、{ 421 シリアルデータポート } を次のように設定します。

レート：9600または4800

データ：8

ストップビット：1

パリティ：NON

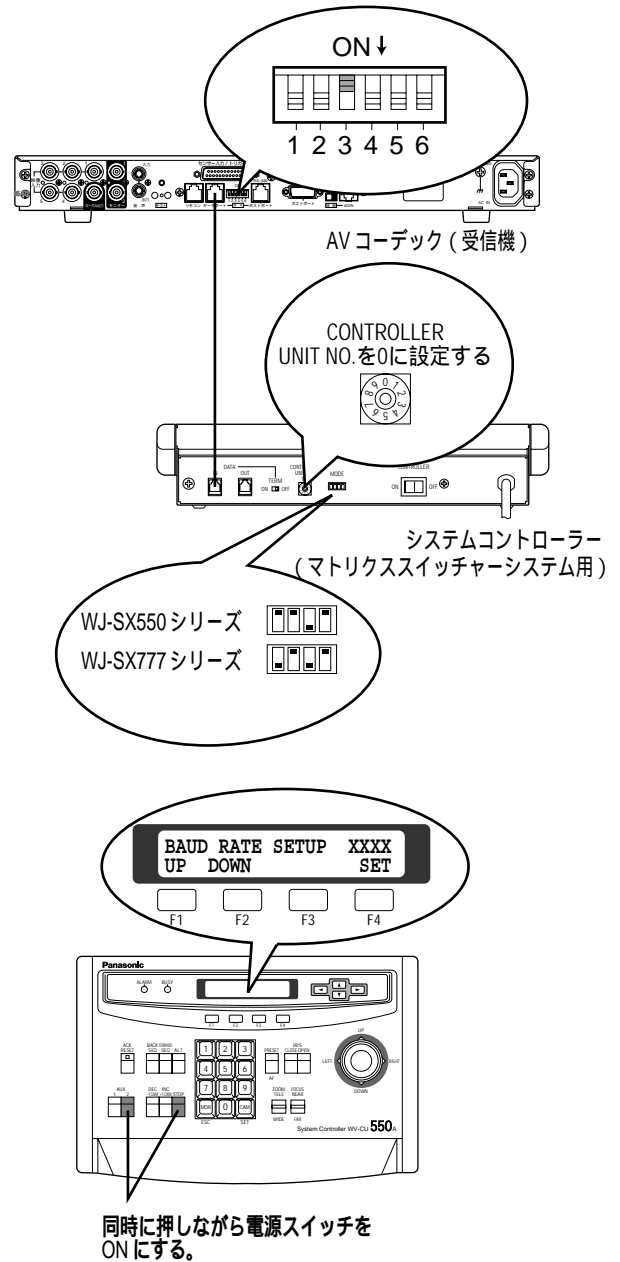
シリアルデータポートの設定内容は送受信機間で必ず合わせてください。

### ●システムコントローラーの設定

次の手順で設定してください。

- ①システムコントローラー背面にあるロータリースイッチを [0] に設定する。
- ②システムコントローラー背面にあるMODEディップスイッチを右図のように設定します。
- ③システムコントローラーのAUX2スイッチとSTOPスイッチを同時に押しながら電源スイッチをONにする。  
システムコントローラー液晶部にボーレート設定メニューが表示されます。
- ④システムコントローラーのF1 (UP) またはF2 (DOWN) キーでAVコーデックの { 421 シリアルデータポート } に設定した通信速度（レート）と同じ速度を選択する。
- ⑤システムコントローラーのF4 (SET) キーを押す。  
設定内容がシステムコントローラーに記憶されます。

これでシステムコントローラーの設定は完了です。次回より電源スイッチを切っても設定した通信速度に固定されます（システムコントローラーの自動ボーレート動作は実行されません）。



## マトリクススイッチャーの接続のしかた

マトリクススイッチャーはデータポートにモジュラーケーブル（システムコントローラー付属）で接続します。

### ●AVコーデック（送信機側）の設定

送信機側の設定用ディップスイッチ3番をON（クロス）にします。また、{ 421 シリアルデータポート }を次のように設定します。

レート：9600または4800

データ：8

ストップビット：1

パリティ：NON

シリアルデータポートの設定内容は送受信機間で必ず合わせてください。

### ●マトリクススイッチャーの設定

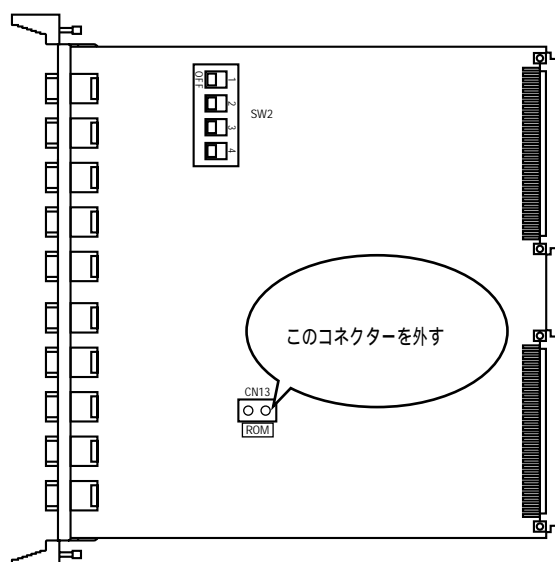
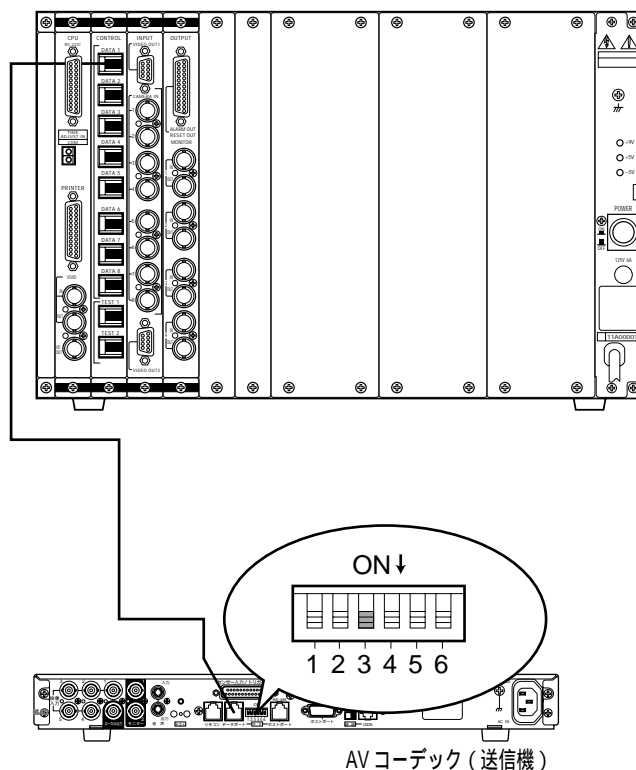
WJ-SX550またはWJ-SX550Aを使用している場合、Communication Speedメニューの設定内容をAVコーデック（送信機）の{ 421 シリアルデータポート }の設定内容に合わせてください。また、コントロールボードのCN13コネクタを外してください（ENQなしモードにすること）。

WJ-SX777シリーズ、またはWJ-SX550Bを使用している場合、この設定は不要です。

#### メモ

システムコントローラーをディジーチェーンで複数台接続することはできません。マトリクススイッチャー本体のポートを使用してください。

マトリクススイッチャー（WJ-SX550A）

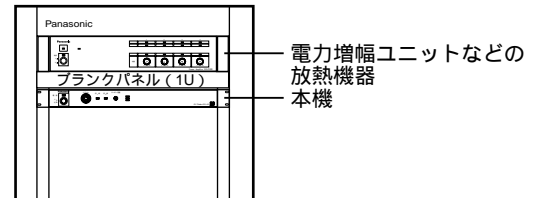


WJ-SX550またはWJ-SX550Bを使用する場合

# ラックマウントのしかた

## ラックについて

- 本機を取り付けるラックは次のいずれかをご使用ください。
  - スタンダードラック : WU-RS71 (収納ユニット数 29U)
  - ロングラック : WU-RL76 (収納ユニット数 41U)
  - EIA規格相当品 : EIA19型 奥行450 mm以上



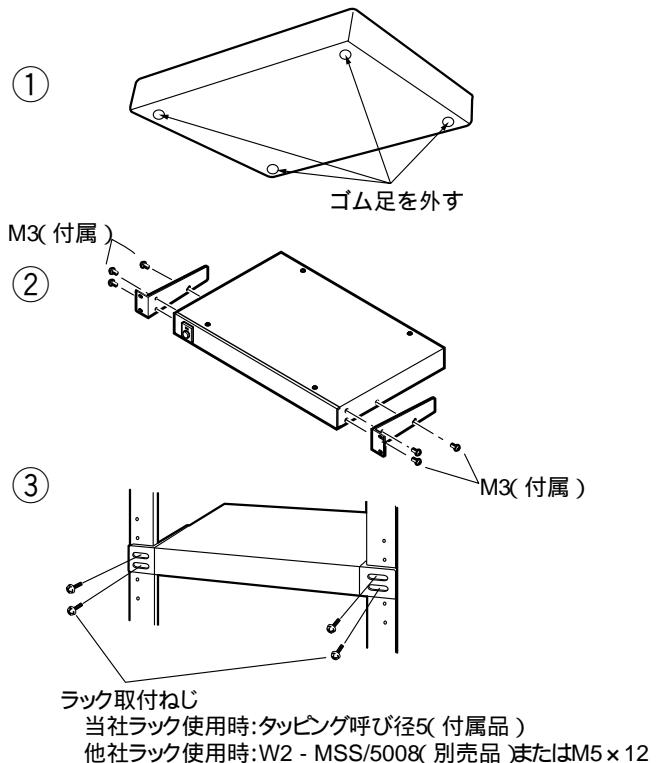
### お願い

- 本機はできるだけ電力増幅ユニットなど発熱する機器の下に設置し、本機1台分以上の間隔を開けてください。
- ラック内の温度は45℃以上にならないようにしてください。
- 振動の多い場所に設置するときは本機の後部を補強アングル(現地制作)などでラックに固定してください。
- 付属のタッピングねじ(呼び径5×12)は、ラックの取付部にねじが切れていない場合に使用してください。ねじが切れているところに使用すると、ねじ山が壊れることがあります。

## 取り付けかた

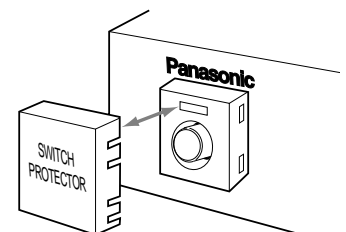
- 当社製品のラックをご使用になるときは本機付属のタッピング取付ねじを使います。
- 他社製品のラックをご使用の際は別売のラック取付ねじ(W2 - MSS/5008またはM5×12)4本が別途必要です。

- ①本機底面のゴム足4個を外す。  
ゴム足はマイナスドライバーで固定しているねじをゆるめると外れます。
- ②本機にラックマウント金具(付属)をラックアングル取付ねじ(M3: 付属)で取り付ける。
- ③ラック取付ねじ(呼び径5タッピング: 付属)でラックに取り付ける。



### 付属のスイッチプロテクターについて

スイッチプロテクターを使えば誤って本機の電源スイッチを押して「切」の状態になることを防止できます。  
ラックに組み込んで、電源を一括で入/切して使用する場合は、必ず本機の電源スイッチを「入」の状態にして、付属のスイッチプロテクターを取り付けてください。  
お願い: 本機の電源スイッチの入/切で他の機器の電源入/切を連動させる場合、スイッチプロテクターは取り付けないでください。緊急対応時などに電源スイッチをすぐに操作できなくなります。  
電源スイッチが「切」の状態でスイッチプロテクターを取り付けると電源の入/切ができなくなります。



# こんなときには

現象	原因と思われる項目	処置
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていない。 電源プラグがACコンセントに接続されていない。	AC電源プラグを正しくコンセントに差し込んでください。
自局カメラ映像が自局モニターに表示できない。	選択した映像入力端子にカメラが接続されていない。	映像切換メニューで、カメラを接続している映像入力を選択してください。
受信映像を自局モニターに表示できない。	モニターがローカル映像出力に接続されている。	モニターをモニター出力1または2に接続してください。
	相手の音声エンコード設定がG722で、1Bもしくは64Kで接続されている。	2Bもしくは128Kで接続するか、相手の音声エンコードをG.728もしくは音声なしに設定してから接続してください。
ハウリングが発生する。	エコーキャンセラ（AEC）選択が「OFF」になっている。	音声設定メニューのAECを「ON」にしてください。
	相手側のスピーカーとマイクの距離が近すぎる。	相手側のスピーカーとマイクを離すか、スピーカー拡声音量を調節してください。
音がでない。	音声出力とモニターの音声入力が接続されていない。	音声出力とモニターの音声入力を正しく接続してください。
	相手の音声設定が「音声なし」になっている。	相手の音声設定メニューで送信機の場合「G722またはG728」に、受信機の場合「音声あり」に設定してください。
	相手が送信音声をミュートしている。	相手のミュートを解除してください。
音が小さい。	音声入力に直接マイクを接続している。 音声出力に直接スピーカーを接続している。	本機の音声入出力はLINEレベル（-10dBV）です。マイクアンプとスピーカーアンプが必要です。
音がゆれる	エコーキャンセラー（AEC）がONの状態 で、同時に話している。	相手と交互に話してください。または、AECをOFFにしてください。
通信中に映像が動かなくなる（静止画になる）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 回線に一時的な障害が発生している。</li> <li>● 回線工事に誤りがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一時的な障害の場合は自動的に復帰しますが、障害の状態によっては通信が切れる場合があります。通信が切れたら、しばらく時間をおいてから再度、接続し直してください。</li> <li>● 現象が頻繁に発生する場合は81ページの内容を参考に回線工事を見直してください。</li> </ul>
通信中に音が途切れる。	同上	同上
通信が切れる。	同上	同上

現 象	原因と思われる項目	処 置
相手側に接続できない。	回線接続用8ピンモジュラーケーブルが正しく接続されていない。	AVコーデック後面のISDN回線端子とモジュラージャックとを回線接続用8ピンモジュラーケーブルで接続してください(“カチッ”と音がするまで差し込んでください)。
	回線工事の問題 ● 回線ローゼットの配線に誤りがある。 ● 100 終端が行われていない。	付録のISDN回線の工事 / 設定について読んで確認してください。 相手側の回線の工事 / 設定についても確認してください。
	相手の端末の電源が入っていない。	相手に電源が入っているか確認し、再度接続してください。
	回線交換 / 専用線の選択が、接続回線と一致していない。	接続する回線の契約に従い正しく回線交換 / 専用線の選択をしてください。接続する端末は同一種類の回線でなくてはなりません。
	着信側端末の着番チェックが{あり}で、ダイヤル番号と、着信側のアドレス設定が合っていない。(回線交換時)	着信側の着番チェックを{しない}にして、再度接続し直してください。それで接続できる場合には、着信側のアドレス設定を正しく登録しなおした後に再び着番チェックを{する}にしてから接続し直してください。
	着信側端末の発信チェックが{あり}で、着信側の電話帳に発信側の番号が登録されていない。(回線交換時)	着信側の発信チェックを{しない}にして、再度接続し直してください。それで接続できる場合には、着信側の電話帳に発信側の番号を正しく登録した後に再び発信チェックを{する}にしてから接続し直してください。 着信側に発信側の電話番号が正しく通知されているかは障害診断の着信発信番号をみてください。この番号を見て電話帳に登録してください。
	着信側に回線から発信番号通知されていない。発信者側の回線契約で、発信者番号通知サービスが「呼毎通知許可」になっていない。または相手が「184」+「電話番号」で発信している。	回線の契約、PBXの設定によっては発信番号通知されませんので確認のうえ通知されるようにするか、着信側の発信チェックを{なし}に設定してください。着信直後の障害診断の着信発信番号が空欄の場合には、通知されていないこととなります。
	64K専用線を使用しているのに、回線速度設定が128Kになっている。	回線速度設定を接続する両端末ともに64Kに設定してください。
	専用線を使用しているとき、相手端末の電源が入っていない。またはスタンバイ状態になっている。	相手端末の電源が入っているか確認してください。また、「セツゾクチュウ」画面が表示されていることを確認し、再度接続してください。
	その他	両端末ともに一端電源を落とし、再び接続し直してください。

現 象	原因と思われる項目	処 置
センサー発呼接続できない。	センサーが正しく接続されていない。	センサーを正しく接続し直してください。 センサーの種類とエッジ/レベルを正しく設定してください。
	センサー入力設定が正しく登録されていない。	センサー入力設定メニューの発信先設定画面で、電話帳登録されている短縮番号を登録してください。
	センサー信号が入力される時間が短い。	レベル設定の場合、発呼開始から切断するまでの間、センサー信号をアクティブ(ON)にするようにしてください。 エッジ設定の場合、100ms以上の期間センサー入力をメイクしてください。また、チャタリングのないようにしてください。
	発信先の電話番号が電話帳に登録されていない。	電話帳に正しく登録してください。
	回線交換の回線で専用線設定になっている。	回線交換に設定を変更してください。
ビューポイントが動作しない。 センサーに連動してビューポイントを切り換えることができない。	ビューポイント設定がされてない。 センサー入力設定が正しくされていない。 モード設定が受信機になっている。	正しくビューポイント設定してください。 正しくセンサー入力端子にセンサーを接続してください。 ビューポイント設定画面で、センサーに連動して切り替えるビューポイント番号(No.)に対するアラームの項目をONにしてください。
カメラをコントロールできない。	映像入力1にコンビネーションカメラが接続されていない。	映像入力1端子にコンビネーションカメラを接続してください。
	コンビネーションカメラのプリセット登録がされていない。	{ 5 1 0 カメラ・プリセット/トリガキリカエ } のカメラメニューで、コンビネーションカメラメニューを表示して登録してください。コンビネーションカメラのプリセット1~8を登録してください。プリセットの登録のしかたについてはコンビネーションカメラの取扱説明書をお読みください。
	映像入力1が選択されていない。	映像切換メニューでカメラ1に切り換えてください。

現象	原因と思われる項目	処置
パラレルデータ通信ができない。	配線と信号インターフェースに誤りがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>●接続を確認してください。</li> <li>●メイク入力、オープンコレクタ出力です。</li> </ul>
	端末間でのネゴシエーションが失敗した。	再度、接続し直してください。
シリアルデータ通信ができない。(マトリクススイッチャーなどを操作できない)	シリアルポート設定が接続する両端末で合っていない。	両コーデックと周辺機器のシリアルポート設定を両端末で正しく設定してください。シリアル設定が合っているか{650}設定メニューで確認してください。
	端末間でのネゴシエーションが失敗した。	再度、接続し直してください。
相手制御ができない。 「アイテタンマツノ コントロールガデキマセン」が表示される。	両端末の設定が受信機になっている。	受信機同士の接続はできません。設定を変更してください。
	端末間でのネゴシエーションが失敗した。	再度、接続し直してください。
アラームログ、通信記録が残っていない。	{690 ショキカ}でシステムを初期化した。	
データ転送後に映像が動かなくなる(静止画になる)	端末間でのネゴシエーションが失敗した。	再度、接続し直してください。
ループバックや画像蓄積データ転送/中断、リモートデータダウンロードを実行後、通信モードが転送前と異なるモードになる。	同上	同上
WG-AV40との通信で、コンビネーションカメラ制御や映像入力の切替ができない。	WG-AV40の設定に相手制御モードの設定に誤りがある。 WG-AV40の音声設定が不適切である。	相手制御モードメニューで通信開始時に「相手制御しない」にチェックしてください。シリアルデータポートの設定が9600bpsの場合は音声設定をG.728に設定してください。
WG-AV40との接続時にノイズが発生する。	WG-AV40の設定が不適切である。	同上



# 別売品について

品名	品番	数量 <sup>1</sup>	備考
コントローラー	WV-CU20	1	
監視用カメラ	販売店または当社サービスマンにご確認ください。	最大5台	コンビネーションカメラは [ カメラ入力1端子 ] に1台だけ接続可能。
監視用モニター	販売店または当社サービスマンにご確認ください。	システム構成による	4画面分割装置やフレームスイッチャーなどと併用可能。
4画面分割装置	販売店または当社サービスマンにご確認ください。	システム構成による	4画面合成した映像を送信したいときに必要。
タイムラプスVTR	販売店または当社サービスマンにご確認ください。	システム構成による	通信中の映像を録画するとき必要。
同軸ケーブル (BNC端子付き)	現地調達	システム構成による	カメラなどの機器を接続するために必要。 ケーブルの太さや長さなどについてはお使いになるカメラの取扱説明書にしたがってください。
ピンプラグケーブル	現地調達	システム構成による	オーディオ機器やモニターなどRCA端子付きの機器と接続するとき必要。
アラーム/トリガ ケーブル	販売店または当社サービスマンにご確認ください。	1	センサー接続するときやリモート端子付きスイッチャーを接続するとき必要。 ケーブルの長さ、配線、通信端末側のコネクタの形状は、システムの構成によって異なります。

1：AVコーデック1台に直接接続して使用する場合の数量です。

注：INSネット64又は各種デジタル専用線サービスに加入していない場合は、別途加入手続きが必要となります。また、本機はDSU(Digital Service Unit：回線接続装置)を含んでいません。別途DSUをご用意願います。DSUは電気通信端末機器認定品(日本電信電話株式会社など第1種事業者提供品)をお使いください。

## DSU内蔵型TA(ターミナルアダプター)をご使用になる場合の注意

DSU内蔵型TAを使用する場合、TAのISDN S/Tポートに本機を接続します。

DSU内蔵型TAの中には、ISDN S/TポートよりもDETポートを優先的に割り当てるものがあります。このため、着信時に、本機が応答する以前にDTEポートが着信するため、正常に通信できないことがあります。このような場合は、次のいずれかの設定を行ってください。

- TAのDTEポートを使用しない場合

お使いになるTAの取扱説明書を参照し、DTEポートを着信拒否の設定にしてください。

- TAのDTEポートを使用する場合

パーソナルコンピューターなどでDTEポートを使用する場合は、{ 220 ジキョクバンゴウ } メニューを開き、サブアドレスを設定してください(サブアドレスはISDN機器ごとに設定してください)。

当社が確認済みの機種は次のとおりです。

・ Panasonic 社製 TO-TAB128DSU

・ NTT ME社製 MN128mini

# 付 録

## 「INSネット64」契約時の注意事項

様式□ [基本機能版] 「INSネット64」お申込票 (NTT控え)

契約者 ( ) 利用  事務用  工事 平成 年 月 日 申込書メインサブ番号 ( )  
 種別  住宅用 予定日  午前  午後 ページ番号/総枚数 /

(太枠の中をご記入願います。また、各欄の該当する箇所の□内を塗りつぶしてください)

①お申込年月日 平成 年 月 日	必お記入者 様 ( )	毎月の請求書 (基本料・通信料) の送付先	<input type="checkbox"/> 〆と同じ <input type="checkbox"/> 〆と同じ <input type="checkbox"/> その他 (送付先を下記へご記入ください)
必ご利用開始希望日 平成 年 月 日	<input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後	必お申込回線数 回線	
必お申込者 (フリガナ)	様	契約料 敷設費負担金のお支払い方法	<input type="checkbox"/> 〆とあわせて送付希望 (他のサービスを解約して利用する場合。契約料のみ対象) (定期) <input type="checkbox"/> 窓口納付 <input type="checkbox"/> 請求書送付希望 (送付先を下記へご記入ください) (随時)
必ご住所 (住居専用以上の住所)	様	①工事料金のお支払い方法	<input type="checkbox"/> 〆とあわせて送付希望 (定期) <input type="checkbox"/> 〆とは別に送付希望 (送付先を下記へご記入ください) (随時)
〆INSネットをご利用になる場所 (複数明記をご記入下さい)	様	必通機器代金のお支払い方法 (コネクタ代金を含む)	<input type="checkbox"/> 〆とあわせて送付希望 (定期) <input type="checkbox"/> ①とあわせて送付希望 <input type="checkbox"/> 窓口納付 <input type="checkbox"/> 〆とは別に送付希望 (送付先を下記へご記入ください) (随時)
必お客さまのご連絡先	事務担当者 様 技術担当者 様 工事立会者 様		

接続する通信機器	通信機器の名称	メーカー名	数量	機器工事	保守区分	認定番号	NTT商品要部門
	DSU (お客さま工事の場合 DSU呼び出し機能 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)			<input type="checkbox"/> NTT <input type="checkbox"/> お客さま <input type="checkbox"/> 実費 <input type="checkbox"/> 定額			

配線工事等	屋内配線	接続機器設置	機器配線	コネクタ	コネクタ
	保安器 (MDF/ADP) <input type="checkbox"/> NTT工事 (レンタル) <input type="checkbox"/> NTT工事 (お買上げ) <input type="checkbox"/> NTT工事 (お買上げ) <input type="checkbox"/> お客さま工事	回線接続装置 D S U <input type="checkbox"/> NTT工事 (レンタル) <input type="checkbox"/> NTT工事 (お買上げ) <input type="checkbox"/> お客さま工事	コネクタ (12コネクタ) <input type="checkbox"/> コネクタ (6コネクタ) <input type="checkbox"/> コネクタ (不要)	通信機器	通信機器

付加機能欄	INSネット回線のみで代表を組む場合	代表選択方式	<input type="checkbox"/> 順次サーチ方式 <input type="checkbox"/> ラウンドロビン方式
	INSネット回線と電話回線の両方で代表を組む場合	INSネット内の代表選択方式	<input type="checkbox"/> 順次サーチ方式 <input type="checkbox"/> ラウンドロビン方式
	ダイヤルインサービス	INSネット通話モードの着信を受け取る際の代表選択方式	<input type="checkbox"/> 電話回線とINSネット回線の両方に着信 <input type="checkbox"/> INSネット回線のみに着信

記事	フレックスホン (通信中着信通知サービス) (契約の有無を確認)	4つの機能をすべて利用する <input type="checkbox"/> コールウェイトン機能 <input type="checkbox"/> 通信中転送機能
----	----------------------------------	--

必須項目 ***	*** 付加機能等項目 ***
毎月の使用料 (無料)	毎月の使用料 (無料)
・インタフェース形態及びレイヤ1起動種別 <input type="checkbox"/> P-MP呼毎 <input checked="" type="checkbox"/> P-MP常時 <input type="checkbox"/> P-P ・発信者番号通知サービス <input checked="" type="checkbox"/> 呼毎通知許可 <input type="checkbox"/> 呼毎通知拒否 <input type="checkbox"/> 常時通知拒否 ・ユーザ開情報通知サービス <input type="checkbox"/> 着信許可 <input type="checkbox"/> 着信拒否	代表取扱サービス (親) (〆) の解約もご確認ください。 <input type="checkbox"/> 代表取扱サービス (子) (〆) <input type="checkbox"/> 通信中機器移動通知サービス (P-MP) <input checked="" type="checkbox"/> 通信中着信通知サービス <input type="checkbox"/> 同番移行 <input type="checkbox"/> 掲載省略案内サービス <input type="checkbox"/> ( ) (〆)印のサービスをご利用になる場合 <input type="checkbox"/> 加入電話 <input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> サービス または 復活される <input type="checkbox"/> 利 INSネット <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 休止中INSネ

※ 必須項目は、必ずお客さまに説明してください。

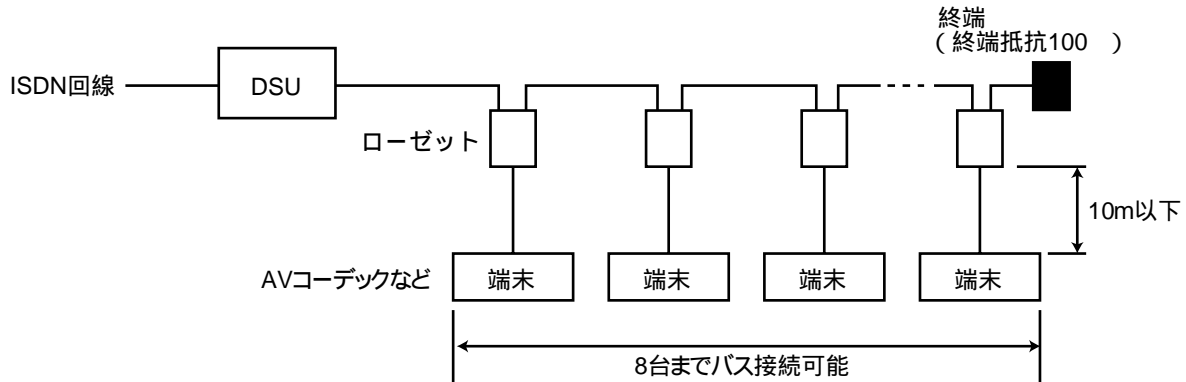
コントロールサイトは必須。  
 コントロールサイト、リモートサイト共に必須。  
 発信番号チェック機能を使用するシステムの場合、必須。

### メモ

- 通信中着信通知サービスを申し込まないと、通信中着信表示機能はご使用になれません。
- 1つのISDN回線に複数の機器を接続する場合、ダイヤルイン番号を追加することによって着信時になりわけすることができます。

## ISDN回線工事を行うかたへ

ローゼットと本機間との配線工事は電話工事担任者資格 デジタル1種または2種の資格が必要です。配線工事はNTTまたは販売店にご依頼ください。一つのDSUに複数の端末を接続するときは次のことに注意してください。



- 一つのDSUにバス接続できる端末は8台までです。
- DSUから一番遠いローゼットまたは端末を終端抵抗（100）で終端してください。
- ローゼットから端末までの距離は10m以内で接続してください。  
本機付属の8ピンモジュラーケーブルで接続することをお勧めします。  
なお、端末までの距離は使用するケーブルの太さなどによって異なります。
- ISDN回線の極性を確認し、極性にあった配線を行ってください。特に、ローゼット間で極性が反転しないよう注意してください。
- 配線工事後に必ず専用の機器で開通試験を行ってください。テスターによる導通チェックやISDN電話によるチェックでは不十分な場合があります。
- 本機と他の端末を同一ISDN回線にバス接続する場合、他の端末に着信したり、呼び出し音がなったりすることがあります（DSU内蔵のターミナルアダプターを使用する場合やターミナルアダプター内蔵のアナログポートに接続する機器も含む）。このような場合、各端末にサブアドレスを設定するか、またはNTTのダイヤルインサービスをご利用ください。なお、NTTのダイヤルインサービスを利用するには別途NTTとの契約が必要です。

### ・サブアドレスを使用する場合

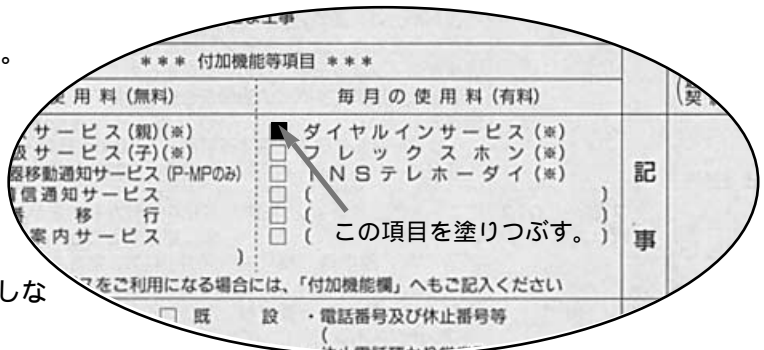
- 同じISDN回線上の全ての機器にサブアドレスを設定し、着番号のチェックをONにします。
- ターミナルアダプターをご使用の場合、「グローバル着信しない」に設定してください。
- 発信側で呼び出す機器のサブアドレスを付けて電話をかけてください。

### ・ダイヤルインサービスを使用する場合

ISDNの契約、またはPBXの設定で同じ回線上の各端末に個別の番号を付け、その番号をダイヤルすることで特定の端末を呼び出すことができます。

- 各端末にダイヤルイン番号を設定します。
- 着番号のチェックをONにします。
- ターミナルアダプターをご使用の場合、「グローバル着信しない」に設定してください。

NTTのダイヤルインサービスをご利用になる場合、契約時に「グローバル着信を利用しない」を指定してください。



# 仕様

## 基本仕様

電源	AC 100 V 50 / 60 Hz
消費電力	13 W以下
質量	約 4 kg
寸法	420 (幅) × 44 (高さ) × 350 (奥行) mm (ゴム足、突起部含まず)
適用回線	ISDN BRI 回線交換 (1B / 2B)、専用線 (64k / 128k)
認証番号	C99-0294JP L99-1073
映像入力	映像入力1~5 NTSCコンポジット 1 V[p-p] / 75 BNC 注) 映像入力1はコンビネーションカメラ制御信号多重
ローカル出力	NTSCコンポジット、1V [p-p] / 75、BNC、選択された映像入力を出力
映像出力	モニター1 (メニュー有) 2 (メニュー無) NTSCコンポジット、1 V[p-p] / 75、BNC
画像圧縮方式	H.263 / H.261 (自動選択) 処理画素数CIF : 352 × 288 最大15 fps
音声入出力	音声入力 × 1 音声出力 × 1 RCAピンジャック - 10 dB
音声圧縮方式	G.728 ( / G.711) : 音声帯域3.4 kHz、G.722 : 音声帯域7kHz、または音声なし

## 制御系

データポート	4線式RS-485, RJ-11コネクタ, 通信速度 = 4800 bps / 9600 bps , データ長 = 7ビット / 8ビット ストップ = 1ビット / 2ビット, パリティ = なし / 奇数 / 偶数
パラレルポート	Dsub25Pinメス 入力 × 8 (メイク入力) 出力 × 8 (オープンコレクタ出力) 強制 (回線) 切断入力 × 1 (メイク入力) 時計校正信号入力 × 1 (メイク入力) 通信中出力 × 1 (オープンコレクタ出力) パラレルデータストロブ出力 × 1 (オープンコレクタ出力) + 12V出力 (50 mA以下)
センサー入力 / トリガ出力	Dsub25Pinメス センサ入力 × 8 (メイク入力) トリガ出力 × 8 (オープンコレクタ出力)
ホストポート	RS-232C (Dsub9pinオス) または 4線式RS-485 (RJ - 11コネクタ) レート = 4800 / 9600 / 19200 bps、データ長 = 8ビット (固定) ストップ = 1ビット (固定) パリティ = なし (固定) 注) RS-232C固定またはDCD信号によるRS232C / RS485切り替え (背面設定用ディップスイッチにて設定)

ディジーチェーン不可

## 操作系

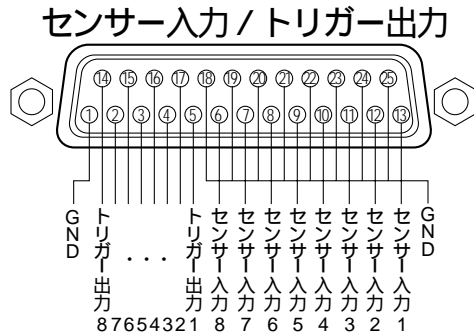
リモコンコネクタ	背面 : RJ - 11モジュラージャック、前面 : MINI-DIN5ピンコネクタ
ISDN終端スイッチ	100 終端ON / OFF
ホストポート、データポートRS-485終端SW	ON / OFF (背面設定用ディップスイッチにて設定)
データポートRS-485回線切り替えSW	ストレート / クロス (背面設定用ディップスイッチにて設定)

注1 : 他社コーデックとの相互接続は保証していません。

注2 : INSネット64又はハイ・スーパーデジタルに加入していない場合は、別途加入手続きが必要となります。  
また、本機はDSU(Digital Service Unit : 回線接続装置)を含んでいません。別途DSUをご用意願います。  
DSUは電気通信端末機器認定品(日本電信電話株式会社など第1種事業者提供品)をお使いください。

## センサー入力 / トリガー出力端子の仕様

[ 本機背面から見た図 ]



センサー入力

使用できるセンサーの条件は次のとおりです。

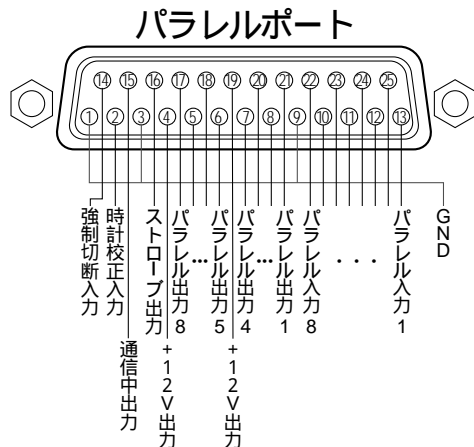
- 動作電圧がDC5V以下であること（オープンコレクタ出力または無電圧メイク接点）
- メイク接点動作時の [ SENSOR IN ] 入力端子とGND端子間の電圧が100ms以上、0~0.2Vになること。
- チャタリングしないこと。

トリガー出力

- オープンコレクタ出力
- パルス幅は300msです。2つ以上同時にメイクされることはできません。
- 最大動作電圧はDC 25V、50mAです。

## パラレルポートの仕様

[ 本機背面から見た図 ]



パラレル入出力端子について

コントロールサイトのパラレル入力1~8に入力した信号はリモートサイトのパラレル出力1~8に出力されます（同様に、リモートサイトに入力した信号はコントロールサイトに出力されます）。パラレル入力のいずれかをメイクすると、対応するパラレル出力がメイクされます。コントロールサイトに接続したスイッチなどで、リモートサイトのパラレルポートにリレーなどを經由して接続した電子錠の開閉や照明のON/OFFなどを行うことができます。

+12V出力はリレーの駆動用などにお使いください。ただし、電流は合計で50mA以下としてください。パラレルポートの最大伝送遅延時間は2sです。速い制御には向きません。

- パラレル入力端子に接続できる機器の条件
  - ・動作電圧がDC5V以下であること（オープンコレクタ出力または無電圧メイク接点）
  - ・メイク接点動作時のパラレル入力端子とGND端子間の電圧は0~0.2Vになるようにしてください。
- パラレル出力端子に接続できる機器の条件
  - ・オープンコレクタ出力

通信中出力端子について

回線が接続され、相手との通信を開始すると、この端子がメイクされます。

映像や音声、データの出力タイミングとは完全には一致しません。オープンコレクタ出力です。

ストロープ出力端子について

パラレル出力端子のデータを更新するとこの端子からストロープパルスが出力されます。

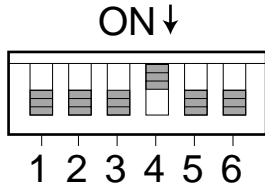
時計校正入力

この入力端子をメイクすると、AVコーデック内蔵の時計を校正できます。電気的条件はパラレル入力と同じです。100ms以上メイクしてください。

強制切断入力端子について

強制切断入力端子と最寄りのGND端子を100ms以上メイクすると、通信を強制終了します。

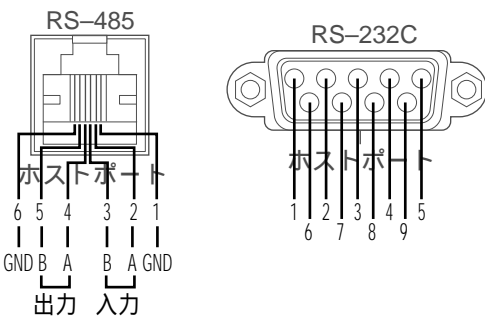
## 設定用ディップスイッチの仕様



お買い上げ時は4番のみOFFに設定されています。

番号	機能	OFF	ON
1	トランスペアレント側受信終端抵抗	終端なし	終端あり
2	トランスペアレント側送信終端抵抗	終端なし	終端あり
3	トランスペアレント側送受信ピン配線クロスSW	ストレート	クロス
4	ホストポート切替スイッチ	RS-232C専用	切替モード
5	ホスト側受信終端抵抗スイッチ	終端なし	終端あり
6	ホスト側送信終端抵抗スイッチ	終端なし	終端あり

## ホストポート (RS-485 / RS-232C)



番号	信号名	名称	AV20から見た方向
1	CD	受信キャリア検出	入力
2	RD	受信データ	入力
3	SD	送信データ	出力
4	ER	データ端末レディ	出力
5	SG	シグナルグランド	-
6	DR	データ・セットレディ	入力
7	RS	送信要求	出力
8	CS	送信可	入力
9	N.C.		

### メモ

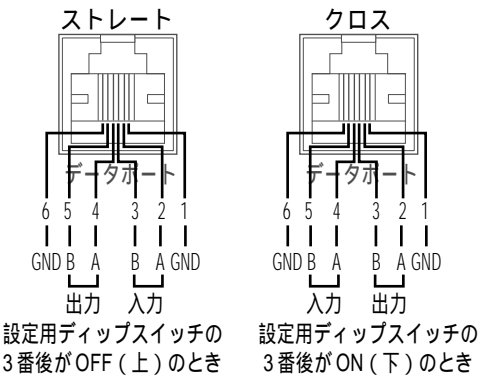
RS-485ポートとRS-232Cポートは設定用ディップスイッチ4のON / OFFによって使用方法が異なります。

ONのとき : RS-232CのCD信号によって使用するポートが切り替わります。

- CD=OFFの(未接続含む)ときはRS-485ポート側が使用可能。
- CD=ONのときはRS-232Cポート側が使用可能。

OFFのとき : RS-232C端子だけが使用可能(固定)。

## データポート



設定用ディップスイッチの3番後がOFF(上)のとき

設定用ディップスイッチの3番後がON(下)のとき

注 : デジチェーンで複数の機器を接続することはできません。

### メモ

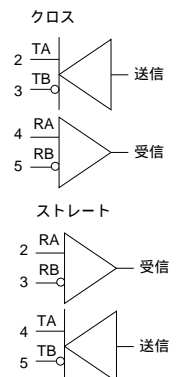
データポートは設定用ディップスイッチ3のON / OFFによって配線をストレートまたはクロスに切り替えることができます。

ONのとき : クロス。

当社マトリクススイッチャーの接続に使用するときにはONにします。

OFFのとき : ストレート。

当社システムコントローラーの接続に使用するときにはOFFにします。



# 索引

000 TOP	27	660 ループバックリクエスト	59
100 モード/カイセンセットイ	28	660 ローカルループバック	58
200 チャクシンセットイ	29	670 バージョン	59
210 チャクシンセットイ	29	680 モードヒョウジ	60
220 ジキョクバンゴウ	30	690 ショキカ	60
230 ハツバンゴウ・チャクバンゴウチェック	31	700 リモートセットイ	61
240 グループIDチェック	31	ACインレット	66
300 タンシュクデンワチョウ・ハッシンセットイ	32	AVコーデック [各部の名前]	7
310 タンシュクデンワチョウ	33	GND端子	66
320 ワンタッチダイヤルセットイ	34	「INSネット64」契約時の注意事項	82
330 ジュンカイダイヤル	35	ISDN回線工事を行うかたへ	83
400 システムセットイ	36	ISDNジャック	66
410 トケイセットイ	37	ISDN終端スイッチ	66
420 シリアルデータポート/ホストポート	38	RS232Cホストポート	65
421 シリアルデータポート	38	RS485ホストポート	65
422 ホストポート	39	アラーム画像の確認	22
430 ビューポイントセットイ	40	アラーム動作環境の設定	45
440 オンセイ	42	アラーム発信テーブル1~3の設定	47
450 エイゾウ	43	アラーム発生時の動作の設定	45
451 ガシツ/ウゴキ	43	アラームログ	56
452 ガメンヒョウジ	44	安全上のご注意	3
453 ケーブルホショウ	44	映像入力1~5端子	65
460 アラーム	45	音声出力端子	65
461 アラームハッシンセットイ	45	音声入力端子	65
462 アラームハッシンテーブル1	47	音声品質の設定	42
463 アラームハッシンテーブル2	47	各部の名前 [コントローラー]	7
464 アラームハッシンテーブル3	47	各部の名前 [前面]	7
470 シーケンシャルスキャンセットイ	48	各部の名前 [背面]	65
480 ガソウチクセキ	48	画質・画面表示の設定	43
490 ロック/メニューパスワード	49	画質の設定	53
491 ロック	49	画像蓄積方法に関する設定	48
492 メニューパスワード	50	画像の切り替え	20
500 ソウシンキガワコントロール/セットイ	51	カメラキリカエ	52
510 カメラ・プリセット・トリガキリカエ	52	カメラの接続のしかた	68
520 ガシツ/ウゴキ	53	カメラメニュー	52
600 メンテナンス	54	画面の操作	10
610 アラームログ	55	画面表示内容の設定	44
611 アラームログ (ソウシンキ)	55	画面分割ユニット [接続例]	70
612 アラームログ (ジュシンキ)	56	基本情報	10
620 ソウシンキトケイセットイ	56	グループIDチェック	31
630 ツウシンショウガイジョウホウ	56	ケーブル補償の設定	44
640 ツウシンキロク	57	工事説明	63
641 ツウシンチュウチャクシンキロク	57	工事を行う前に	64
642 ツウシンリレキ	57	コントローラー [各部の名前]	7
650 シリアルデータポート	58	コントローラーの接続のしかた	67

コントローラーの使いかた [メニュー操作].....	26	電源スイッチ.....	9
こんなときには.....	77	電源について.....	64
コンビネーションカメラの操作.....	21	電話番号を直接入力.....	12
シーケンシャルスキャンに関する設定.....	48	電話マーク.....	10
自局番号設定.....	30	同軸通信ユニットとの接続例.....	72
システムコントローラー (接続).....	74	トリガシュトリョクキリカエ.....	52
システム設定.....	36	バージョンの確認.....	59
システムの構成.....	8	発番号・着番号チェック.....	31
システムの設定.....	28	パラレルポート.....	66
巡回ダイヤル.....	16	パラレルポートの仕様.....	85
巡回ダイヤルの設定.....	35	日付・時刻の設定.....	37
仕様.....	84	ビューポイントによる切り替え.....	21
使用上のお願い.....	6	ビューポイントの設定.....	40
商品概要.....	2	標準システム構成.....	67
初期化.....	60	フォーカス.....	21
シリアルデータポートの設定.....	38	付属品.....	6
シリアルデータポートの設定の確認.....	58	フレームスイッチャー内蔵モニターとの接続例.....	71
スイッチカバー.....	9	プリセットキリカエ.....	52
ズーム.....	21	別売品について.....	81
スタンバイ画面.....	9	ホストポート (RS-485 / RS-232C).....	86
設置場所について.....	64	ホストポートの設定.....	39
設定.....	25	マトリクススイッチャーの接続のしかた.....	75
設定用ディップスイッチ.....	65	メニューの基本操作.....	27
設定用ディップスイッチの仕様.....	86	メニューパスワードの設定.....	50
センサー動作について.....	69	メンテナンス機能.....	54
センサー入力/トリガー出力.....	66	モード/回線種別の設定.....	28
センサー入力/トリガー出力端子の仕様.....	85	モードの確認.....	60
センサーの接続.....	68	モニター1, 2.....	65
センタクリスト画面.....	34	モニターに表示される情報.....	10
送信音声をミュートする.....	21	モニターの接続.....	68
短縮電話帳の設定.....	33	ラックマウントのしかた.....	76
短縮電話帳・発信設定.....	32	リモートサイトの時計設定.....	56
着信設定.....	29	リモート設定機能.....	61
着信時の操作.....	18	リモコン.....	65
着信方法設定.....	29	リング音量調節ボリューム.....	18
通信記録の表示.....	57	ループバックリクエスト.....	59
通信障害情報の確認.....	56	ローカル出力端子.....	65
通信状態.....	10	ローカルループバック.....	58
通信中着信記録.....	57	ロック/パスワード.....	49
通信中に設定を変更する.....	51	ロック項目の設定.....	49
通信中履歴.....	57	短縮ダイヤル.....	14
通信を終了する.....	13	ワンタッチダイヤル.....	15
データポート (RS-485).....	65	ワンタッチダイヤルの設定.....	34
データポート.....	86	ワンブッシュオートフォーカス.....	21
テストスイッチ、テストLED.....	65		



# 保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。  
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## 修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

## 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、AVコーデックの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

**便利メモ**（おぼえのため、記入されると便利です。）

お 買 い 上 げ 年 月 日	年 月 日	品番 <b>WJ-AV20</b>
販 売 店 名	☎ ( ) -	

**松下電器産業株式会社**  
**松下通信工業株式会社 AVシステム事業部**

〒224 - 8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045)932-1231(大代表)

NM0899-0603

V8QA5200DN